

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業

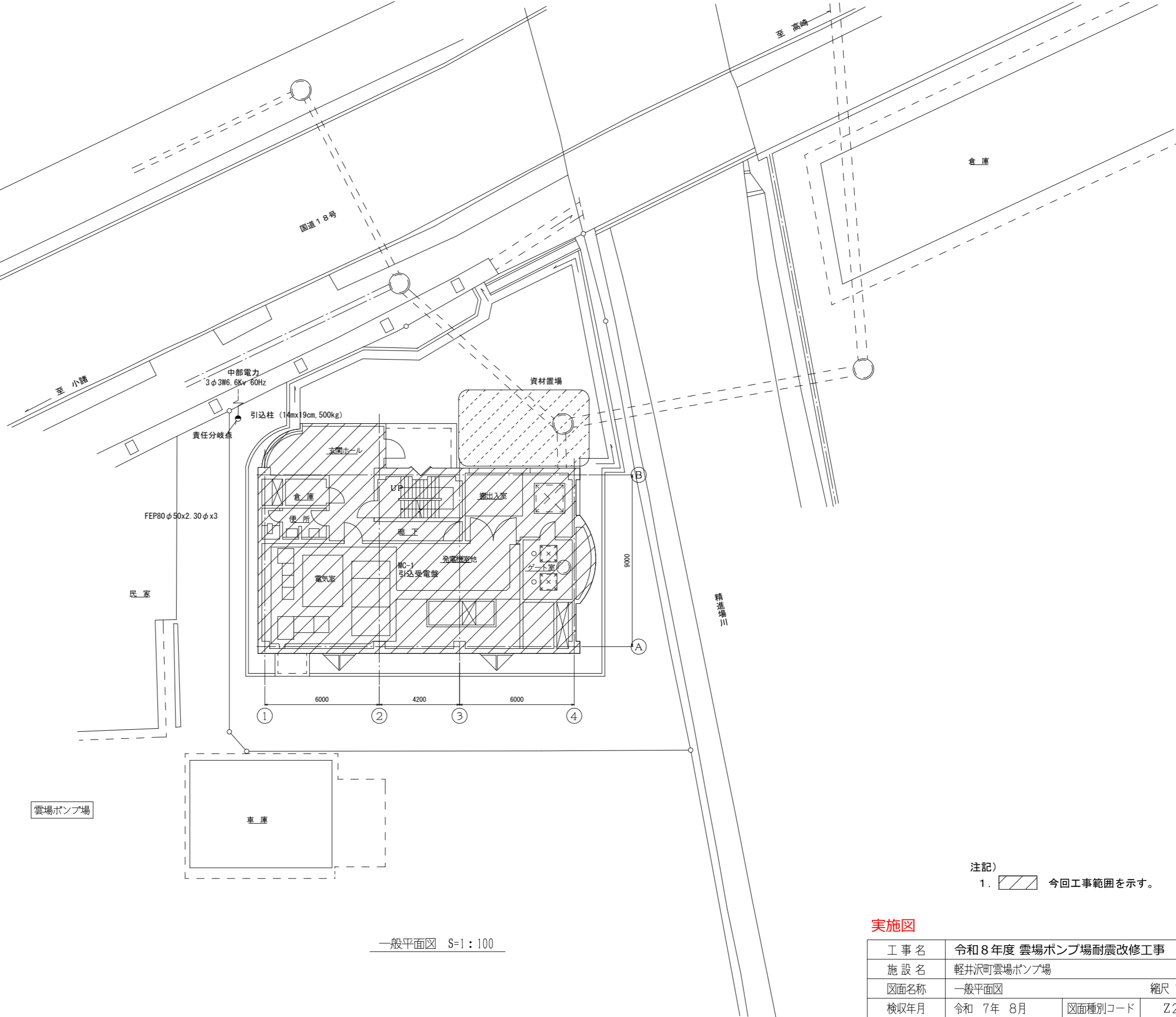
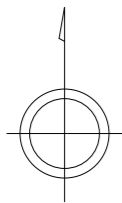
雲場ポンプ場耐震改修工事

詳細設計図  
建築

軽井沢町

令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事 図面目録

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
D-1	一般平面図	1/100	D-21	建具表 〈現況・改修〉 仮設図 〈参考図〉	1/50
D-2	建築改修工事特記仕様書 (1)	NON			
D-3	建築改修工事特記仕様書 (2)	NON			
D-4	建築改修工事特記仕様書 (3)	NON			
D-5	建築改修工事特記仕様書 (4)	NON			
D-6	建築改修工事特記仕様書 (5)	NON			
D-7	建築改修工事特記仕様書 (6)	NON			
D-8	建築改修工事特記仕様書 (7)	NON			
D-9	建築改修工事特記仕様書 (8)	NON			
D-10	建築改修工事特記仕様書 (9)	NON			
D-11	建築改修工事特記仕様書 (10)	NON			
D-12	建築改修工事特記仕様書 (11)	NON			
D-13	建築改修工事特記仕様書 (12)	NON			
D-14	建築改修工事特記仕様書 (13)	NON			
D-15	仕上表 〈現況・改修〉	NON			
D-16	平面図・断面図	1/100			
D-17	1階平面図 〈現況・改修〉	1/50			
D-18	立面図・断面図 〈現況・改修〉	1/50			
D-19	詳細図リスト (1) 〈現況・改修〉	1/5, 1/20			
D-20	詳細図リスト (2) 〈現況・改修〉	1/5			



【案内図】

雲場ポンプ場

車庫

注記)  
1. 今回工事範囲を示す。

一般平面図 S=1:100

実施図

工事名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	一般平面図	縮尺 1:100	
検収年月	令和 7年 8月	図面種別コード	Z299
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	D-01

軽井沢浄化  
管理センター

I 工 事 概 要				
1. 工事場所	長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢東地内			
2. 敷地面積	508.00 m <sup>2</sup>			
3. 工事種目	棟 名 称 中継ポンプ棟			
	構 造 鉄筋コンクリート造			
	規 模 地下1階 地上2階			
	建築面積 176.26 m <sup>2</sup>			
	延べ面積 465.70 m <sup>2</sup>			
	竣工年月 平成6年			
	工事項目 改修工事			
4. 工事内容	耐震改修工事			
5. 工事範囲	今回の建築工事の工事内容は、下表において、■印のものとする。 詳細は、仕上げ表、工事区分一覧表及び図面による。			
工事内容	前回工事	今回工事	次回工事	備考
防水改修				
外壁改修		■		
建具改修		■		
内装改修		■		
塗装改修		■		
耐震改修		■		
環境配慮改修				

II 工 事 仕 様				
1 共通仕様				
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、下記による。				
1) 日本下水道事業団制定「建築・建築設備工事一般仕様書(令和6年度版)」(以下「一般仕様書」という。 )による。				
2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「標準仕様書」という。 )による。				
3) 国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「改修標準仕様書」という。 )による。				
(2) 土木工事、建築機械設備工事及び建築電気設備工事は、別紙特記仕様書による。				
(3) 低入札価格調査対象工事について				
1) 施工体制台帳の写しの提出及びその内容のヒアリング 調査基準価格を下回った価格で契約する場合においては、受注者は主任監督員の求めに応じて、建設業法(昭和24年法律第100号)第24条の8第1項に規定する施工体制台帳の写しを主任監督員に提出しなければならない。				
2) 施工体制台帳の写しの提出に際して、その内容のヒアリングを主任監督員から求められたときは、受注者はこれに応じなければならない。				
3) 施工計画書のヒアリング 調査基準価格を下回った価格で契約する場合においては、一般仕様書に基づく施工計画書の提出に際して、その内容のヒアリングを主任監督員から求められたときは、受注者はこれに応じなければならない。				
4) 中間技術検査の実施 調査基準価格を下回った価格で契約する場合においては、必要に応じて中間技術検査を実施する。実施の有無、回数及び時期は主任監督員の指示によるものとする。				
2 特記仕様				
(1) 特記事項の各項目は、項目番号の前に☑印の付いたものを本工事に適用する。				
(2) 特記事項に記載される内容が複数ある事項については、■印の付いたものを適用し、□印の付いたものは適用しない。				
(3) 使用材料で複数の材料に■印が付いたものは、図面による。				
(4) 特記事項に記す各種( )は、一般仕様書等の各条項等を示しその適用は次のとおりとする。				
1) < > は、「一般仕様書」の当該条項を示す。				
2) ( . ) は、「標準仕様書」の当該項目、当該表及び当該図を示す。				
3) [改 . . ] は、「改修標準仕様書」の当該項目、当該表及び当該図を示す。				
(5) G は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。 )に規定される特定調達品目を示す。				
(6) 標準仕様書で特記がない場合の処置を明示している場合で、それらが関係法令等(条例を含む)に抵触する場合には、諸法令等の遵守(一般仕様書第145条)の規程を優先する。				
3 その他				
(1) 表題欄に記載されている縮尺は、A1版に対応するものであり、A3版の場合は読替を行うものとする。				
(2) 石綿障害予防規則に基づく解体等の作業を行うときは、事前調査を行い、改修標準仕様書1.5.1(イ)により調査結果を監督職員へ提出する。調査の結果、設計図書と異なる場合は、改修標準仕様書1.5.1(ウ)による。				

1章 一般共通事項	
一般事項	
☑ 1 適用基準等 <第101条>	
■ 建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和4年版)	
■ 下水道施設標準図(詳細)土木・建築・建築設備(機械)編 (日本下水道事業団 令和5年度)	
□ 建設リサイクル法に関する工事実施要領 (日本下水道事業団)	
□ 建築物解体工事共通仕様書 (国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和4年版)	
☑ 2 本工事における適用特記工事種別	
■ 仮設工事 ■ 防水改修工事	
■ 外壁改修工事	
□ コンクリート打直し仕上げ外壁の改修 □ モルタル塗り仕上げ外壁の改修	
□ タイル張り仕上げの外壁の改修 ■ 塗り仕上げ外壁等の改修	
■ 建具改修工事 ■ 内装改修工事	
■ 塗装改修工事 ■ 耐震改修工事	
■ 環境配慮改修工事 ■ ユニット及びその他の工事	
■ 土工事 □ 地業工事	
□ 屋根工事	
☑ 3 主任技術者等 <第302条>	
■ 適用する □ 適用しない	
☑ 4 技能士 <第502条>	
適用工事種別	
工事別	適用種別
防水改修工事	□ 防水施工 □ アスファルト防水工事作業 □ 改質アスファルトシート工法 □ 合成ゴム系シート防水工事作業 防水工事作業 □ シーリング防水工事作業 □ 塩化ビニル系シート防水工事作業 □ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 □ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 □ 左官 □ 建築板金(内外装板金作業)
外壁改修工事	□ 左官 □ タイル張り □ 塗装(建築塗装作業) □ 樹脂接着剤注入施工
建具改修工事	□ サッシ施工 □ ガラス施工 □ 自動ドア施工
内装改修工事	□ 内装仕上げ施工 □ プラスチック系床仕上げ工事作業 □ カーベツト系床仕上げ工事作業 □ 鋼製下地工事作業 □ ボード仕上げ工事作業 □ 防水施工(シーリング防水工事作業) □ 建築大工 □ 左官 □ タイル張り
塗装改修工事	□ 塗装(建築塗装作業)
耐震改修工事	■ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ■ 型枠施工 □ とび ■ コンクリート圧送施工
ブロック、ALC工事	□ ブロック建築 □ ALCパネル施工
石工事	□ 石材施工(石張り施工)
☑ 5 環境への配慮 <第401条>	
(1) グリーン購入法により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。	
(2) 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の 1)から 4)までを満たすものとする。	
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。	
2) 接着剤は可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。	
3) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。	
4) 上記1)の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。	
5) 上記 1)から4)のホルムアルデヒドの放散量は、6)の規制対象外(規制値をクリアーする規格品・認定品)を適用する。	
6) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。	
規制対象外(規制値をクリアーする規格品・認定品)	
① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料	
② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料第三種	
① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料	
② 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料	

☑ 6 材料の品質等 <第402条>		
(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマークの表示がない材料は、監督職員の承諾を受ける。		
(2) 製造所名及び製品名が記載された材料は、当該製品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。		
(3) 一般社団法人公共建築協会発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿」(以下「評価名簿」という。 )によると記載された材料は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。この場合、評価書の写しをもって、「標準仕様書」1.4.2(2)に規定する「設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料」の提出を省略することができる。		
「評価名簿による」と特記されていない場合でも優先して採用するものとする。		
☑ 7 特別な材料の工法		
標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。		
☑ 8 土木工事、建築機械設備工事、建築電気設備工事、機械設備工事、電気設備工事との取合施工範囲 □ 工事区分一覧表及び表-1工事区分表による		
■ [ 仕上表による ]		
施工図 設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。		
☑ 9 GL等		
現状GL [ TP 940.2 m ]		
設計GL [ TP 940.2 m ]		
埋め戻し後GL [ TP m ]		
津波等浸水深 [ TP m ] □ [浸水無し]		
☑ 10 建築基準法による条件		
風速 Vo [ 30 m毎秒 ]		
地表面粗度 □ I □ II ■ III □ IV		
垂直積雪量 [ 0.73 m ] 1cmごとの単位荷重 [ 20 N/m <sup>2</sup> ]		
□ 11 再生資材の利用 <第308条>		
受注者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。		
資 材 名	規 格	備 考
使用箇所は図示による。		
☑ 12 特定建設資材の分別解体等・再資源化等 <第308条>		
□ 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律((平成12年法律第104号)。以下「建設リサイクル法」という。 )に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。		
なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。		
ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。		
■ 本工事は、「建設リサイクル法」による規模について、「対象建設工事」に該当しないが、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施については、建設リサイクル法に準じ適正な措置を講ずることとする。		
1) 分別解体等の方法		
工 程 ごと	工 程	作 業 内 容
の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	①造成等	造成等の工事 ■ 有 □ 無
	②基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 □ 有 ■ 無
	③上部構造部分	上部構造部分・外装の工事 ■ 有 □ 無
	④屋根	屋根の工事 ■ 有 □ 無
	⑤建築設備	建築設備・内装等の工事 ■ 有 □ 無
	⑥その他	■ 有 □ 無
		分別解体等の方法 (解体工事のみ)
		□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用
		□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
		□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用
		□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用
		□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用

2) 再資源化等をする施設の名称及び所在地			
特定建設資材廃棄物の種類	施設名称	所在地	
コンクリート	イー・ステージ(株)	長野県小諸市大字平原309-1:距離17.1km	
コンクリート及び鉄からなる建設資材			
※上記 2)については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。 なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。			
3) その他 □ [ ]			
☑ 13 一般ノ産業廃棄物の搬出 <第308条>			
建設工事の施工により発生する産業廃棄物は、下記の場所に搬出することとする。			
項目	施設名称	所在地	
□ 石膏ボード等			
■ 仕上げ材等	イー・ステージ(株)	長野県小諸市大字平原309-1:距離17.1km	
□ [ ]			
搬出調査等 提出を義務付ける			
☑ 14 発生材の処理(引渡しを要するもの)			
■ 金属類: 屋根葺材・建具			
□			
特別管理産業廃棄物			
□ PCB			
□ [ ]			
□ 15 室内空気中の化学物質の濃度測定 <第509条>			
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、報告すること。なお、測定は委託団体が発注する別途工事又は家具の設置等が行われる前に行う。			
測定機器 :パツパ型採取機器(アクティブ型採集機器も使用可能とする。)			
測定対象化学物質の管理値			
測定対象化学物質	厚生労働省の指針値(25℃の場合)	備考	
□ ホルムアルデヒド	0.08 ppm ( 100 μg/m <sup>3</sup> )		
□ トルエン	0.07 ppm ( 260 μg/m <sup>3</sup> )		
□ キシレン	0.05 ppm ( 200 μg/m <sup>3</sup> )		
□ エチルベンゼン	0.88 ppm ( 3,800 μg/m <sup>3</sup> )		
□ スチレン	0.05 ppm ( 220 μg/m <sup>3</sup> )		
測定対象室及び箇所数			
測定対象室	測定箇所数	測定対象室	測定箇所数
□ 事務室		□ 研究室	□
□ 会議室		□ 書庫・倉庫など常時換気しない部屋	□
□ 宿直室			□
□ 休憩室	□		□
□ 水質試験室	□		□
□ 16 完成写真 下記のを監督職員に提出する。			
分類規格	撮影箇所数	部 数	
□ CD-ROM	外部( ) 内部( ) 3000ピクセル×3602ピクセル程度 JPEG形式で保存	□ 2	□ [ ]
撮影業者 □ 監督職員の承諾する撮影業者 □ [ ]			
☑ 17 工事完成図等 <第601条>			
■ 製作する (一般仕様書 別紙5による。)			
□ 製作しない			
0704			
工 事 名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施 設 名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図 面 名 称	建築改修工事特記仕様書 ( 1 )		縮 尺 —
検 収 年 月	令和 7 年 8 月	図面種別コード	Z 201
設 計 管 理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受 託 業 者	株式会社三水コンサルタント	図 面 番 号	D-02



<b>■ 3章 防水改修工事</b> <b>共通事項</b> <input type="checkbox"/> 1 施工数量調査 [改1.6.3] 調査範囲 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> [ ] 調査方法 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> [ ] 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> [ ] 調査報告書の部数 <input type="checkbox"/> 2部 <input type="checkbox"/> [ ] <b>特記事項</b> <input checked="" type="checkbox"/> 1 降雨等による養生方法 [改3.1.3(5)] <input checked="" type="checkbox"/> [改3.1.3(5)]による <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 2 既存下地の処理 [改3.2.6] 既存防水層撤去後のコンクリート、モルタル面の処理 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 別途(施工数量調査による) 既存防水層の処理 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 別途(施工数量調査による) 既存保護層の処理 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 別途(施工数量調査による) 入隅及び出隅等の処理 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 別途(施工数量調査による) 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり、丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 <input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 別途(施工数量調査による) <input type="checkbox"/> 3 アスファルト防水 [改3.1.4][改3.2.2～6][改3.3.2～5][改表3.1.1][改表3.3.3～表3.3.10] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 <input type="checkbox"/> P1B工法 <input type="checkbox"/> B-1 <input type="checkbox"/> B-2 <input type="checkbox"/> P1BI工法 <input type="checkbox"/> BI-1 <input type="checkbox"/> BI-2 <input type="checkbox"/> P2AI工法 <input type="checkbox"/> AI-1 <input type="checkbox"/> AI-2 <input type="checkbox"/> P2A工法 <input type="checkbox"/> A-1 <input type="checkbox"/> A-2 <input type="checkbox"/> A-3 <input type="checkbox"/> M4C工法 <input type="checkbox"/> C-1 <input type="checkbox"/> C-2 <input type="checkbox"/> C-3 <input type="checkbox"/> C-4 <input type="checkbox"/> M3D工法 <input type="checkbox"/> D-1 <input type="checkbox"/> D-2 <input type="checkbox"/> POD工法 <input type="checkbox"/> D-1 <input type="checkbox"/> D-2 <input type="checkbox"/> PODI工法 <input type="checkbox"/> DI-1 G <input type="checkbox"/> DI-2 G <input type="checkbox"/> M3DI工法 <input type="checkbox"/> DI-1 G <input type="checkbox"/> DI-2 G <input type="checkbox"/> M4DI工法 <input type="checkbox"/> DI-1 G <input type="checkbox"/> DI-2 G <input type="checkbox"/> P1E工法 <input type="checkbox"/> E-1 <input type="checkbox"/> E-2 <input type="checkbox"/> E-3 <input type="checkbox"/> P2E工法 <input type="checkbox"/> E-1 <input type="checkbox"/> E-2 <input type="checkbox"/> E-3 <input type="checkbox"/> 図示による アスファルトの種類 [改3.2.2(ア)][改3.3.2(2)] <input type="checkbox"/> 3種 改質アスファルトルーフィングシート (P2AI工法・P2A工法・M4C工法) [改3.3.2(3)(カ)] 種類 <input type="checkbox"/> [改3.3.2(3)(カ)]による <input type="checkbox"/> [ ] 厚さ(mm) <input type="checkbox"/> 1.5以上 <input type="checkbox"/> [ ] 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート [改3.3.2(3)(キ)] (P1B工法・P1BI工法・M3D工法・POD工法・PODI工法・M3DI工法・M4DI工法) 種類 <input type="checkbox"/> [改3.3.2(3)(キ)]による <input type="checkbox"/> [ ] 厚さ(mm) <input type="checkbox"/> 1.5以上 <input type="checkbox"/> [ ] 防水の押え金物の材質及び形状寸法 [改3.3.2(6)] <input type="checkbox"/> [改3.3.2(6)]による <input type="checkbox"/> 図示による 屋根保護防水断熱工法の断熱材 (P1BI工法・P2AI工法) [改3.3.2(8)] 材質 <input type="checkbox"/> [改3.3.2(8)]による <input type="checkbox"/> [ ] 厚さ(mm) <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> [ ] 屋根露出防水断熱工法の断熱材 (PODI工法・M3DI工法・M4DI工法) [改3.3.2(9)] 材質 <input type="checkbox"/> [改3.3.2(9)]による <input type="checkbox"/> [ ] 厚さ(mm) <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> [ ] 屋根保護防水工法の絶縁用シート (P1B工法・P2A工法) [改3.3.2(10)] <input type="checkbox"/> [改3.3.2(10)]による <input type="checkbox"/> [ ] 屋根保護防水断熱工法の絶縁用シート (P1BI工法・P2AI工法) [改3.3.2(10)] <input type="checkbox"/> [改3.3.2(10)]による <input type="checkbox"/> [ ] 成形伸縮目地材 [改3.3.2(11)][改表3.3.1] <input type="checkbox"/> アンカータイプ <input type="checkbox"/> 付着層タイプ 平場の保護コンクリートの厚さ(mm) [改3.3.5(4)] <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [改3.3.5(4)]による 立上り部の保護 [改3.3.5(5)] <input type="checkbox"/> 図示による		立上り部への断熱材及び絶縁シート(AI-1,AI-2,AI-3,BI-1,BI-2) [改3.3.3][表3.3.4][表3.3.5] <input type="checkbox"/> 図示による 脱気装置 [改3.3.3(2)(イ)][改3.3.3(3)] (M3D工法・POD工法・PODI工法・M3DI工法・M4DI工法) <input type="checkbox"/> 設ける 種類 <input type="checkbox"/> 製造所の仕様による <input type="checkbox"/> [ ] 設置数量 <input type="checkbox"/> 製造所の仕様による <input type="checkbox"/> [ カ所 / m2 ] <input type="checkbox"/> 設けない 仕上塗料の種類及び使用量 [改3.3.3(2)][改3.3.3(3)] <input type="checkbox"/> 製造所の仕様による <input type="checkbox"/> [ kg / m2 ] 二重ドレン (POD工法・PODI工法) [改3.2.5] <input type="checkbox"/> 設ける (排水許容面積を計算し、監督職員に提出する) <input type="checkbox"/> 設けない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (M4C工法・M4DI工法) [改3.2.6(3)(イ)] <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う 施工標識 <input type="checkbox"/> 設ける <input type="checkbox"/> 4 改質アスファルトシート防水 [改3.4.2～4][改表3.1.1][改表3.4.1～3] 防水改修工法の種類 施工場所 新規防水層の種類 <input type="checkbox"/> M4AS工法 <input type="checkbox"/> AS-T1 <input type="checkbox"/> AS-T2 <input type="checkbox"/> AS-J2 <input type="checkbox"/> M3AS工法 <input type="checkbox"/> AS-T3 <input type="checkbox"/> AS-T4 <input type="checkbox"/> AS-J1 <input type="checkbox"/> AS-J3 <input type="checkbox"/> POAS工法 <input type="checkbox"/> AS-T3 <input type="checkbox"/> AS-T4 <input type="checkbox"/> AS-J1 <input type="checkbox"/> AS-J3 <input type="checkbox"/> M3ASI工法 <input type="checkbox"/> ASI-T1 <input type="checkbox"/> ASI-J1 <input type="checkbox"/> M4ASI工法 <input type="checkbox"/> ASI-T1 <input type="checkbox"/> ASI-J1 <input type="checkbox"/> POASI工法 <input type="checkbox"/> ASI-T1 <input type="checkbox"/> ASI-J1 改質アスファルトシート [改3.4.2(1)] 種類 <input type="checkbox"/> [改表3.4.1～表3.4.3]による <input type="checkbox"/> [ ] 厚さ(mm) <input type="checkbox"/> [改表3.4.1～表3.4.3]による <input type="checkbox"/> [ ] 粘着層付改質アスファルトシート [改3.4.2(1)] 種類 <input type="checkbox"/> [改表3.4.1～表3.4.3]による <input type="checkbox"/> [ ] 厚さ(mm) <input type="checkbox"/> [改表3.4.1～表3.4.3]による <input type="checkbox"/> [ ] 部分粘着層付改質アスファルトシート [改3.4.2(1)] 種類 <input type="checkbox"/> [改表3.4.1～表3.4.3]による <input type="checkbox"/> [ ] 厚さ(mm) <input type="checkbox"/> [改表3.4.1～表3.4.3]による <input type="checkbox"/> [ ] 屋根露出防水断熱工法の断熱材 (M3ASI工法・M4ASI工法・POASI工法) [改3.4.2(3)(ウ)] 材質 <input type="checkbox"/> [改3.4.2(3)(ウ)]による <input type="checkbox"/> [ ] 厚さ(mm) <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> [ ] 二重ドレン (POAS工法・POASI工法) [改3.2.5] <input type="checkbox"/> 設ける (排水許容面積を計算し、監督職員に提出する) <input type="checkbox"/> 設けない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (M4AS工法・M4ASI工法) [改3.2.6(3)(イ)] <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う 脱気装置 [改3.4.3(イ)][改3.4.3(ウ)] (M3AS工法・POAS工法・M3ASI工法・M4ASI工法・POASI工法) <input type="checkbox"/> 設ける 種類 <input type="checkbox"/> 製造所の仕様による <input type="checkbox"/> [ ] 設置数量 <input type="checkbox"/> 製造所の仕様による <input type="checkbox"/> [ カ所 / m2 ] <input type="checkbox"/> 設けない 仕上塗料の種類及び使用量 [改3.4.3] <input type="checkbox"/> 製造所の仕様による <input type="checkbox"/> [ kg / m2 ] 施工標識 <input type="checkbox"/> 設ける		<input checked="" type="checkbox"/> 5 合成高分子系ルーフィングシート防水 [改3.5.2～4][改表3.1.1][改表3.5.1～改表3.5.3] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 仕上塗料 使用分類 <input type="checkbox"/> POS工法 <input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> シルバー <input type="checkbox"/> 軽歩行 <input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> S-M2 <input type="checkbox"/> POSI工法 <input type="checkbox"/> SI-F1 <input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> SI-F2 <input type="checkbox"/> シルバー <input type="checkbox"/> 軽歩行 <input type="checkbox"/> SI-M1 <input type="checkbox"/> SI-M2 <input type="checkbox"/> S4S工法 <input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> シルバー <input type="checkbox"/> 軽歩行 <input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> S-M2 <input type="checkbox"/> S4SI工法 <input type="checkbox"/> SI-F1 <input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> SI-F2 <input type="checkbox"/> シルバー <input type="checkbox"/> 軽歩行 <input type="checkbox"/> SI-M1 <input type="checkbox"/> SI-M2 <input type="checkbox"/> S3S工法 <input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> シルバー <input type="checkbox"/> 軽歩行 <input type="checkbox"/> S3SI工法 <input type="checkbox"/> SI-F1 <input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> SI-F2 <input type="checkbox"/> シルバー <input type="checkbox"/> 軽歩行 <input type="checkbox"/> M4S工法 <input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> S-M2 <input type="checkbox"/> シルバー <input type="checkbox"/> 軽歩行 <input type="checkbox"/> M4SI工法 <input type="checkbox"/> SI-M1 <input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> SI-M2 <input type="checkbox"/> シルバー <input type="checkbox"/> 軽歩行 <input type="checkbox"/> P1S工法 <input type="checkbox"/> S-C1 仕上塗料の種類及び使用量 [改3.5.3] <input type="checkbox"/> 製造所の仕様による <input type="checkbox"/> [ kg / m2 ] ルーフィングシートの種類及び厚さ [改3.5.2(1)] <input type="checkbox"/> [改表3.5.1～表3.5.2]による <input type="checkbox"/> [ ] 可塑性移行防止用シート [改3.5.2(2)] (新規防水層の種類が、S-M1、S-M2、SI-M2の場合) 材質 <input type="checkbox"/> [改3.5.2(2)]による <input type="checkbox"/> [ ] 断熱工法の断熱材 [改3.5.2(3)(エ)][改表3.5.2] (新規防水層の種類が、SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) 材質 <input type="checkbox"/> [改3.5.2(3)(エ)]による <input type="checkbox"/> [ ] 厚さ(mm) <input type="checkbox"/> [ ] 脱気装置 [改3.5.3(1)(イ)][改3.5.3(2)(イ)] <input type="checkbox"/> 設ける 種類 <input type="checkbox"/> 製造所の仕様による <input type="checkbox"/> [ ] 設置数量 <input type="checkbox"/> 製造所の仕様による <input type="checkbox"/> [ カ所 / m2 ] 二重ドレン (POS工法・POSI工法) [改3.2.5] <input type="checkbox"/> 設ける (排水許容面積を計算し、監督職員に提出する) <input type="checkbox"/> 設けない 施工標識 <input type="checkbox"/> 設ける 工法等(機械的固定方法の場合) [改3.5.4] <input type="checkbox"/> 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を 施工計画書として提出する <input type="checkbox"/> 6 塗膜防水 [改3.6.3][改表3.1.1][改表3.6.1～改表3.6.3] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 仕上塗料 <input type="checkbox"/> POX工法 <input type="checkbox"/> X-1 <input type="checkbox"/> メーカー標準色 <input type="checkbox"/> X-2 <input type="checkbox"/> 塗装なし <input type="checkbox"/> X-1H <input type="checkbox"/> X-2H <input type="checkbox"/> L4X工法 <input type="checkbox"/> X-1 <input type="checkbox"/> メーカー標準色 <input type="checkbox"/> X-2 <input type="checkbox"/> 塗装なし <input type="checkbox"/> X-1H <input type="checkbox"/> X-2H <input type="checkbox"/> P1Y工法 <input type="checkbox"/> Y-2 <input type="checkbox"/> 塗装なし <input type="checkbox"/> P2Y工法 <input type="checkbox"/> Y-2 <input type="checkbox"/> 塗装なし 仕上塗料の種類及び使用量 [改3.6.3] <input type="checkbox"/> 製造所の仕様による <input type="checkbox"/> [ kg / m2 ] 二重ドレン (POX工法) [改3.2.5] <input type="checkbox"/> 設ける (排水許容面積を計算し、監督職員に提出する) <input type="checkbox"/> 設けない 既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装の除去 (L4X工法) [改3.2.6(3)(カ)] <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う 脱気装置 (X-1、X-1H) [改3.6.3(1)(イ)] <input type="checkbox"/> 設ける 材質 <input type="checkbox"/> 製造所の仕様による [ ] 数量 <input type="checkbox"/> 製造所の仕様による 1ヶ所 / 50m2 <input type="checkbox"/> 設けない 保護層 (P1Y工法・P2Y工法) <input type="checkbox"/> 設ける <input type="checkbox"/> 設けない 施工標識 <input type="checkbox"/> 設ける		<input checked="" type="checkbox"/> 7 シーリング [改3.7.2～7][改表3.1.2] シーリング材の種類は、下記以外[改表3.7.1]による シーリング改修工法の種類 施工箇所 シーリング材の種類(記号) シーリング材表面に仕上塗料、塗装等 <input checked="" type="checkbox"/> シーリング充填工法 外壁打継部 化粧木軸部 PU-2 <input checked="" type="checkbox"/> 仕上げあり <input type="checkbox"/> シーリング再充填工法 <input type="checkbox"/> 仕上げあり <input type="checkbox"/> 拡幅シーリング再充填工法 <input type="checkbox"/> 仕上げあり <input type="checkbox"/> ブリッジ工法 <input type="checkbox"/> 仕上げあり ボンドブレイカー張り及びエッジング材張り(ブリッジ工法) [改3.7.7(2)] <input type="checkbox"/> 適用する <input checked="" type="checkbox"/> 適用しない 目地寸法 <input checked="" type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [改3.7.3(1)]による [改3.7.3(1)] シーリング材の接着性試験 [改3.7.8(2)] <input checked="" type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 簡易接着性試験 <input type="checkbox"/> 引張接着性試験 <input type="checkbox"/> 行わない <input checked="" type="checkbox"/> 8 とい <input type="checkbox"/> たてどい(雨水用) [改3.8.2(1)][改表3.8.1] 材種 <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管(白管) <input type="checkbox"/> 既製たてどい(市販品) <input type="checkbox"/> アルミニウム製 [厚 mm] <input type="checkbox"/> ステンレス製 [厚 mm] 製造所名、製品名及び製品番号 [ ]。 当該製品又は同等品以上とする。 防露巻き [改3.8.3(3)][改表3.8.4] <input type="checkbox"/> [改表3.8.4]による <input type="checkbox"/> 行わない 防露材のホルムアルデヒド放散量 <input type="checkbox"/> 規制対象外 <input type="checkbox"/> 第三種 床下掃除口 <input type="checkbox"/> 図示による <input checked="" type="checkbox"/> たてどい(屋内床排水用) [改3.8.2(1)][改表3.8.1] 材種 <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管(白管) <input checked="" type="checkbox"/> ステンレス鋼管 厚さ( 0.8 mm) <input type="checkbox"/> 硬質ポリ塩化ビニル管 <input type="checkbox"/> RF-VP G <input type="checkbox"/> [ ] 防露巻き [改3.8.3(3)][改表3.8.4] <input type="checkbox"/> [改表3.8.4]による <input checked="" type="checkbox"/> 行わない 防露材のホルムアルデヒド放散量 <input type="checkbox"/> 規制対象外 <input type="checkbox"/> 第三種 床下掃除口 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> 軒どい 材質 <input type="checkbox"/> [ ] 材の厚さ(mm) <input type="checkbox"/> [ ] 製造所名、製品名及び製品番号 [ ]。 当該製品又は同等品以上とする。 <input type="checkbox"/> とい受け金物 [改3.8.2(2)] 材質 <input type="checkbox"/> [改3.8.2(2)]による <input type="checkbox"/> ステンレス製 軒どいの取付間隔 <input type="checkbox"/> 0.5m以下 <input type="checkbox"/> 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 [改3.8.3(1)] <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> 9 ルーフドレン [改表3.8.1] 材種 <input type="checkbox"/> 鋳鉄製 <input type="checkbox"/> ステンレス製 取付け <input type="checkbox"/> 改3.8.3(6)による <input type="checkbox"/> 図示による	
				0704			
工 事 名		令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事					
施 設 名		軽井沢町雲場ポンプ場					
図 面 名 称		建築改修工事特記仕様書 ( 3 )		縮 尺 —			
検 収 年 月		令和 7 年 8 月		図面種別コード Z 201			
設 計 管 理		業務委託番号 0-01-2592-J-03					
受 託 業 者		株式会社三水コンサルタント		図 面 番 号 D-04			

<input type="checkbox"/> 10 アルミニウム製笠木 [改3.9.2][改3.9.3] <input type="checkbox"/> オープン形式 <input type="checkbox"/> シール形式		<b>■ 4章 外壁改修工事</b> <b>共通事項</b> <input type="checkbox"/> 1 施工数量調査 調査範囲 <input type="checkbox"/> 外壁部全面 <input type="checkbox"/> 外壁改修範囲 <input type="checkbox"/> 図示の範囲 [改1.6.3] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び 錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、また、 欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びひびく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリート又はモルタル表面のはがれ及びひびく落部を壁面に表示 する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 調査報告書の部数 <input type="checkbox"/> 2部 <input type="checkbox"/> [ ]			<input type="checkbox"/> 吸水調整材 項目 全固形分 吸水性 接着強さ 界面破断率 品質・性能 表示値±1.0%以内 30分間で1g以下 0.98N/mm2以上 50%以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと <input type="checkbox"/> タイル部分張替え用エポキシ樹脂 接着強さ 標準 低温硬化 アルカリ温水 冷熱水中繰返し 熱劣化 強度 0.6N/mm2以上 0.4N/mm2以上 0.4N/mm2以上 0.4N/mm2以上 0.4N/mm2以上 凝集破壊率 75%以上 50%以上 50%以上 50%以上 50%以上 皮膜物性 標準 高温 低温 アルカリ温水 熱劣化 引張強さ 0.6N/mm2以上 0.6N/mm2以上 0.6N/mm2以上 0.4N/mm2以上 0.4N/mm2以上 伸び 35%以上 35%以上 35%以上 25%以上 25%以上 貯蔵安定性 容積と粘度に着しい変化のないこと 耐熱性 JISA557により、80℃で4週間、9.8Nのおもりで安定していること a. 外観は、均質で有害と認められる異物の混入がないこと b. タイル、石材、下地等を侵すものでないこと c. 「化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全 衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと d. ずれが生じないこと e. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること <input type="checkbox"/> 既製調合モルタル(タイル張付け用材料) 保水率 単位容積質量 接着強さ(N/mm2) 長さ変化率 曲げ強さ (%) (kg/l) 標準時 温冷繰返し後 (%) (N/mm2) 70.0以上 1.80程度 0.60以上 0.40以上 0.20以下 4.0以上 特記事項 コンクリート打放し仕上外壁 <input type="checkbox"/> 1 ひび割れ部改修工事 [改4.1.4(1)][改4.2.2][改4.2.5~8] <input type="checkbox"/> 樹脂注入工法 [改4.2.5] 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備考 <input type="checkbox"/> 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0以下 <input type="checkbox"/> 200~300 <input type="checkbox"/> 130 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.3未満 <input type="checkbox"/> 50~100 <input type="checkbox"/> 40 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上~0.5未満 <input type="checkbox"/> 100~200 <input type="checkbox"/> 70 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上~1.0以下 <input type="checkbox"/> 150~250 <input type="checkbox"/> 130 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入工法 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> シール工法 [改4.2.7] シール材料 <input type="checkbox"/> パテ状エポキシ樹脂 <input type="checkbox"/> 可とう性エポキシ樹脂 <input type="checkbox"/> 2 欠損部改修工事 [改4.1.4(1)][改4.2.3][改4.2.8] <input type="checkbox"/> 充填工法 充填材料 <input type="checkbox"/> エポキシ樹脂モルタル <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル モルタル塗り仕上げ外壁 <input type="checkbox"/> 1 既存モルタル塗りの撤去 [改4.3.2(2)] <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 図示の範囲 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 図示の範囲 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 2 ひび割れ部改修工事 [改4.1.4(2)][改4.3.2][改4.3.6~8] <input type="checkbox"/> 樹脂注入工法 [改4.3.6] 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備考 <input type="checkbox"/> 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0以下 <input type="checkbox"/> 200~300 <input type="checkbox"/> 130 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.3未満 <input type="checkbox"/> 50~100 <input type="checkbox"/> 40 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上~0.5未満 <input type="checkbox"/> 100~200 <input type="checkbox"/> 70 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上~1.0以下 <input type="checkbox"/> 150~250 <input type="checkbox"/> 130 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入工法 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] 注入材料 [改4.2.4(1)] <input type="checkbox"/> 建築補修用注入エポキシ樹脂(JISA6024低粘度形又は中粘度形) <input type="checkbox"/> [ ] 検査(コア抜き) [改4.2.5(6)] <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う 抜き取り個数及びコアの形状 <input type="checkbox"/> [改4.2.5(6)]による 抜き取り部の補修方法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> Uカットシール材充填工法 [改4.2.6] 充填材料 品質・規格等 備考 <input type="checkbox"/> シーリング材料 <input type="checkbox"/> 1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充填 ポリウレタン系シーリング材 <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 可とう性エポキシ樹脂 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> シール工法 [改4.2.7] シール材 <input type="checkbox"/> パテ状エポキシ樹脂 <input type="checkbox"/> 可とう性エポキシ樹脂 <input type="checkbox"/> 3 欠損部改修工事 [改4.1.4(2)][改4.3.9~10] <input type="checkbox"/> 充填工法 [改4.3.9] 充填材料 <input type="checkbox"/> エポキシ樹脂モルタル <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル <input type="checkbox"/> モルタル塗替え工法 [改4.3.10] 材料 <input type="checkbox"/> [改4.3.5(5)]による 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の補強 <input type="checkbox"/> 行う (図示) <input type="checkbox"/> 行わない 既製目地材 <input type="checkbox"/> 適用しない <input type="checkbox"/> 適用する (図示) <input type="checkbox"/> 4 浮き部改修工事 [改4.1.4(2)][改4.3.4][改4.3.11~16] 改修工法の種類 アンカーピンの本数 注入口の箇所数 充填量 (モルタルを撤去しない場合) (本/m2) (箇所/m2) (ml/箇所) 一般部分 指定部分 一般部分 指定部分 <input type="checkbox"/> アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] アンカーピン [改4.3.5(6)] 材質等 <input type="checkbox"/> [改4.3.5(6)(ウ)]による <input type="checkbox"/> [ ] 注入口付アンカーピン [改4.3.5(7)] 材質等 <input type="checkbox"/> [改4.3.5(7)(ウ)]による <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 充填工法 [改4.3.9] 充填材料 <input type="checkbox"/> エポキシ樹脂モルタル <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル <input type="checkbox"/> モルタル塗替え工法 [改4.3.10] 材料 <input type="checkbox"/> [改4.3.5(5)]による 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の補強 <input type="checkbox"/> 行う (図示) <input type="checkbox"/> 行わない 既製目地材 <input type="checkbox"/> 適用しない <input type="checkbox"/> 適用する (図示) タイル張り仕上げ外壁 <input type="checkbox"/> 1 既存タイル張りの撤去 <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 図示の範囲 <input type="checkbox"/> 全面 <input type="checkbox"/> [ ] 撤去範囲 <input type="checkbox"/> 下地モルタルまで <input type="checkbox"/> 張付けモルタルまで <input type="checkbox"/> タイルのみ <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 行わない		
既存の笠木等の撤去 [改3.9.3(1)] <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない 新規笠木の下地の補修 [改3.9.3(1)] <input type="checkbox"/> 図示による 板材折曲げ形の取付工法 [改3.9.3(2)] <input type="checkbox"/> [改3.9.3(2)]による 工法等 [改3.9.3(2)] 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する		<input type="checkbox"/> 2 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げの試験 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げの施工後の確認及び試験は、[改4.4.8(6)]による。 <input type="checkbox"/> 3 改修材料 [改4.2.4] <input type="checkbox"/> 可とう性エポキシ樹脂 性能 常温物性 低温性 加熱劣化 引張接着性(常温物性) 引張強さ 1.0N/mm2以上 1.0N/mm2以上 1.0N/mm2以上 最大引張応力 1.0N/mm2以上 伸び 30%以上 30%以上 30%以上 破断時の伸び 10%以上 比重 表示値±0.10 押出し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下 a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと c. 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において、製造所の指定する期間又は製造後 6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成高分子エマルジョン(合成ゴム系、アクリル系、エチレン-酢ビ系等)			<input type="checkbox"/> シール工法 [改4.2.4(3)][改4.3.6] シール材 <input type="checkbox"/> パテ状エポキシ樹脂 <input type="checkbox"/> 可とう性エポキシ樹脂 <input type="checkbox"/> 3 欠損部改修工事 [改4.1.4(2)][改4.3.9~10] <input type="checkbox"/> 充填工法 [改4.3.9] 充填材料 <input type="checkbox"/> エポキシ樹脂モルタル <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル <input type="checkbox"/> モルタル塗替え工法 [改4.3.10] 材料 <input type="checkbox"/> [改4.3.5(5)]による 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の補強 <input type="checkbox"/> 行う (図示) <input type="checkbox"/> 行わない 既製目地材 <input type="checkbox"/> 適用しない <input type="checkbox"/> 適用する (図示) <input type="checkbox"/> 4 浮き部改修工事 [改4.1.4(2)][改4.3.4][改4.3.11~16] 改修工法の種類 アンカーピンの本数 注入口の箇所数 充填量 (モルタルを撤去しない場合) (本/m2) (箇所/m2) (ml/箇所) 一般部分 指定部分 一般部分 指定部分 <input type="checkbox"/> アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] アンカーピン [改4.3.5(6)] 材質等 <input type="checkbox"/> [改4.3.5(6)(ウ)]による <input type="checkbox"/> [ ] 注入口付アンカーピン [改4.3.5(7)] 材質等 <input type="checkbox"/> [改4.3.5(7)(ウ)]による <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 充填工法 [改4.3.9] 充填材料 <input type="checkbox"/> エポキシ樹脂モルタル <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル <input type="checkbox"/> モルタル塗替え工法 [改4.3.10] 材料 <input type="checkbox"/> [改4.3.5(5)]による 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の補強 <input type="checkbox"/> 行う (図示) <input type="checkbox"/> 行わない 既製目地材 <input type="checkbox"/> 適用しない <input type="checkbox"/> 適用する (図示) タイル張り仕上げ外壁 <input type="checkbox"/> 1 既存タイル張りの撤去 <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 図示の範囲 <input type="checkbox"/> 全面 <input type="checkbox"/> [ ] 撤去範囲 <input type="checkbox"/> 下地モルタルまで <input type="checkbox"/> 張付けモルタルまで <input type="checkbox"/> タイルのみ <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 行わない		
<input type="checkbox"/> 10 アルミニウム製笠木 [改3.9.2][改3.9.3] <input type="checkbox"/> オープン形式 <input type="checkbox"/> シール形式		<b>■ 4章 外壁改修工事</b> <b>共通事項</b> <input type="checkbox"/> 1 施工数量調査 調査範囲 <input type="checkbox"/> 外壁部全面 <input type="checkbox"/> 外壁改修範囲 <input type="checkbox"/> 図示の範囲 [改1.6.3] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び 錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、また、 欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びひびく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリート又はモルタル表面のはがれ及びひびく落部を壁面に表示 する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 調査報告書の部数 <input type="checkbox"/> 2部 <input type="checkbox"/> [ ]			<input type="checkbox"/> 吸水調整材 項目 全固形分 吸水性 接着強さ 界面破断率 品質・性能 表示値±1.0%以内 30分間で1g以下 0.98N/mm2以上 50%以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと <input type="checkbox"/> タイル部分張替え用エポキシ樹脂 接着強さ 標準 低温硬化 アルカリ温水 冷熱水中繰返し 熱劣化 強度 0.6N/mm2以上 0.4N/mm2以上 0.4N/mm2以上 0.4N/mm2以上 0.4N/mm2以上 凝集破壊率 75%以上 50%以上 50%以上 50%以上 50%以上 皮膜物性 標準 高温 低温 アルカリ温水 熱劣化 引張強さ 0.6N/mm2以上 0.6N/mm2以上 0.6N/mm2以上 0.4N/mm2以上 0.4N/mm2以上 伸び 35%以上 35%以上 35%以上 25%以上 25%以上 貯蔵安定性 容積と粘度に着しい変化のないこと 耐熱性 JISA557により、80℃で4週間、9.8Nのおもりで安定していること a. 外観は、均質で有害と認められる異物の混入がないこと b. タイル、石材、下地等を侵すものでないこと c. 「化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全 衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと d. ずれが生じないこと e. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること <input type="checkbox"/> 既製調合モルタル(タイル張付け用材料) 保水率 単位容積質量 接着強さ(N/mm2) 長さ変化率 曲げ強さ (%) (kg/l) 標準時 温冷繰返し後 (%) (N/mm2) 70.0以上 1.80程度 0.60以上 0.40以上 0.20以下 4.0以上 特記事項 コンクリート打放し仕上外壁 <input type="checkbox"/> 1 ひび割れ部改修工事 [改4.1.4(1)][改4.2.2][改4.2.5~8] <input type="checkbox"/> 樹脂注入工法 [改4.2.5] 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備考 <input type="checkbox"/> 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0以下 <input type="checkbox"/> 200~300 <input type="checkbox"/> 130 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.3未満 <input type="checkbox"/> 50~100 <input type="checkbox"/> 40 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上~0.5未満 <input type="checkbox"/> 100~200 <input type="checkbox"/> 70 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上~1.0以下 <input type="checkbox"/> 150~250 <input type="checkbox"/> 130 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入工法 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> シール工法 [改4.2.7] シール材料 <input type="checkbox"/> パテ状エポキシ樹脂 <input type="checkbox"/> 可とう性エポキシ樹脂 <input type="checkbox"/> 2 欠損部改修工事 [改4.1.4(1)][改4.2.3][改4.2.8] <input type="checkbox"/> 充填工法 充填材料 <input type="checkbox"/> エポキシ樹脂モルタル <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル モルタル塗り仕上げ外壁 <input type="checkbox"/> 1 既存モルタル塗りの撤去 [改4.3.2(2)] <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 図示の範囲 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 図示の範囲 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 2 ひび割れ部改修工事 [改4.1.4(2)][改4.3.2][改4.3.6~8] <input type="checkbox"/> 樹脂注入工法 [改4.3.6] 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備考 <input type="checkbox"/> 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0以下 <input type="checkbox"/> 200~300 <input type="checkbox"/> 130 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.3未満 <input type="checkbox"/> 50~100 <input type="checkbox"/> 40 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上~0.5未満 <input type="checkbox"/> 100~200 <input type="checkbox"/> 70 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上~1.0以下 <input type="checkbox"/> 150~250 <input type="checkbox"/> 130 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入工法 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] 注入材料 [改4.2.4(1)] <input type="checkbox"/> 建築補修用注入エポキシ樹脂(JISA6024低粘度形又は中粘度形) <input type="checkbox"/> [ ] 検査(コア抜き) [改4.2.5(6)] <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う 抜き取り個数及びコアの形状 <input type="checkbox"/> [改4.2.5(6)]による 抜き取り部の補修方法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> Uカットシール材充填工法 [改4.2.6] 充填材料 品質・規格等 備考 <input type="checkbox"/> シーリング材料 <input type="checkbox"/> 1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充填 ポリウレタン系シーリング材 <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 可とう性エポキシ樹脂 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> シール工法 [改4.2.7] シール材 <input type="checkbox"/> パテ状エポキシ樹脂 <input type="checkbox"/> 可とう性エポキシ樹脂 <input type="checkbox"/> 3 欠損部改修工事 [改4.1.4(2)][改4.3.9~10] <input type="checkbox"/> 充填工法 [改4.3.9] 充填材料 <input type="checkbox"/> エポキシ樹脂モルタル <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル <input type="checkbox"/> モルタル塗替え工法 [改4.3.10] 材料 <input type="checkbox"/> [改4.3.5(5)]による 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の補強 <input type="checkbox"/> 行う (図示) <input type="checkbox"/> 行わない 既製目地材 <input type="checkbox"/> 適用しない <input type="checkbox"/> 適用する (図示) <input type="checkbox"/> 4 浮き部改修工事 [改4.1.4(2)][改4.3.4][改4.3.11~16] 改修工法の種類 アンカーピンの本数 注入口の箇所数 充填量 (モルタルを撤去しない場合) (本/m2) (箇所/m2) (ml/箇所) 一般部分 指定部分 一般部分 指定部分 <input type="checkbox"/> アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ] アンカーピン [改4.3.5(6)] 材質等 <input type="checkbox"/> [改4.3.5(6)(ウ)]による <input type="checkbox"/> [ ] 注入口付アンカーピン [改4.3.5(7)] 材質等 <input type="checkbox"/> [改4.3.5(7)(ウ)]による <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 充填工法 [改4.3.9] 充填材料 <input type="checkbox"/> エポキシ樹脂モルタル <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル <input type="checkbox"/> モルタル塗替え工法 [改4.3.10] 材料 <input type="checkbox"/> [改4.3.5(5)]による 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の補強 <input type="checkbox"/> 行う (図示) <input type="checkbox"/> 行わない 既製目地材 <input type="checkbox"/> 適用しない <input type="checkbox"/> 適用する (図示) タイル張り仕上げ外壁 <input type="checkbox"/> 1 既存タイル張りの撤去 <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 図示の範囲 <input type="checkbox"/> 全面 <input type="checkbox"/> [ ] 撤去範囲 <input type="checkbox"/> 下地モルタルまで <input type="checkbox"/> 張付けモルタルまで <input type="checkbox"/> タイルのみ <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 行わない		

工事名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	建築改修工事特記仕様書(4)	縮尺	—
検収年月	令和 7年 8月	図面種別コード	Z 201
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	D-05

<input type="checkbox"/> 2 ひび割れ部改修工法 [改4.1.4(3)][改4.2.5][改4.4.6] <input type="checkbox"/> 改修箇所 <input type="checkbox"/> 既存タイル面 <input type="checkbox"/> 既存タイル撤去面( <input type="checkbox"/> 既存コンクリート面 <input type="checkbox"/> 既存モルタル面 ) <input type="checkbox"/> 樹脂注入工法 [改4.1.4][改4.4.6]				
注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
<input type="checkbox"/> 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	<input type="checkbox"/> 200～300	<input type="checkbox"/> 130 <input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満	<input type="checkbox"/> 50～100 <input type="checkbox"/> 100～200	<input type="checkbox"/> 40 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 70 <input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	<input type="checkbox"/> 150～250	<input type="checkbox"/> 130 <input type="checkbox"/> [ ]	

<input type="checkbox"/> 3 欠損部改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.7] <input type="checkbox"/> タイル部分張替え工法 [改4.4.7] タイル部分張替え工法用接着材 <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル <input type="checkbox"/> 変形シリコーン樹脂 <input type="checkbox"/> ポリウレタン樹脂  <input type="checkbox"/> タイル張替え工法 [改4.1.4][改4.4.8] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 [改表4.4.2.1]による <input type="checkbox"/> 図示 タイル張替え工法用接着材 <input type="checkbox"/> ポリマーセメントモルタル <input type="checkbox"/> 変形シリコーン樹脂 <input type="checkbox"/> ポリウレタン樹脂 タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 外壁及び内壁吹抜け部分のタイル下地モルタルは、タイル張付け前に、打診による全面検査及び接着力試験を行う。検査方法は、タイル検査[改4.5.8(4)]に準じて行う。				
---	--	--	--	--

<input type="checkbox"/> 4 浮き部改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.4][改4.4.9～15] 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) <input type="checkbox"/> アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 <input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法				
アンカーピンの本数(本/m2)	注入口の箇所数(箇所/m2)	充填量(ml/箇所)		
一般部分 指定部分	一般部分 指定部分			
<input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 25	<input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> 20		
<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]		
<input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 20	<input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 20	<input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> [ ]		
<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]		
<input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16	<input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ]		
<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]		
<input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16	<input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 16	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> 50		
<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]		

<input type="checkbox"/> 5 セメントモルタルによるタイル張り [改4.4.5(4)][改4.4.7～8] タイルの種類				
形状寸法(mm)	吸水率による区分	うわ薬	役物	色
I類 II類 III類	無釉 施釉	有 無	標準 特注	再生ありなし
<input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 25	<input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> 20	<input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	

<input type="checkbox"/> 6 有機系接着剤によるタイル張り [改4.4.5(4)][改4.4.7～8] タイルの種類				
形状寸法(mm)	吸水率による区分	うわ薬	役物	色
I類 II類 III類	無釉 施釉	有 無	標準 特注	再生ありなし
<input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 25	<input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> 20	<input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	

<input type="checkbox"/> 7 セメントモルタルによるタイル張り [改4.4.5(4)][改4.4.7～8] タイルの種類				
形状寸法(mm)	吸水率による区分	うわ薬	役物	色
I類 II類 III類	無釉 施釉	有 無	標準 特注	再生ありなし
<input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 25	<input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> 20	<input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> [ ]	

<input type="checkbox"/> 8 タイル張りの工法 [改4.4.8(7)][改表4.4.5] <input type="checkbox"/> 密着張り <input type="checkbox"/> マスク張り <input type="checkbox"/> 改良積上げ張り <input type="checkbox"/> モザイクタイル張り <input type="checkbox"/> 改良圧着張り <input type="checkbox"/> タイルの試験張り <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> タイルの引張接着力試験 <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う				
---	--	--	--	--

<input type="checkbox"/> 9 タイルの引張接着力試験 [改4.4.8(6)(ウ)] <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う				
--	--	--	--	--

<input type="checkbox"/> 10 既製目地材 <input type="checkbox"/> 適用しない <input type="checkbox"/> 適用する (図示)				
<input type="checkbox"/> 11 既製目地材 <input type="checkbox"/> 適用しない <input type="checkbox"/> 適用する (図示)				

<input type="checkbox"/> 7 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]				
--	--	--	--	--

<input type="checkbox"/> 12 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]				
---	--	--	--	--

<input type="checkbox"/> 13 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]				
---	--	--	--	--

<input type="checkbox"/> 14 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]				
---	--	--	--	--

<input type="checkbox"/> 15 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]				
---	--	--	--	--

<input type="checkbox"/> 16 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]				
---	--	--	--	--

<input type="checkbox"/> 17 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]				
---	--	--	--	--

<input type="checkbox"/> 18 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]				
---	--	--	--	--

<input type="checkbox"/> 19 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]				
---	--	--	--	--

<input type="checkbox"/> 20 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]		
---	--	--

<input type="checkbox"/> 21 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]		
---	--	--

<input type="checkbox"/> 22 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]		
---	--	--

<input type="checkbox"/> 23 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]		
---	--	--

<input type="checkbox"/> 24 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]		
---	--	--

<input type="checkbox"/> 25 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]		
---	--	--

<input type="checkbox"/> 26 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]		
---	--	--

<input type="checkbox"/> 27 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]		
---	--	--

<input type="checkbox"/> 28 目地改修工法 [改4.1.4(3)][改4.4.16] <input type="checkbox"/> 目地ひび割れ部改修工法 <input type="checkbox"/> 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] シーリング材料 <input type="checkbox"/> [改表3.7.1]による <input type="checkbox"/> [ ]		
---	--	--

<b>■ 5章 建具改修工事</b> <b>特記事項</b> <input checked="" type="checkbox"/> 1 改修工法 [改5.1.3]			
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
<b>■ アルミニウム製建具</b>	<input type="checkbox"/>	<b>■ 新規</b>	
<input type="checkbox"/> 鋼製建具	<input type="checkbox"/> 外部	<input type="checkbox"/> 内部	
<input type="checkbox"/> 鋼製軽量建具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> ステンレス製建具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 防水型建具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

<input type="checkbox"/> 2 防火設備、特定防火設備等の建具 [改5.1.4] <input type="checkbox"/> 図示による			
---	--	--	--

<input type="checkbox"/> 3 見本の製作等 [改5.1.5] <input type="checkbox"/> 建具見本の製作 建具番号[適用箇所は図示による] <input type="checkbox"/> 特殊な建具の仮 建具番号[適用箇所は図示による]			
--	--	--	--

<input checked="" type="checkbox"/> 4 アルミニウム製建具 [改5.2.2][改表5.2.1] 外部に面する建具			
種別	耐風圧性	気密性	水密性
<b>■ A種</b>	S-4 (2,000Pa)	<b>■ A-3</b> (A-3等級線)	<b>■ W-4</b> (350Pa)
<input type="checkbox"/> B種	S-5 (2,400Pa)	<input type="checkbox"/> A-4 (A-4等級線)	<input type="checkbox"/> W-5 (500Pa)
<input type="checkbox"/> C種	S-6 (2,800Pa)	A-4 (A-4等級線)	W-5 (500Pa)
種別 仕様 施工箇所 <input type="checkbox"/> BB-1種 (一般的な環境の屋外) <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] <input checked="" type="checkbox"/> BB-2種 (一般的な環境の屋外) 着色方法 <input type="checkbox"/> 二次電解着色 <input type="checkbox"/> [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 図示による 色合い <input type="checkbox"/> ブラック <input type="checkbox"/> ステンカラー <input type="checkbox"/> [ ] <input checked="" type="checkbox"/> ブラウン系 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> BA-1種 (過酷な環境の屋外) <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> BA-2種 (過酷な環境の屋外) 着色方法 <input type="checkbox"/> 二次電解着色 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 図示による 色合い <input type="checkbox"/> ブラック <input type="checkbox"/> ステンカラー <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> ブラウン系 <input type="checkbox"/> [ ]			

<input type="checkbox"/> BB-1種 (一般的な環境の屋外) <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] <input checked="" type="checkbox"/> BB-2種 (一般的な環境の屋外) 着色方法 <input type="checkbox"/> 二次電解着色 <input type="checkbox"/> [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 図示による 色合い <input type="checkbox"/> ブラック <input type="checkbox"/> ステンカラー <input type="checkbox"/> [ ] <input checked="" type="checkbox"/> ブラウン系 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> BA-1種 (過酷な環境の屋外) <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> BA-2種 (過酷な環境の屋外) 着色方法 <input type="checkbox"/> 二次電解着色 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 図示による 色合い <input type="checkbox"/> ブラック <input type="checkbox"/> ステンカラー <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> ブラウン系 <input type="checkbox"/> [ ]			
---	--	--	--

<input type="checkbox"/> BB-1種 (一般的な環境の屋外) <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] <input checked="" type="checkbox"/> BB-2種 (一般的な環境の屋外) 着色方法 <input type="checkbox"/> 二次電解着色 <input type="checkbox"/> [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 図示による 色合い <input type="checkbox"/> ブラック <input type="checkbox"/> ステンカラー <input type="checkbox"/> [ ] <input checked="" type="checkbox"/> ブラウン系 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> BA-1種 (過酷な環境の屋外) <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> BA-2種 (過酷な環境の屋外) 着色方法 <input type="checkbox"/> 二次電解着色 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 図示による 色合い <input type="checkbox"/> ブラック <input type="checkbox"/> ステンカラー <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> ブラウン系 <input type="checkbox"/> [ ]			
---	--	--	--

<input type="checkbox"/> アルミニウム製断熱サッシの適用 [改5.2.2(2)] <input type="checkbox"/> 適用箇所は図示による 遮音性能 <input type="checkbox"/> T-1 <input type="checkbox"/> T-2 <input type="checkbox"/> T-3 <input type="checkbox"/> T-4			
---	--	--	--

<input type="checkbox"/> アルミニウム製断熱サッシの適用 G [改5.2.2(2)] <input type="checkbox"/> 適用箇所は図示による 断熱性能 <input type="checkbox"/> H-1 <input type="checkbox"/> H-2 <input type="checkbox"/> H-3 <input type="checkbox"/> H-4 <input type="checkbox"/> H-5			
--	--	--	--

<input type="checkbox"/> アルミニウム製断熱サッシの適用 G [改5.2.2(2)] <input type="checkbox"/> 適用箇所は図示による 断熱性能 <input type="checkbox"/> H-1 <input type="checkbox"/> H-2 <input type="checkbox"/> H-3 <input type="checkbox"/> H-4 <input type="checkbox"/> H-5			
0704			
工事名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	建築改修工事特記仕様書(5)	縮尺	—
検収年月	令和 7年 8月	図面種別コード	Z 201
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	D-06

<input type="checkbox"/> 5 網戸 [改5.2.3(5)]				
形式	構造	網の種類	網目	線径
<input type="checkbox"/> 外面可動式 <input type="checkbox"/> 固定式 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 純正 <input type="checkbox"/> フリーサイズ	<input type="checkbox"/> ガラス繊維入り合成樹脂製 <input type="checkbox"/> 合成樹脂製 <input type="checkbox"/> ステンレス製 (SUS316)	<input type="checkbox"/> 16~18メッシュ <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 0.25mm以上 <input type="checkbox"/> [ ]

<input type="checkbox"/> 6 鋼製建具	
<input type="checkbox"/> 外部建具の耐風圧性(大型建具を除く) <input type="checkbox"/> S-4 <input type="checkbox"/> S-5 <input type="checkbox"/> S-6	[改5.4.2][改表5.2.1]
<input type="checkbox"/> 外部建具の耐風圧性(大型建具) <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> 1,200Pa <input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> 簡易気密型ドアセットの性能等級 <input type="checkbox"/> 気密性A-3、水密性W-1 <input type="checkbox"/> [ ]	[改5.4.2(2)][改表5.4.1]
<input type="checkbox"/> 気密型建具の性能等級 <input type="checkbox"/> 気密性A-4 <input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> 鋼製建具の防音ドアセットの適用(大型建具を除く) <input type="checkbox"/> 適用箇所は図示による 遮音性能 <input type="checkbox"/> T-1 <input type="checkbox"/> T-2 <input type="checkbox"/> T-3 <input type="checkbox"/> T-4	[改5.4.2(2)]
<input type="checkbox"/> 鋼製建具の断熱ドアセットの適用(大型建具を除く) <b>G</b> <input type="checkbox"/> 適用箇所は図示による 断熱性能 <input type="checkbox"/> H-1 <input type="checkbox"/> H-2 <input type="checkbox"/> H-3 <input type="checkbox"/> H-4 <input type="checkbox"/> H-5	[改5.4.2(2)]
<input type="checkbox"/> 鋼製建具の耐震ドアセットの適用(大型建具を除く) <input type="checkbox"/> 適用箇所は図示による 面内変形追随性能 <input type="checkbox"/> D-1 <input type="checkbox"/> D-2 <input type="checkbox"/> D-3	[改5.4.2(2)]
<input type="checkbox"/> 標準型鋼製建具の適用は図示による	

<input type="checkbox"/> 7 鋼製軽量建具	
<input type="checkbox"/> 簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 <input type="checkbox"/> 適用する ( <input type="checkbox"/> A-3 <input type="checkbox"/> [ ] ) <input type="checkbox"/> 適用しない	[改5.5.2(2)]
<input type="checkbox"/> 鋼製軽量建具の防音ドアセットの適用 <input type="checkbox"/> 適用箇所は図示による 遮音性能 <input type="checkbox"/> T-1 <input type="checkbox"/> T-2 <input type="checkbox"/> T-3 <input type="checkbox"/> T-4	[改5.5.2(2)]
<input type="checkbox"/> 鋼製軽量建具の断熱ドアセットの適用 <b>G</b> <input type="checkbox"/> 適用箇所は図示による 断熱性能 <input type="checkbox"/> H-1 <input type="checkbox"/> H-2 <input type="checkbox"/> H-3 <input type="checkbox"/> H-4 <input type="checkbox"/> H-5	[改5.5.2(2)]
<input type="checkbox"/> 鋼製軽量建具の耐震ドアセットの適用 <input type="checkbox"/> 適用箇所は図示による 面内変形追随性能 <input type="checkbox"/> D-1 <input type="checkbox"/> D-2 <input type="checkbox"/> D-3	[改5.5.2(2)]
<input type="checkbox"/> 標準型鋼製軽量建具の適用は図示による	

<input type="checkbox"/> 8 ステンレス製建具	
表面仕上げ <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ]	[改5.6.4(4)]
曲げ加工 <input type="checkbox"/> 普通曲げ <input type="checkbox"/> [ ]	[改5.6.5(1)]
補強材 <input type="checkbox"/> [改5.6.4(5)]による <input type="checkbox"/> ステンレス製	[改5.6.4(5)]
外部建具の耐風圧性(大型建具を除く) <input type="checkbox"/> S-4 <input type="checkbox"/> S-5 <input type="checkbox"/> S-6	[改5.6.2]
簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値(大型建具を除く) <input type="checkbox"/> 適用する(気密性A-3、水密性W-1) <input type="checkbox"/> 適用しない	[改5.6.2]
外部に面する大型建具の耐風圧性 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> 1,200Pa <input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> ステンレス製建具の防音ドアセットの適用(大型建具を除く) <input type="checkbox"/> 適用箇所は図示による 遮音性能 <input type="checkbox"/> T-1 <input type="checkbox"/> T-2 <input type="checkbox"/> T-3 <input type="checkbox"/> T-4	[改5.6.2]
<input type="checkbox"/> ステンレス製建具の断熱ドアセットの適用(大型建具を除く) <b>G</b> <input type="checkbox"/> 適用箇所は図示による 断熱性能 <input type="checkbox"/> H-1 <input type="checkbox"/> H-2 <input type="checkbox"/> H-3 <input type="checkbox"/> H-4 <input type="checkbox"/> H-5	[改5.6.2]
<input type="checkbox"/> ステンレス製建具の耐震ドアセットの適用(大型建具を除く) <input type="checkbox"/> 適用箇所は図示による 面内変形追随性能 <input type="checkbox"/> D-1 <input type="checkbox"/> D-2 <input type="checkbox"/> D-3	[改5.6.2]

<input type="checkbox"/> 9 防水型建具(下水道施設標準図 D-21、D-22)	
<input type="checkbox"/> 津波用ドア 建具用浸水深 [ ]m 漏水量による等級(JIS A 4716による) <input type="checkbox"/> Ws-3以上 <input type="checkbox"/> [ ] 水深係数 <input type="checkbox"/> 1.5 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3	
<input type="checkbox"/> 浸水防止用ドア 設定浸水高さ [ ]m 漏水量による等級(JIS A 4716による) <input type="checkbox"/> Ws-3以上 <input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> 塩害対策 枠、扉の材料 三方枠 <input type="checkbox"/> SUS304(厚さは建具製作所の仕様) <input type="checkbox"/> 鋼板(厚さはD-21による) <input type="checkbox"/> [ ]	
扉表面材 <input type="checkbox"/> SUS304(厚さは建具製作所の仕様) <input type="checkbox"/> 鋼板(厚さはD-21による) <input type="checkbox"/> [ ]	
扉カ骨・中骨 <input type="checkbox"/> SUS304(厚さは建具製作所の仕様) <input type="checkbox"/> 鋼板(厚さはD-21による) <input type="checkbox"/> [ ]	
枠、扉の表面仕上げ <input type="checkbox"/> SUS304 No.2B (JIS G 4305) <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 亜鉛メッキ鋼面 耐候性塗料塗り(DP) <input type="checkbox"/> [ ]	

<input type="checkbox"/> 10 木製建具 (改5.7.2)	
かまち戸の樹種 (改5.7.2(3)) かまち [ ] 鏡板 [ ]	
ふすまの上張り (改5.7.2(4)) <input type="checkbox"/> 新鳥の子程度又はビニル紙 <input type="checkbox"/> 鳥の子	

<input type="checkbox"/> 11 建具用金物	
金物の種類 [改5.8.2(1)][改表5.8.1]	金物の仕様
大型丁番	SUS製又は黄銅製 KKシンプタニ(DH-340S) 中西産業KK(5K-5600) GK堀商店(2841) 程度とする
内蔵型上げ落とし (カセットケース式 内蔵型グレモン締り)	ハンドル <input type="checkbox"/> ステンレス製 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> ローラーなしハンドル <input type="checkbox"/> ローラー付きハンドル KKシンプタニ(C-55Gシリーズ) 中西産業KK(GMS-1310Cシリーズ) 程度とする
大型上げ落とし (大型面付け上部締り)	KKシンプタニ(DL-2000) 中西産業KK(AL-180) GK堀商店(2621) 程度とする
大型扉用戸当り あおり止め	床付け GK堀商店(2113) 中西産業KK(DC-X-19) KKシンプタニ(DC-91) 程度とする 壁付け GK堀商店(2103) 中西産業KK(DC-X-20) 程度とする
両面締りハンドル (ローラー付き グレモンハンドル)	ハンドル <input type="checkbox"/> ステンレス製 <input type="checkbox"/> [ ] KKシンプタニ(H72SX+JSDL55) 中西産業KK(SUS-X-191-RO) GK堀商店(2644W) 程度とする
片面締りハンドル (ローラー付きグレモン ハンドル、ロック付き)	ハンドル <input type="checkbox"/> ステンレス製 <input type="checkbox"/> [ ] KKシンプタニ(H170S) 中西産業KK(SUS-FX-1-SR) GK堀商店(2644F) 程度とする
面付3点両面締りハンドル	ハンドル <input type="checkbox"/> 黄銅製 <input type="checkbox"/> [ ] KKシンプタニ(DL-4000T-3D) GK堀商店(2651-TG-3W) 中西産業KK(SF-3) 程度とする
面付2点片面締りハンドル (両開き扉用)	ハンドル <input type="checkbox"/> 黄銅製 <input type="checkbox"/> [ ] KKシンプタニ(DL-4000T-2S) GK堀商店(2651-TG-2F) 中西産業KK(SF-2) 程度とする
上記以外の金物は標準仕様書による。	
握り玉、レバーハンドル等の取付け位置 [改5.8.3(1)] <input type="checkbox"/> 図示による	
<input type="checkbox"/> ドアクローザ [改表5.8.1] <input type="checkbox"/> 設ける <input type="checkbox"/> デイレードアクション(遅延閉)機能付き <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 設けない	
<input type="checkbox"/> マスターキー(施工中はコンストラクションキースystemを適用する) [改5.8.4(1)] <input type="checkbox"/> 製作する [委託団体と協議の上systemを決定する] <input type="checkbox"/> 製作しない	
<input type="checkbox"/> 大型建具の金物 <input type="checkbox"/> 上下の大型上げ落とし又は内蔵型上げ落としを設置する。(二枚扉の場合は、両方とも設置)	

<input type="checkbox"/> 12 自動ドア開閉機構 [改5.9.3(1)][改5.9.3(2)][改表5.9.4]	
開閉方法	センサーの種類
<input type="checkbox"/> スライディングドア <input type="checkbox"/> スイングドア	<input type="checkbox"/> 熱線センサー <input type="checkbox"/> 電波センサー <input type="checkbox"/> 光電センサー <input type="checkbox"/> 押しボタンスイッチ <input type="checkbox"/> タッチスイッチ <input type="checkbox"/> 車椅子使用者用便房スイッチ <input type="checkbox"/> 光線(反射)センサー <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 音波センサー
<input type="checkbox"/> 寒冷地の凍結防止装置 建具番号[適用箇所は図示による] [改5.9.3(7)]	

<input type="checkbox"/> 13 自閉式上吊り引戸装置(車椅子使用者用便房等) [改5.10.3(2)]	
自閉式上吊り引戸装置の性能 <input type="checkbox"/> [改表5.10.1]による <input type="checkbox"/> 製造所の標準仕様による	
<input type="checkbox"/> 14 重量シャッター [改5.11.2(2)]	
耐風圧性能(N/m <sup>2</sup> ) <input type="checkbox"/> 1200 <input type="checkbox"/> 図示による	
開閉方式 [改5.11.2(3)][改表5.11.1] <input type="checkbox"/> 上部電動式(手動併用) <input type="checkbox"/> 上部手動式	
安全装置(一般の電動式シャッター) [改5.11.2(4)] <input type="checkbox"/> JIS A 4705 による危害防止装置 <input type="checkbox"/> [ ]	
安全装置 [改5.11.2(4)] (煙若しくは熱感知器連動機構又は手動閉鎖装置により閉鎖する屋内用防火シャッター 若しくは防煙シャッター) <input type="checkbox"/> JIS A 4705 による危害防止装置 かつ「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」 (昭和48年12月28日建設省告示第2564号)に定める基準に適合するもの 防火又は防煙シャッター以外の管理用シャッターのシャッターケース [改5.11.2(6)] <input type="checkbox"/> 設ける <input type="checkbox"/> 設けない	
ガイドレール形式 <input type="checkbox"/> 耐風型(はずれ止めを設ける) <input type="checkbox"/> 一般型	
<input type="checkbox"/> 15 防臭シャッター	
耐風圧性能(N/m <sup>2</sup> ) <input type="checkbox"/> 1200 <input type="checkbox"/> 800 <input type="checkbox"/> 図示による	
気密性 JIS A 1516による気密性試験で、JIS A 4702の気密性A-3等級と同程度の 通気量以下であること。	
開閉方式 <input type="checkbox"/> 上部電動式(手動併用) <input type="checkbox"/> 上部手動式	
安全装置 <input type="checkbox"/> JIS A 4705 による危害防止装置 <input type="checkbox"/> [ ]	
シャッターケース <input type="checkbox"/> 設ける <input type="checkbox"/> 設けない	
スラットの形式 オーバーラッピング形又はインターロッキング形とする。	
ガイドレール形式 <input type="checkbox"/> 耐風型(はずれ止めを設ける) <input type="checkbox"/> 一般型	

<input type="checkbox"/> 16 オーバーヘッドドア	
形式 <input type="checkbox"/> 一般タイプ <input type="checkbox"/> 防臭タイプ (開口部外側の上部及び両端のセクションに 接する部分にシールを設置する)	
セクション材 [改5.13.2(1)] <input type="checkbox"/> アルミニウムタイプ <input type="checkbox"/> スチールタイプ <input type="checkbox"/> ファイバーグラスタイプ <input type="checkbox"/> 断熱タイプ	
耐風圧性能区分 [改5.13.2(2)] <input type="checkbox"/> 50 (500Pa) <input type="checkbox"/> 75 (750Pa) <input type="checkbox"/> 100 (1000Pa) <input type="checkbox"/> 125 (1250Pa) <input type="checkbox"/> 図示による	
開閉機構 [改5.13.2(3)] <input type="checkbox"/> バランス式 <input type="checkbox"/> チェーン式 <input type="checkbox"/> 電動式	
収納形式 [改5.13.2(4)] <input type="checkbox"/> スタンダード形 <input type="checkbox"/> ローヘッド形 <input type="checkbox"/> ハイリフト形 <input type="checkbox"/> パーテカル形	
障害物感知装置(電動式の場合) [改5.13.2(5)] <input type="checkbox"/> JIS A 4705 による危害防止装置 <input type="checkbox"/> 光電センサーなどの非接触型 <input type="checkbox"/> 接触型	
ガイドレール [改5.13.3(2)] <input type="checkbox"/> ステンレスSUS304 厚2mm以上 <input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき鋼板 厚2mm以上	
アルミ型材の表面処理 [改5.13.4][改表5.2.2] <input type="checkbox"/> BB-1種 <input type="checkbox"/> BB-2種 着色方法 <input type="checkbox"/> 二次電解着色 <input type="checkbox"/> [ ] 色合い <input type="checkbox"/> ブラック <input type="checkbox"/> ステンカラー <input type="checkbox"/> ブラウン系 <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> BA-1種 <input type="checkbox"/> BA-2種 着色方法 <input type="checkbox"/> 二次電解着色 <input type="checkbox"/> [ ] 色合い <input type="checkbox"/> ブラック <input type="checkbox"/> ステンカラー <input type="checkbox"/> ブラウン系 <input type="checkbox"/> [ ]	
製造所 評価名簿による	

<input type="checkbox"/> 17 煙感知器連動自閉装置	
機器装置一式は、別図建築電気設備工事による	

<input checked="" type="checkbox"/> 18 ガラス [適用箇所、寸法及び厚さは図示による] [改5.14.2(1)]	
強化ガラス 板ガラスの材種 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> フロート板強化ガラス	
熱線吸収板ガラス 板ガラスの材種 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> 熱線吸収フロート板ガラス 色調 <input type="checkbox"/> グレー <input type="checkbox"/> ブルー <input type="checkbox"/> ブロンズ <input type="checkbox"/> グリーン	
複層ガラス 板ガラスの材種 <input checked="" type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] 断熱性・日射熱遮蔽性による区分 <input checked="" type="checkbox"/> 1種 <input type="checkbox"/> 2種 <input type="checkbox"/> 3種(U3-1) <input type="checkbox"/> 3種(U3-2) <input type="checkbox"/> 4種 <input type="checkbox"/> 5種	
熱線反射ガラス 板ガラスの材種 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ] 色調 <input type="checkbox"/> ブロンズ <input type="checkbox"/> シルバー	
日射熱遮蔽性区分 <input type="checkbox"/> 1種 <input type="checkbox"/> 2種 <input type="checkbox"/> 3種	
耐久性区分 <input type="checkbox"/> A類 <input type="checkbox"/> B類	
合わせガラス 板ガラスの材種 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> フロート合わせガラス <input type="checkbox"/> 網入磨き合わせガラス 組合せ <input type="checkbox"/> フロート板合わせガラス <input type="checkbox"/> 網入磨き・フロート板合わせガラス 性能 <input type="checkbox"/> I類 <input type="checkbox"/> II-1類 <input type="checkbox"/> II-2類 <input type="checkbox"/> III類	

<input checked="" type="checkbox"/> 19 ガラスの留め材 [改5.14.2(2)][改表3.7.1]	
建具の種類	材種
アルミニウム製	<input checked="" type="checkbox"/> シーリング材 <input type="checkbox"/> ガスケット(Fix部はシーリング材)
鋼製	<input type="checkbox"/> シーリング材 <input type="checkbox"/> [ ]
ステンレス製	<input type="checkbox"/> シーリング材 <input type="checkbox"/> [ ]
木製建具	<input type="checkbox"/> 押縁 <input type="checkbox"/> [ ]

防火戸のガラスの留め材は、建築基準法に基づく防火性能に関する技術的基準に適合したものの。

板ガラスをはめ込む溝の大きさ  
改修標準仕様書5.14.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は、(社)日本建築学会  
JSAA-17 ガラス工事「3.1 納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を  
監督職員に提出する。

0704			
工事名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	建築改修工事特記仕様書(6)		縮尺 —
検収年月	令和 7年 8月	図面種別コード	Z 201
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	D-07

20 ガラスブロック [改5.14.5]

ガラスの色  
 クリアー  
 カラー  
 セラミックカラー  リズミカラー  乳白色  熱線反射

カ骨の材質  
 [改5.14.5]による  [ ]

化粧目地モルタルの色  
 白色  [ ]

シーリング  
 [改3.7.2]による

金属製化粧カバーの材質、寸法、形状等  
 図示による  
 ステンレス製(SUS304)  
 アルミニウム製  
 表面処理  
 BB-1種  
 BB-2種  
 着色方法  二次電解着色  [ ]  
 色合い  ブラック  ステンカラー  ブラウン系  [ ]

ガラスブロックの化粧目地  
 シーリング(外部目地)  目地モルタル(内部目地)

化粧目地の寸法 [改5.14.5(2)]  
 図示による  [改5.14.5]による

伸縮調整目地の位置 [改5.14.5(2)]  
 図示による  [改5.14.5]による

目地部のカ骨の補強方法  
 ガラスブロック製造所の仕様による  
 図示による

防火性能  
 有り  無し

工法 [改5.14.5(2)]  
 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。

21 ガラス用フィルム(内張り用)

用途による区分	記号
<input type="checkbox"/> ガラス飛散防止フィルム	<input type="checkbox"/> GS-A・B
<input type="checkbox"/> 日射調整フィルム / ガラス飛散防止フィルム	<input type="checkbox"/> SC-A / GS-A・B <input type="checkbox"/> SC-B / GS-A・B <input type="checkbox"/> [ ]
<input type="checkbox"/> ガラス貫通防止フィルム	<input type="checkbox"/> SF-A
<input type="checkbox"/> 日射調整フィルム / ガラス貫通防止フィルム	<input type="checkbox"/> SC-A / SF-A <input type="checkbox"/> SC-B / SF-A <input type="checkbox"/> [ ]

品質 JIS A 5759 による

■ 6章 内装改修工事

一般事項  
 1 接着剤  
 接着剤のホルムアルデヒド放散量  
 規制対象外  第三種  
 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

特記事項  
 1 他の部位との取り合い等  
**既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、床の改修範囲** [改6.1.3(2)]  
 [改6.1.3(2)]による  図示による

**天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲** [改6.1.3(3)]  
 [改6.1.3(3)]による  図示による

**天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修** [改6.1.3(5)]  
 [改6.1.3(5)]による  図示による

2 既存床の撤去及び下地補修 [改6.2.2]  
 ビニル床シート、ビニル床タイル等の除去  
 仕上材のみ(接着剤とも) 範囲  図示による  
 下地モルタルまで 範囲  図示による

合成樹脂塗床材の除去  
 機械的除去工法  
 目荒し工法

コンクリート又はモルタル面の下地処理  
 材 料  ポリマーセメントモルタル  
 ポリマーセメントモルタルの種類  
 合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢ビ系

曲げ強さ	圧縮強さ	接着強さ		
		標準時	湿潤時	低温時
6.0N/mm2以上	20.0N/mm2以上	1.0N/mm2以上	0.8N/mm2以上	0.5N/mm2以上

表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと  
 透水性 裏面の漏れ、水滴の付着がないこと  
 均質で有害と認められる異物の混入がないこと

エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/mm2以上	20.0N/mm2以上	10.0N/mm2以上

a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること  
 b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと  
 c. 「労働安全衛生法」に基づく有機溶剤中毒予防規則に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと  
 d. 形状に異常がなく、だれが生じないこと  
 e. 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において、製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること

施工箇所  図示による  [ ]

欠損部又は下地モルタル撤去部の下地モルタル塗り [改6.2.2(2)]  
 図示による

3 既存壁の撤去並びに下地補修 [改6.3.2]  
**間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修** [改6.3.2(1)]  
 図示による  
 [改6.3.2(1)(オ)]による

4 軽量鉄骨天井下地 [改6.6.2(2)][改表6.6.1]  
 野縁等の種類  
 屋外  25型  19型  
 屋内  19型  25型

屋外の軽量鉄骨天井下地 [改6.6.3(1)]  
 屋外の野縁受け、つりボルト及びびんサートの間隔  
 建築工事標準詳細図(3-21-1~4)による  
 図示による(耐風圧を確認する)

屋外の野縁の間隔 [改6.6.3(2)]  
 建築工事標準詳細図(3-21-1~4)による  
 図示による(耐風圧を確認する)

既存の埋込みインサート [改6.6.4(1)(ア)]  
 使用する  使用しない

あと施工アンカーの引抜き試験 [改6.6.4(1)(イ)]  
 行う  行わない

軽量鉄骨天井下地の補強 [改6.6.4(10)]  
 耐震性を確保した補強(必要に応じて斜め補強材を入れる。)  
 図示による  [ ]

屋外の軒天井、ピロティ天井等の耐風圧性を考慮した補強 [改6.6.4(11)]  
 図示による  [ ]

5 軽量鉄骨壁下地 [改6.7.3(1)][改表6.7.1]  
 スタッド、ランナの種類  
 スタッドの高さが5.0m以下の場合 [改表6.7.1]による  図示による  
 スタッドの高さが5.0mを超える場合 [改表6.7.1]  
 図示による  [ ]

6 ビニル床シート張り G [改6.8.2]

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
<input type="checkbox"/> 発泡層のないもの	<input type="checkbox"/> FS(複層ビニル床シート) [IB:NC(ビニル床シート)]	<input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> マーブル柄	<input type="checkbox"/> 2
<input type="checkbox"/> 発泡層のあるもの	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物	<input type="checkbox"/> [ ]

工 法 [改6.8.3]  
 熱溶接工法 [施工箇所 ]  
 突付け [施工箇所 ]

7 ビニル床タイル張り G [改6.8.2]

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
<input type="checkbox"/> 接着形	<input type="checkbox"/> KT(コンポジションビニル床タイル) [IB:CT(コンポジションビニル床タイル(半硬質))] CTS(コンポジションビニル床タイル(軟質))] <input type="checkbox"/> FT(複層ビニル床タイル) [IB:HT(ホモジニアビニル床タイル)]	<input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物	<input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> [ ]
<input type="checkbox"/> 置敷形	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物	<input type="checkbox"/> [ ]

8 特殊機能床材 G [改6.8.2]

種類	特殊機能	色柄	厚さ(mm)
<input type="checkbox"/> KT(コンポジションビニル床タイル) [IB:CT(コンポジションビニル床タイル(半硬質))]	帯電防止	<input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物	<input type="checkbox"/> 2
<input type="checkbox"/> FT(複層ビニル床タイル) [IB:HT(ホモジニアビニル床タイル)]	帯電防止	<input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物	<input type="checkbox"/> 4 又は4.5
<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 帯電防止 <input type="checkbox"/> 耐動荷重 <input type="checkbox"/> 耐薬品	<input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物	<input type="checkbox"/> [ ]

性 能  
 帯電防止  
 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上3.2未満  
 又は体積電気抵抗値(NFPA法)1×10<sup>7</sup>~1×10<sup>10</sup>Ω程度  
 耐動荷重  [ ]  
 耐薬品  [ ]

9 誘導用及び注意喚起用床材 [改6.8.2]  
 形状: JIS T 9251 (色彩は黄色を原則とする)

種類	寸法(mm)	備考
<input type="checkbox"/> レジンコンクリート製	<input type="checkbox"/> 300×300 厚さ30 程度	<input type="checkbox"/> [ ]
<input type="checkbox"/> 塩化ビニル製	<input type="checkbox"/> 300×300	<input type="checkbox"/> [ ]
<input type="checkbox"/> 磁器質タイル	<input type="checkbox"/> 無ゆわ <input type="checkbox"/> 300角	<input type="checkbox"/> [ ]

10 ビニル幅木 [改6.8.2(4)]  
 高さ(mm)  60  75  100  
 厚さ(mm)  1.5  [ ]

11 タイルカーペット敷き G [改6.9.3][改表6.9.1]

バイル形状	種類	寸法	総厚さ(mm)	施工箇所
<input type="checkbox"/> ループバイル	<input type="checkbox"/> 第一種 <input type="checkbox"/> 第二種	<input type="checkbox"/> 500×500 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 6.5 <input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> カットバイル	<input type="checkbox"/> 第一種 <input type="checkbox"/> 第二種	<input type="checkbox"/> 500×500 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> カット・ループ併用	<input type="checkbox"/> 第一種 <input type="checkbox"/> 第二種	<input type="checkbox"/> 500×500 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> [ ]	

帯電性  
 人体帯電圧 3kV以下(フリーアクセスフロア施設範囲)  [ ]  
 全面接着工法による敷き方 [改6.9.3(5)]  
 平場:市松敷き 階段部分:模様流し  [ ]

12 合成樹脂塗床 [改6.10.2][改6.10.3][改表6.10.1~8]

種別	仕上げの種類
<input type="checkbox"/> 弾性ウレタン樹脂系塗床材	<input type="checkbox"/> 平滑仕上げ <input type="checkbox"/> 防滑仕上げ <input type="checkbox"/> つや消し仕上げ
<input type="checkbox"/> エポキシ樹脂系塗床材	<input type="checkbox"/> 薄膜流し展べ仕上げ <input type="checkbox"/> 平滑 <input type="checkbox"/> 防滑 <input type="checkbox"/> 厚膜流し展べ仕上げ <input type="checkbox"/> 平滑 <input type="checkbox"/> 防滑 <input type="checkbox"/> 樹脂モルタル仕上げ <input type="checkbox"/> 平滑 <input type="checkbox"/> 防滑
<input type="checkbox"/> 薄膜型塗床材	<input type="checkbox"/> 平滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量  
 規制対象外  第三種

13 せっこうボード、その他ボード張り [改6.13.2][改表6.13.1]

種 類	記号	仕上げ等	部位	厚さ(mm)・規格等
<input type="checkbox"/> せっこうボード	GB-R		壁	<input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15(不燃) <input type="checkbox"/> [ ]
			天井	<input type="checkbox"/> 9.5(準不燃) <input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> [ ]

不燃積層せっこうボード GB-NC

<input type="checkbox"/> 化粧無(下張り用)	天井	<input type="checkbox"/> 9.5(不燃) <input type="checkbox"/> [ ]
<input type="checkbox"/> 化粧有(トラバーチン模様)	天井	<input type="checkbox"/> 9.5(不燃) <input type="checkbox"/> [ ]

シーディングせっこうボード GB-S

	壁	<input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15.0(不燃) <input type="checkbox"/> [ ]
	天井	<input type="checkbox"/> 9.5(準不燃) <input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15.0(不燃) <input type="checkbox"/> [ ]

強化せっこうボード GB-F

		<input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15.0(不燃) <input type="checkbox"/> 21.0(不燃) <input type="checkbox"/> [ ]
--	--	---

けい酸カルシウム板タイプ2(無石棉) 0.8FK

	壁	<input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> [ ]
	天井(屋内)	<input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> [ ]
<input type="checkbox"/> 化粧ボード	壁	<input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> [ ]
	天井(屋内)	<input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> [ ]

ロックウール化粧吸音板 DR

<input type="checkbox"/> フラットタイプ(トラバーチン模様)	天井	<input type="checkbox"/> 9(不燃) <input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> [ ]
<input type="checkbox"/> 凹凸タイプ	天井	<input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> 15(不燃) <input type="checkbox"/> [ ]

ロックウール化粧吸音板(軒天用) DR

<input type="checkbox"/> フラットタイプ(トラバーチン模様)	天井	<input type="checkbox"/> 9(不燃) <input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> [ ]
<input type="checkbox"/> 凹凸タイプ	天井	<input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> 15(不燃) <input type="checkbox"/> [ ]

木質系セメント板 G HW (硬質木毛セメント板)

		<input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ]
--	--	--

メラミン樹脂化粧板 JIS A6903による

		<input type="checkbox"/> 1.2 <input type="checkbox"/> 1.6 <input type="checkbox"/> [ ]
--	--	--

0704			
工 事 名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施 設 名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図 面 名 称	建築改修工事特記仕様書(7)		縮 尺 —
検 収 年 月	令和 7 年 8 月	図面種別コード	Z 201
設 計 管 理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受 託 業 者	株式会社三水コンサルタント	図 面 番 号	D-08

<input type="checkbox"/> 14 壁紙張り [改6.14.2(1)]										
施工箇所	壁紙の種類				防火種別			備考		
	紙系	織物系	ブラ	無機質系	その他	不燃下地	準不燃石膏		準不燃下地	金属下地

<input type="checkbox"/> 17 有機系接着剤によるタイル張り タイルの種類 [改6.16.4(2)]														
施工箇所	形状寸法 (mm)	吸水率による区分			うわ薬	役割	色	再生材 G	耐凍害性	滑り抵抗性	タイルの品質等			
		I 類	II 類	III 類										

<input type="checkbox"/> 21 仕上塗材仕上げ (15.6.2~7)(表15.6.1)		
名称	種類	仕上げの形状等
薄付け仕上塗材	<input type="checkbox"/> 内装薄塗材C	<input type="checkbox"/> 平坦状 <input type="checkbox"/> 凹凸状 <input type="checkbox"/> ゆず肌状 <input type="checkbox"/> さざ波状
	<input type="checkbox"/> 内装薄塗材L	<input type="checkbox"/> 平坦状 <input type="checkbox"/> 凹凸状 <input type="checkbox"/> ゆず肌状 <input type="checkbox"/> さざ波状
	<input type="checkbox"/> 内装薄塗材Si	<input type="checkbox"/> 砂壁状じゅらく <input type="checkbox"/> ゆず肌状 <input type="checkbox"/> 平坦状 <input type="checkbox"/> 凹凸状 <input type="checkbox"/> さざ波状
	<input type="checkbox"/> 内装薄塗材E	<input type="checkbox"/> 砂壁状じゅらく <input type="checkbox"/> ゆず肌状 <input type="checkbox"/> 平坦状 <input type="checkbox"/> 凹凸状 <input type="checkbox"/> さざ波状
	<input type="checkbox"/> 内装薄塗材W	<input type="checkbox"/> 京壁状じゅらく <input type="checkbox"/> ゆず肌状 <input type="checkbox"/> 平坦状 <input type="checkbox"/> 凹凸状

<b>■ 7章 塗装改修工事</b>		
一般事項		
<input type="checkbox"/> 1 塗装材料等 <input type="checkbox"/> 屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火性能に関する技術的基準に適合するものとする。 <input type="checkbox"/> 屋内で使用される塗料のホルムアルデヒドの放散量 <input type="checkbox"/> 規制対象外 <input type="checkbox"/> 第三種		
特記事項		
<input checked="" type="checkbox"/> 1 下地調整		
下地調整の種類別 [改表7.2.1~7]		
下地面の種類		下地調整の種類
木部	<input checked="" type="checkbox"/> RA種	<input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種
鉄鋼面	<input type="checkbox"/> RA種	<input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種
亜鉛めっき鋼面	<input type="checkbox"/> RA種	<input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種
モルタル面及びプラスター面	<input type="checkbox"/> RA種	<input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種
コンクリート面及びALCパネル面	<input type="checkbox"/> RA種	<input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種
コンクリート面及び押出成形セメント板面	<input type="checkbox"/> RA種	<input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種
せっこうボード面及びその他ボード面	<input type="checkbox"/> RA種	<input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種

凡例：ブラ(プラスチック系)、不燃石膏(不燃石膏ボード下地)：不(不燃)、準(準不燃)、難(難燃)を示す。

下地調整の種類別 [改6.14.3]  
 モルタル及びせっこうプラスター面 [改6.14.3(1)][改7.2.5][改表7.2.4]  
 RA種  RB種  RC種

コンクリート面 [改6.14.3(1)][改7.2.6(1)][改表7.2.5]  
 RA種  RB種  RC種

せっこうボード面 [改6.14.3(2)][改7.2.7][改表7.2.7]  
 RA種  RB種  RC種

壁紙のホルムアルデヒドの放散量  
 規制対象外  第三種

役物  
標準的な曲がりの役物は一体成形とする。(特殊役物は除く)  
 タイルの見本焼 [改6.16.2(2)]  
 行わない  行う

内装タイル  
 一般地仕様  寒冷地仕様(寒冷地域用)

材種  
 標準品  [ ]  
 製造所名、製品名及び製品番号 [ ]。  
 当該製品又は同等品とする。

接着剤のホルムアルデヒド放散量 [改6.16.4(2)]  
 規制対象外  第三種

下地調整の種類別  
 モルタル及びせっこうプラスター面 [改7.2.5][改表7.2.4]  
 RA種  RB種  RC種

コンクリート面 [改7.2.6(1)][改表7.2.5]  
 RA種  RB種  RC種

せっこうボード面 [改7.2.7][改表7.2.7]  
 RA種  RB種  RC種

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量  
 規制対象外  第三種

防火材料の指定  
 屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

既存モルタル面及びコンクリート面の下地調整 [改表7.2.4~6]		
既存下地面のひび割れ部の補修 <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う(図示による)		
既存塗膜の剥離やかき落とし作業 [改7.1.8] <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		
鉛等有害物質を含有する既存塗膜の有無 <input type="checkbox"/> 不明 既存塗膜の剥離やかき落とし作業を行う場合は、有害物質の調査やばく露対策について、監督職員と協議すること。 <input type="checkbox"/> 有 施工箇所 ( ) <input type="checkbox"/> 無		

<input checked="" type="checkbox"/> 15 モルタル塗り 吸水調整材 [改6.15.3(4)]			
全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/mm2)	界面破断(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上	50%以下

<input type="checkbox"/> 18 断熱材 (19.9.2)(19.9.3)				
材種	種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
<input type="checkbox"/> 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	<input type="checkbox"/> 2種bA	<input type="checkbox"/> 一般部	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ]	ノンフロンのも G
	<input type="checkbox"/> 3種bA(スキ層付)	<input type="checkbox"/> 土層接地 <input type="checkbox"/> スラブ下地	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]	

<input type="checkbox"/> 硬質ウレタンフォーム断熱材	<input type="checkbox"/> 2種1号 又は2種2号	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム	<input type="checkbox"/> A種1 又はA種1H	<input type="checkbox"/> 断熱材補修部分 <input type="checkbox"/> 一般部 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 25	ノンフロンのも G

均質で有害と認められる異物の混入がないこと

防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)  
 防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 JIS A1404による試験

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水性
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験8において 始発 1時間以上 終結 10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下 294KPa/h

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂等を用いた断熱材のホルムアルデヒド放散量  
 規制対象外  第三種  
 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームの製造所評価名簿による

不燃材  
 材種  炭酸カルシウム発泡板  [ ]  
 厚さ(mm)  25  [ ]  
 ※不燃認定が必要な場合は、製造所の仕様とする。

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。JIS R5201の試験9

既製目地 [改6.15.3(6)]  
 図示による  [ ]

床目地 [改6.15.6(2)]  
 設置する 工法  図示による  [改6.15.6(2)(ウ)]による  
 設置しない

<input type="checkbox"/> 19 吸音材				
材 料	種 類	厚さ(mm)	品質規格	備考
<input type="checkbox"/> グラスウール	グラスウール吸音ボード32K	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> [ ]		

ボードの表面のガラスクロス JIS R 3414 による EP18A程度  
 ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂等を用いた断熱材ホルムアルデヒドの放散量  
 規制対象外  第三種

留付方法  
 ステンレス製あと施工アンカー留め(下水道施設標準図 B-02-2)  
 固定タイプ  
 取外し再取付可能タイプ  
 樹脂製断熱アンカー留め  
 スピンドル鉋留め化粧ワッシャー押え

留付け金物等  
 製造所の仕様による  [ ]

<input type="checkbox"/> 16 セメントモルタルによるタイル張り タイルの種類 [改6.16.3(2)]											
施工箇所	形状寸法 (mm)	吸水率による区分			うわ薬	役割	色	再生材 G	耐凍害性	滑り抵抗性	タイルの品質等
		I 類	II 類	III 類							

20 間伐材等  
 使用箇所  [ ]  
 間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること。  
 室内の内装材にあっては、ホルムアルデヒド放散量「(JAS規格による測定方法)」

役物  
標準的な曲がりの役物は一体成形とする。(特殊役物は除く)

タイルの見本焼 [改6.16.2(2)]  
 行わない  行う

内装タイル  
 一般地仕様  寒冷地仕様

材種  
 標準品  [ ]  
 製造所名、製品名及び製品番号 [ ]。  
 当該製品又は同等品とする。

張り付け用材料等 [改6.16.3(2)(イ)(c)]  
 既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ(N/mm2)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm2)
		標準時	温冷繰返し後		
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

タイル張りの工法 [改6.16.3(6)(ウ)][改表6.16.4]  
 内装タイルの張り付け工法  
 改良積上げ張り

タイルの引張接着力試験 [改6.16.3(2)(ア)(c)]  
 行わない  行う

伸縮調整目地の位置 [改6.16.2(1)(ア)]  
 図示による  [改6.16.2(1)(ア)]による

<input type="checkbox"/> 3 錆止め塗料塗り [改7.4.2~改7.4.3]		
種類	塗料種別	備考
鉄鋼面錆止め塗料	SOP	<input type="checkbox"/> A種
	DP	<input type="checkbox"/> (改7.4.3)による
	EP-G	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
亜鉛めっき鋼面錆止め塗料	SOP	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種
	DP	<input type="checkbox"/> B種
	EP-G	<input type="checkbox"/> C種

0704			
工 事 名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施 設 名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図 面 名 称	建築改修工事特記仕様書(8)	縮 尺	—
検 収 年 月	令和 7 年 8 月	図面種別コード	Z 201
設 計 管 理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受 託 業 者	株式会社三水コンサルタント	図 面 番 号	D-09

<p><input checked="" type="checkbox"/> 4 塗装塗り [改7.4.3][改7.5.2~7.15.2][改表7.5.1~7.15.1]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="5"><input type="checkbox"/> 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部(外部)</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.2]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.2]</td> </tr> <tr> <td>木部(内部)</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.2]</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.2]</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.3]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.5.3]</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.4]</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.4]</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.4]</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.4]</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> クリアラッカー塗り (CL)</td> <td>木部</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.6.2]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.6.2]</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)</td> <td>屋内のコンクリート面・モルタル面</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.7.2]</td> <td><input type="checkbox"/> B種 [改7.7.2]</td> </tr> <tr> <td rowspan="3"><input type="checkbox"/> 耐候性上塗り塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面 上塗り <input type="checkbox"/> 1級(ふっ素樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 2級(アクリルシリコン樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 3級(ポリウレタン樹脂塗料)</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種 [改7.4.3(1)][改7.8.2]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 [改7.4.3(1)][改7.8.2]</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面 上塗り <input type="checkbox"/> 1級(ふっ素樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 2級(アクリルシリコン樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 3級(ポリウレタン樹脂塗料)</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種 [改7.4.3(3)][改7.8.3]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 [改7.4.3(3)][改7.8.3]</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 <input type="checkbox"/> 1級(ふっ素樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 2級(アクリルシリコン樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 3級(ポリウレタン樹脂塗料)</td> <td><input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> A-2種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> B-2種 <input type="checkbox"/> C-1種 <input type="checkbox"/> C-2種 [改7.8.4]</td> <td><input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> C-1種 [改7.8.4]</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 耐候性上塗り塗料塗り (DP)</td> <td>押出成形セメント板面 <input type="checkbox"/> 1級(ふっ素樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 2級(アクリルシリコン樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 3級(ポリウレタン樹脂塗料)</td> <td><input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> A-2種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> B-2種 <input type="checkbox"/> C-1種 <input type="checkbox"/> C-2種 [改7.8.4]</td> <td><input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> C-1種 [改7.8.4]</td> </tr> <tr> <td rowspan="5"><input type="checkbox"/> つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</td> <td>屋内木部</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.3]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.3]</td> </tr> <tr> <td>屋内鉄鋼面</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.4]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.4]</td> </tr> <tr> <td>屋内垂鉛めっき鋼面</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.5]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.5]</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.2]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.2]</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.2]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.2]</td> </tr> <tr> <td rowspan="4"><input type="checkbox"/> 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td>コンクリート面</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.10.2]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2]</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.10.2]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2]</td> </tr> <tr> <td>せっこうプラスター面</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.10.2]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2]</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.10.2]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2]</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>木部</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.11.2]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.11.2]</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ス테인塗り (OT)</td> <td>木部</td> <td><input type="checkbox"/> [改7.12.2]</td> <td><input type="checkbox"/> [改7.12.2]</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>屋外木部</td> <td><input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.13.2]</td> <td><input type="checkbox"/> A種 <input checked="" type="checkbox"/> B種 [改7.13.2]</td> </tr> </table>	塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	<input type="checkbox"/> 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部(外部)	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.2]	木部(内部)	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.2]	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.2]	鉄鋼面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.3]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.5.3]	垂鉛めっき鋼面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.4]	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.4]	鋼製建具	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.4]	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.4]	<input type="checkbox"/> クリアラッカー塗り (CL)	木部	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.6.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.6.2]	<input type="checkbox"/> アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	屋内のコンクリート面・モルタル面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.7.2]	<input type="checkbox"/> B種 [改7.7.2]	<input type="checkbox"/> 耐候性上塗り塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り <input type="checkbox"/> 1級(ふっ素樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 2級(アクリルシリコン樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 3級(ポリウレタン樹脂塗料)	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種 [改7.4.3(1)][改7.8.2]	<input type="checkbox"/> A種 [改7.4.3(1)][改7.8.2]	垂鉛めっき鋼面 上塗り <input type="checkbox"/> 1級(ふっ素樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 2級(アクリルシリコン樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 3級(ポリウレタン樹脂塗料)	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種 [改7.4.3(3)][改7.8.3]	<input type="checkbox"/> A種 [改7.4.3(3)][改7.8.3]	コンクリート面 <input type="checkbox"/> 1級(ふっ素樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 2級(アクリルシリコン樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 3級(ポリウレタン樹脂塗料)	<input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> A-2種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> B-2種 <input type="checkbox"/> C-1種 <input type="checkbox"/> C-2種 [改7.8.4]	<input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> C-1種 [改7.8.4]	<input type="checkbox"/> 耐候性上塗り塗料塗り (DP)	押出成形セメント板面 <input type="checkbox"/> 1級(ふっ素樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 2級(アクリルシリコン樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 3級(ポリウレタン樹脂塗料)	<input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> A-2種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> B-2種 <input type="checkbox"/> C-1種 <input type="checkbox"/> C-2種 [改7.8.4]	<input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> C-1種 [改7.8.4]	<input type="checkbox"/> つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	屋内木部	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.3]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.3]	屋内鉄鋼面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.4]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.4]	屋内垂鉛めっき鋼面	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.5]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.5]	コンクリート面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.2]	モルタル面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.2]	<input type="checkbox"/> 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	コンクリート面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.10.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2]	モルタル面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.10.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2]	せっこうプラスター面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.10.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2]	せっこうボード面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.10.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2]	<input type="checkbox"/> ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	木部	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.11.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.11.2]	<input type="checkbox"/> ス테인塗り (OT)	木部	<input type="checkbox"/> [改7.12.2]	<input type="checkbox"/> [改7.12.2]	<input checked="" type="checkbox"/> 木材保護塗料塗り (WP)	屋外木部	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.13.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input checked="" type="checkbox"/> B種 [改7.13.2]	<p>■ 8章 耐震改修工事</p> <p>特記事項</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1 鉄筋の種類 [改8.2.1]</p> <p>■ 構造細目共通図による <input type="checkbox"/> 下記表による</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> SD295</td> <td><input type="checkbox"/> D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> SD345</td> <td><input type="checkbox"/> D19以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> [ ]</td> <td><input type="checkbox"/> [ ]</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> [ ]</td> <td><input type="checkbox"/> [ ]</td> <td></td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/> 2 溶接金網 [改8.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>網目の形状寸法(mm)</th> <th>鉄線の径(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 100×100</td> <td><input type="checkbox"/> 6</td> <td><input type="checkbox"/> 構造細目共通図による</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> [ ]</td> <td><input type="checkbox"/> [ ]</td> <td><input type="checkbox"/> [ ]</td> </tr> </table> <p><input checked="" type="checkbox"/> 3 鉄筋の継手 [改8.3.4]</p> <p>■ 構造細目共通図による <input type="checkbox"/> [ ] <input type="checkbox"/> 下記表による</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>継手の方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 柱及び梁主筋</td> <td><input type="checkbox"/> D19以上D29 以下 <input type="checkbox"/> [ ]</td> <td><input type="checkbox"/> ガス圧接 <input type="checkbox"/> [ ]</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 耐震壁の鉄筋</td> <td><input type="checkbox"/> [ ]</td> <td><input type="checkbox"/> 重ね継手 <input type="checkbox"/> [ ]</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 基礎、耐圧スラブ土圧壁</td> <td><input type="checkbox"/> [ ]</td> <td><input type="checkbox"/> 重ね継手 <input type="checkbox"/> ガス圧接 <input type="checkbox"/> [ ]</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> [ ]</td> <td><input type="checkbox"/> [ ]</td> <td><input type="checkbox"/> [ ]</td> <td></td> </tr> </table> <p><input checked="" type="checkbox"/> 4 鉄筋の最小かぶり厚さ [改8.3.5]</p> <p>■ 構造細目共通図による</p> <p>塩害対策 ■ 必要としない <input type="checkbox"/> 必要とする</p> <p><input type="checkbox"/> 5 帯筋 [改8.3.4(6)(イ)]</p> <p>■ 構造細目共通図による <input type="checkbox"/> [ ]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 6 壁開口部の補強 [改8.3.7]</p> <p>■ 構造細目共通図による <input type="checkbox"/> 図示による</p> <p><input type="checkbox"/> 7 ガス圧接 [改8.3.8(10)(イ)] (5.4.10 (イ)(b))</p> <p>圧接部の確認試験 <input type="checkbox"/> 超音波探傷試験 <input type="checkbox"/> 引張試験</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 8 コンクリートの材料 [改8.2.5(1)]</p> <p>セメントの種類 ■ 普通ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210の規定に適合し、かつ、次の規定に適合するものとする。 水和熱が7日目で352J/g以下、28日目で402J/g以下とする。 <input type="checkbox"/> 早強ポルトランドセメント(JIS R 5210) <input type="checkbox"/> 高炉セメントのB種(JIS G</p> <p>骨材 [改8.2.5(2)]</p> <p>砕石及び砕砂(JIS A 5308 付属書A)のアルカリシリカ反応性による区分 ■ A <input type="checkbox"/> B (アルカリ骨材反応抑制対策を行う)</p> <p>細骨材の塩分含有量(%) ■ 0.04以下 <input type="checkbox"/> [ ]</p> <p>混和材料の種類 [改8.2.5(4)]</p> <p>■ 混和剤 JIS A 6204 に適合するAE剤、AE減水剤及び高性能AE減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はI種とする。 また、防錆材を併用する場合はJIS A 6205 に適合する防錆材とする。 <input type="checkbox"/> 混和材 JIS A 6201 に適合するフライアッシュのI種、II種若しくはIV種、JIS A 6206 による高炉スラグ微粉末、JIS A6207 によるシリカフェーム又はJIS A 6202 に適合する膨張材とする。</p>	種類の記号	呼び径(mm)	備考	<input type="checkbox"/> SD295	<input type="checkbox"/> D16以下		<input type="checkbox"/> SD345	<input type="checkbox"/> D19以上		<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]		<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]		網目の形状寸法(mm)	鉄線の径(mm)	施工箇所	<input type="checkbox"/> 100×100	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 構造細目共通図による	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]	部位	呼び径(mm)	継手の方法	備考	<input type="checkbox"/> 柱及び梁主筋	<input type="checkbox"/> D19以上D29 以下 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> ガス圧接 <input type="checkbox"/> [ ]		<input type="checkbox"/> 耐震壁の鉄筋	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 重ね継手 <input type="checkbox"/> [ ]		<input type="checkbox"/> 基礎、耐圧スラブ土圧壁	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 重ね継手 <input type="checkbox"/> ガス圧接 <input type="checkbox"/> [ ]		<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]		<p>9 コンクリートの種類 [改8.1.3][改表8.1.1]</p> <p>■ コンクリートの種別 ■ I類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) <input type="checkbox"/> II類 (JIS A 5309への適合を認証されたコンクリート)</p> <p>■ コンクリートの仕様 [改8.1.4(1)(ア)][改8.1.4(2)(イ)]</p> <p>■ 構造細目共通図による <input type="checkbox"/> 下記表による</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>設計基準強度(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スランプ(cm)</th> <th>気乾単位容積質量(t/m<sup>3</sup>)</th> <th>セメントの種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 24 <input type="checkbox"/> [ ]</td> <td><input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> [ ]</td> <td><input type="checkbox"/> 2.3程度</td> <td><input type="checkbox"/> 普通ポルトランドセメント <input type="checkbox"/> 高炉セメントB</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 24 <input type="checkbox"/> [ ]</td> <td><input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> [ ]</td> <td><input type="checkbox"/> 2.3程度</td> <td><input type="checkbox"/> 普通ポルトランドセメント <input type="checkbox"/> 高炉セメントB</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[ ]</td> <td>[ ]</td> <td>[ ]</td> <td>[ ]</td> <td></td> </tr> </table> <p>■ 構造体強度補正值 ■ 改8.2.5、改8.10.2、改8.11.2による <input type="checkbox"/> [ ]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 10 コンクリートの品質 [改8.1.4(3)(ア)]</p> <p>コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容差並びにその測定方法 許容差 ■ [改8.1.4(3)(ア)①]による <input type="checkbox"/> 図示による 測定方法 ■ [改8.1.4(3)(ア)②]による <input type="checkbox"/> 図示による</p> <p>コンクリートの打放し仕上げ 合板せき板を用いる場合 [改8.1.4(3)(イ)][改表8.1.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> B種</td> <td>内外壁打放し仕上面、梁型打放し仕上面、防水層上り下地面</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> C種</td> <td>床版下及び梁下打放し仕上面、防水層押え上り面</td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平坦さ [改8.1.4(3)(イ)] <input type="checkbox"/> [改表8.1.5]による <input type="checkbox"/> 図示による</p> <p>外部に面するコンクリート打放し仕上げ面の打増し厚さ(mm) [改8.7.8(1)(オ)] ■ 30 <input type="checkbox"/> 図示による</p> <p>内部に面するコンクリート打放し仕上げ面の打増し厚さ(mm) [改8.7.8(1)(オ)] <input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 図示による</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 11 型枠 [改8.2.7]</p> <p>型枠(せき板)の種類 ■ 合板塗装の有無 ■ 有(内部打放しB・C種で、吹付け・塗装等を行わない面) ■ 無(上記以外)</p> <p>貫通孔(スリーブ) [改8.2.7(7)]</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>使用箇所</th> </tr> <tr> <td>溶融垂鉛めっき鋼板</td> <td>下記以外の円形スリーブ</td> </tr> <tr> <td>つば付き鋼管</td> <td>外壁の地中部分等水密を要する部分のスリーブ</td> </tr> <tr> <td>硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>地中部分で水密を要しない部分のスリーブ</td> </tr> <tr> <td>紙スリーブ</td> <td>柱及び梁以外の箇所で、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径がφ200mm以下の部分</td> </tr> </table> <p><input checked="" type="checkbox"/> 12 モルタル及びグラウト材 [改8.2.12(1)]</p> <p>柱底等の均しモルタル <input type="checkbox"/> 無収縮モルタル 製造所は、評価名簿による</p> <p>グラウト材 [改8.2.12(2)] ■ 無収縮グラウト材 製造所は、評価名簿による 構造体用モルタルの圧縮強度及びフロー値 [改8.2.6] <input type="checkbox"/> 図示による</p> <p><input type="checkbox"/> 13 無筋コンクリート [改8.11.1(3)]</p> <p><input type="checkbox"/> 構造細目共通図による <input type="checkbox"/> 下記表による</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>設計基準強度(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スランプ(cm)</th> <th>気乾単位容積質量(t/m<sup>3</sup>)</th> <th>セメントの種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>[ ]</td> <td><input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> [ ]</td> <td><input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> [ ]</td> <td><input type="checkbox"/> 25</td> <td><input type="checkbox"/> 普通ポルトランドセメント <input type="checkbox"/> 高炉セメントB</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[ ]</td> <td>[ ]</td> <td>[ ]</td> <td>[ ]</td> <td>[ ]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[ ]</td> <td>[ ]</td> <td>[ ]</td> <td>[ ]</td> <td>[ ]</td> <td></td> </tr> </table> <p>床目地 <input type="checkbox"/> 設置する 工法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [改6.15.6(1)(カ)]による <input type="checkbox"/> 設置しない</p>	適用箇所	設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m <sup>3</sup> )	セメントの種類	備考	<input type="checkbox"/> 24 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 2.3程度	<input type="checkbox"/> 普通ポルトランドセメント <input type="checkbox"/> 高炉セメントB		<input type="checkbox"/> 24 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 2.3程度	<input type="checkbox"/> 普通ポルトランドセメント <input type="checkbox"/> 高炉セメントB		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		種別	適用箇所	<input type="checkbox"/> A種		<input checked="" type="checkbox"/> B種	内外壁打放し仕上面、梁型打放し仕上面、防水層上り下地面	<input type="checkbox"/> C種	床版下及び梁下打放し仕上面、防水層押え上り面	材種	使用箇所	溶融垂鉛めっき鋼板	下記以外の円形スリーブ	つば付き鋼管	外壁の地中部分等水密を要する部分のスリーブ	硬質ポリ塩化ビニル管	地中部分で水密を要しない部分のスリーブ	紙スリーブ	柱及び梁以外の箇所で、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径がφ200mm以下の部分	適用箇所	設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m <sup>3</sup> )	セメントの種類	備考	[ ]	<input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 25	<input type="checkbox"/> 普通ポルトランドセメント <input type="checkbox"/> 高炉セメントB		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		<p>14 あと施工アンカー工事</p> <p>材料 [改8.2.4(2)]</p> <p><input type="checkbox"/> 金属系アンカー(耐震補強用) 引張り耐力及びせん断耐力 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ]</p> <p>アンカー本体の径及び埋込み深さ <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ]</p> <p>アンカーのセット方式 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> 本体打込み式</p> <p>接合筋の種類 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ]</p> <p>接合筋の径及び長さ <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [ ]</p> <p>■ 接着系アンカー(回転・打撃型) [改8.2.4(3)] 引張り耐力及びせん断耐力 ■ 図示による <input type="checkbox"/> [ ]</p> <p>アンカーの種類 <input type="checkbox"/> 図示による ■ カプセル型</p> <p>アンカーの接着剤の品質 ■ 有機系 <input type="checkbox"/> 無機系</p> <p>アンカー筋の径及び埋込み深さ ■ 図示による <input type="checkbox"/> [ ]</p> <p>アンカー筋の種類 <input type="checkbox"/> 図示による ■ 鉄筋コンクリート用棒鋼 <input type="checkbox"/> 全ねじボルト <input type="checkbox"/> [ ]</p> <p>アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ■ 図示による <input type="checkbox"/> [ ]</p> <p>性能確認試験 [改8.2.4(4)] <input type="checkbox"/> 行う (確認強度は図示による) ■ 行わない</p> <p>穿孔機械 [改8.12.1(2)] 使用する機械は、金属検知により電源供給が停止できる付属装置等を使用するものとする。 ■ ハンマードリル <input type="checkbox"/> コアドリル</p> <p>穿孔前の埋込み配管等の探査 [改8.12.4(2)] 範囲 ■ あと施工アンカー施工部分全て <input type="checkbox"/> 図示による</p> <p>方法 ■ 探査器により探査し、配管等の位置の墨出しを行う。 <input type="checkbox"/> はつり出しによる</p> <p>測定 ■ 電磁波レーダ法 <input type="checkbox"/> 電磁誘導法</p> <p>施工確認試験 [改8.12.7]</p> <p>試験方法 ■ 引張試験機による引張試験 確認強度 ■ 図示による(耐震改修標準詳細図) 計算で得られたアンカーの鋼材による引張荷重又はコンクリートの破壊による引張荷重(埋め込みピッチ及びへりあきの影響を受ける場合は、低減した荷重)の小さい方の2/3程度の荷重。</p>
塗装の種類			塗装面	工程																																																																																																																																																																																															
	塗替え	新規																																																																																																																																																																																																	
<input type="checkbox"/> 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部(外部)	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.2]																																																																																																																																																																																																
	木部(内部)	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.2]	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.2]																																																																																																																																																																																																
	鉄鋼面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.3]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.5.3]																																																																																																																																																																																																
	垂鉛めっき鋼面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.4]	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.4]																																																																																																																																																																																																
	鋼製建具	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.4]	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.5.4]																																																																																																																																																																																																
<input type="checkbox"/> クリアラッカー塗り (CL)	木部	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.6.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.6.2]																																																																																																																																																																																																
<input type="checkbox"/> アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	屋内のコンクリート面・モルタル面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.7.2]	<input type="checkbox"/> B種 [改7.7.2]																																																																																																																																																																																																
<input type="checkbox"/> 耐候性上塗り塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り <input type="checkbox"/> 1級(ふっ素樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 2級(アクリルシリコン樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 3級(ポリウレタン樹脂塗料)	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種 [改7.4.3(1)][改7.8.2]	<input type="checkbox"/> A種 [改7.4.3(1)][改7.8.2]																																																																																																																																																																																																
	垂鉛めっき鋼面 上塗り <input type="checkbox"/> 1級(ふっ素樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 2級(アクリルシリコン樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 3級(ポリウレタン樹脂塗料)	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種 [改7.4.3(3)][改7.8.3]	<input type="checkbox"/> A種 [改7.4.3(3)][改7.8.3]																																																																																																																																																																																																
	コンクリート面 <input type="checkbox"/> 1級(ふっ素樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 2級(アクリルシリコン樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 3級(ポリウレタン樹脂塗料)	<input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> A-2種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> B-2種 <input type="checkbox"/> C-1種 <input type="checkbox"/> C-2種 [改7.8.4]	<input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> C-1種 [改7.8.4]																																																																																																																																																																																																
<input type="checkbox"/> 耐候性上塗り塗料塗り (DP)	押出成形セメント板面 <input type="checkbox"/> 1級(ふっ素樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 2級(アクリルシリコン樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 3級(ポリウレタン樹脂塗料)	<input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> A-2種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> B-2種 <input type="checkbox"/> C-1種 <input type="checkbox"/> C-2種 [改7.8.4]	<input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> C-1種 [改7.8.4]																																																																																																																																																																																																
<input type="checkbox"/> つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	屋内木部	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.3]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.3]																																																																																																																																																																																																
	屋内鉄鋼面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.4]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.4]																																																																																																																																																																																																
	屋内垂鉛めっき鋼面	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.5]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.5]																																																																																																																																																																																																
	コンクリート面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.2]																																																																																																																																																																																																
	モルタル面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.9.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.2]																																																																																																																																																																																																
<input type="checkbox"/> 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	コンクリート面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.10.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2]																																																																																																																																																																																																
	モルタル面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.10.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2]																																																																																																																																																																																																
	せっこうプラスター面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.10.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2]																																																																																																																																																																																																
	せっこうボード面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.10.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2]																																																																																																																																																																																																
<input type="checkbox"/> ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	木部	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.11.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.11.2]																																																																																																																																																																																																
<input type="checkbox"/> ス테인塗り (OT)	木部	<input type="checkbox"/> [改7.12.2]	<input type="checkbox"/> [改7.12.2]																																																																																																																																																																																																
<input checked="" type="checkbox"/> 木材保護塗料塗り (WP)	屋外木部	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [ ] [改7.13.2]	<input type="checkbox"/> A種 <input checked="" type="checkbox"/> B種 [改7.13.2]																																																																																																																																																																																																
種類の記号	呼び径(mm)	備考																																																																																																																																																																																																	
<input type="checkbox"/> SD295	<input type="checkbox"/> D16以下																																																																																																																																																																																																		
<input type="checkbox"/> SD345	<input type="checkbox"/> D19以上																																																																																																																																																																																																		
<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]																																																																																																																																																																																																		
<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]																																																																																																																																																																																																		
網目の形状寸法(mm)	鉄線の径(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																	
<input type="checkbox"/> 100×100	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 構造細目共通図による																																																																																																																																																																																																	
<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]																																																																																																																																																																																																	
部位	呼び径(mm)	継手の方法	備考																																																																																																																																																																																																
<input type="checkbox"/> 柱及び梁主筋	<input type="checkbox"/> D19以上D29 以下 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> ガス圧接 <input type="checkbox"/> [ ]																																																																																																																																																																																																	
<input type="checkbox"/> 耐震壁の鉄筋	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 重ね継手 <input type="checkbox"/> [ ]																																																																																																																																																																																																	
<input type="checkbox"/> 基礎、耐圧スラブ土圧壁	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 重ね継手 <input type="checkbox"/> ガス圧接 <input type="checkbox"/> [ ]																																																																																																																																																																																																	
<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]																																																																																																																																																																																																	
適用箇所	設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m <sup>3</sup> )	セメントの種類	備考																																																																																																																																																																																														
<input type="checkbox"/> 24 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 2.3程度	<input type="checkbox"/> 普通ポルトランドセメント <input type="checkbox"/> 高炉セメントB																																																																																																																																																																																																
<input type="checkbox"/> 24 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 2.3程度	<input type="checkbox"/> 普通ポルトランドセメント <input type="checkbox"/> 高炉セメントB																																																																																																																																																																																																
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]																																																																																																																																																																																																
種別	適用箇所																																																																																																																																																																																																		
<input type="checkbox"/> A種																																																																																																																																																																																																			
<input checked="" type="checkbox"/> B種	内外壁打放し仕上面、梁型打放し仕上面、防水層上り下地面																																																																																																																																																																																																		
<input type="checkbox"/> C種	床版下及び梁下打放し仕上面、防水層押え上り面																																																																																																																																																																																																		
材種	使用箇所																																																																																																																																																																																																		
溶融垂鉛めっき鋼板	下記以外の円形スリーブ																																																																																																																																																																																																		
つば付き鋼管	外壁の地中部分等水密を要する部分のスリーブ																																																																																																																																																																																																		
硬質ポリ塩化ビニル管	地中部分で水密を要しない部分のスリーブ																																																																																																																																																																																																		
紙スリーブ	柱及び梁以外の箇所で、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径がφ200mm以下の部分																																																																																																																																																																																																		
適用箇所	設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m <sup>3</sup> )	セメントの種類	備考																																																																																																																																																																																														
[ ]	<input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 25	<input type="checkbox"/> 普通ポルトランドセメント <input type="checkbox"/> 高炉セメントB																																																																																																																																																																																															
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]																																																																																																																																																																																															
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]																																																																																																																																																																																															
				0704																																																																																																																																																																																															
工事名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事																																																																																																																																																																																																		
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場																																																																																																																																																																																																		
図面名称	建築改修工事特記仕様書(9)	縮尺	—																																																																																																																																																																																																
検収年月	令和 7年 8月	図面種別コード	Z 201																																																																																																																																																																																																
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03																																																																																																																																																																																																
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	D-10																																																																																																																																																																																																

15 鉄骨の製作工場 [改8.1.5]

建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

S  H  M  R  J

監督職員の承諾する製作工場

施工管理技術者 [改8.1.6(1)]

適用する  適用しない

16 鋼材 [改8.2.8][改表8.2.7]

種類	使用箇所	規格等
<input type="checkbox"/> SN400A		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SN400B		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SN400C		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SN490B		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SN490C		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SS400		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SSC400		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> STKR400		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SNR400B		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SNR490B		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> [ ]		<input type="checkbox"/> [ ]

17 鉄骨工作仮組 [改8.13.10]

行わない  行う

18 高力ボルト接合材料 [改8.2.9(1)]

種類	性能等	セットの種類
<input type="checkbox"/> トルシア高力ボルト	(一社)日本鋼構造協会規格 JSS II 09による	2種(S10T)
<input type="checkbox"/> JIS高力ボルト	JIS B 1186 による	2種(F10T)
<input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき高力ボルト	建築基準法第37条に基づく大臣認定を受けたもの	1種(F8T)相当

摩擦面のすべり係数試験 [改8.14.2(3)]

行わない  行う(仕様は図示による。)

ナット回転法の回転量(ボルトの長さが呼び径の5倍を超える場合) [改8.14.7(7)]

図示による

19 溶接接合 [改8.15.4(1)]

開先の形状  図示による

スカーラップの形状 [改8.15.7(2)(エ)]

改良型スカーラップ  [ ]

溶接部の試験 [改8.15.12(イ)]

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験  行う

20 錆止め塗料 [改8.17.4]

鉄骨に溶接された鋼製スリーブの内面  [改8.17.4(1)]による  [ ]

耐火被覆材の接着する面の塗装  行わない  行う  JIS K 5622(ただし、耐火被覆に接する面の種類は2種とする。)  [ ]

21 耐火被覆材 [改8.18.2~8.18.9]

種別	性能及び適用構造区分
<input type="checkbox"/> 耐火材吹付け	<input type="checkbox"/> 乾式吹付けロックウール
<input type="checkbox"/> 耐火材吹付け	<input type="checkbox"/> 半乾式吹付けロックウール
<input type="checkbox"/> 耐火材吹付け	<input type="checkbox"/> 湿式吹付けロックウール
<input type="checkbox"/> 耐火板張り	
<input type="checkbox"/> 耐火材巻付け	
<input type="checkbox"/> 耐火塗料	
<input type="checkbox"/> ラス張りモルタル塗り	

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。

22 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 [改8.21.2(1)(ア)]

既存仕上げの撤去範囲  [改8.21.2(1)(ア)]による

■ 図示による  [改8.21.2(1)(ア)]による

設備機器、配管等の撤去及び移設 [改8.21.2(1)(イ)]

図示による  [改8.21.2(1)(イ)]による

既存構造体の撤去範囲 [改8.21.2(2)(ア)]

■ 図示による  [ ]

はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 [改8.21.2(2)(イ)]

図示による  鉄筋は、曲げることなく、必要に応じてウレタン等を巻き養生する。鉄骨は、発泡スチロール等で養生する。

既存コンクリート面の目荒し [改8.21.3]

適用範囲  既存コンクリートとの打継ぎ面  既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面  [ ]

目荒らしの程度  既存柱、梁[打継ぎ面の15~30%程度]  既存壁 打継ぎ面の10~15%程度

目荒らしの範囲  平均深さ2~5mm(最大深さ7mm)程度の凹面を全体にわたってつける  [ ]

割裂補強筋仕様 [改8.21.6(1)]

■ 図示による  [ ]

材質  普通鉄線(SWM-B) JIS G 3532  異形棒鋼(SD295)

コンクリートの打込み [改8.21.8(1)]

流込み工法  圧入工法

既存構造体と増設壁の取合いの処理方法 [改8.21.9]

■ 図示による  [改8.21.9]による

増設壁工事後の仕上げ [改8.21.10]

■ 図示による

23 鉄骨ブレースの設置工事 [改8.22.2]

既存仕上げの撤去範囲  図示による  [改8.21.2(1)(ア)]による

設備機器、配管等の撤去及び移設 [改8.22.2]

図示による  [改8.21.2(1)(イ)]による

既存構造体の撤去範囲 [改8.22.2]

図示による  [ ]

はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 [改8.22.2]

図示による  鉄筋は、曲げることなく、必要に応じてウレタン等を巻き養生する。鉄骨は、発泡スチロール等で養生する。

既存コンクリート面の目荒し [改8.22.3]

適用範囲  既存コンクリートとの打継ぎ面  既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面  [ ]

目荒らしの程度  既存柱、梁面 打継ぎ面の15~30%程度  既存壁 打継ぎ面の10~15%程度

目荒らしの範囲  平均深さ2~5mm(最大深さ7mm)程度の凹面を全体にわたってつける  [ ]

割裂補強筋の仕様 [改8.22.7(1)]

仕様  図示による  [ ]

材質  普通鉄線(SWM-B) JIS G 3532  異形棒鋼(SD295)

ブレース設置後の仕上げ  図示による

24 柱補強工事 [改8.23.2]

既存仕上げの撤去範囲  図示による  [改8.21.2(1)(ア)]による

設備機器、配管等の撤去及び移設 [改8.23.2]

図示による  [改8.21.2(1)(イ)]による

既存構造体の撤去範囲 [改8.23.2]

図示による  [ ]

はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 [改8.23.2]

図示による  鉄筋は、曲げることなく、必要に応じてウレタン等を巻き養生する。鉄骨は、発泡スチロール等で養生する。

既存コンクリート面の目荒し(連続繊維補強工法以外の工法の場合) [改8.23.3]

適用範囲  既存コンクリートとの打継ぎ面  既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面  [ ]

目荒らしの程度  既存柱、打継ぎ面の15~30%程度  既存壁 打継ぎ面の10~15%程度

目荒らしの範囲  平均深さ2~5mm(最大深さ7mm)程度の凹面を全体にわたってつける  [ ]

溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 [改8.23.5]

柱頭及び柱脚の隙間 [改8.23.5(2)(ウ)]

設ける  ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む  棧木(角材)  図示による

設けない  打込むコンクリート又はグラウトの厚さ  図示による

コンクリート及び構造体用モルタルの打込み [改8.23.5(3)]

流込み工法  圧入工法

鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 [改8.23.6]

柱頭及び柱脚の隙間 [改8.23.6(1)(ア)]

設ける  ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む  棧木(角材)  図示による

設けない

25 連続繊維補強工事 [改8.24.4]

既存仕上げの撤去範囲  図示による  [改8.21.2(1)(ア)]による

設備機器、配管等の撤去及び移設 [改8.24.4]

図示による  [改8.21.2(1)(イ)]による

既存構造体の撤去範囲 [改8.24.4]

図示による  [ ]

材料・形状 [改8.2.13]

採用した工法の規定を満たすもの [改8.2.13]

材質 [改8.2.13]

引張り強度(含浸硬化後)  2500N/mm<sup>2</sup> 以上  3000N/mm<sup>2</sup> 以上  2.35 × 10<sup>5</sup>N/mm<sup>2</sup> 程度  2.00 × 10<sup>6</sup>N/mm<sup>2</sup> 以上

ヤング係数(含浸硬化後) [改8.2.13]

強度試験 [改8.24.4(6)]

引張試験(JIS A 1191に準拠する方法)  試験数量  JIS A 1191による  [ ]本  付着強度試験(JIS A 6909に準拠する方法)

工法 [改8.2.13]

(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法  [ ]

仕上げモルタルの除去 [改8.24.6(1)(イ)]

行わない  行う

ひび割れ部の補修 [改8.24.6(1)(ウ)]

行う(4章「外壁改修工法」の項による)  行わない

柱の隅角部の面取り [改8.24.6(1)(ウ)]

工法の評価内容による

補強工事後の仕上げ [改8.24.7]

図示による

26 耐震スリット新設工事 [改8.25.2(1)]

耐震スリット部の配管等の探索  探索器により探索し 配管等の位置の墨出しを行う  はつり出し

耐震スリットの幅及び深さ [改8.25.2(1)]

図示による

既存仕上げの撤去範囲 [改8.25.2(2)]

図示による  [改8.21.2(1)(ア)]による

設備機器、配管等の撤去及び移設 [改8.25.2(2)]

図示による  [改8.21.2(1)(イ)]による

耐火材 [改8.25.2(4)(ア)]

仕様  図示による

使用箇所  図示による

遮音材 [改8.25.2(4)(イ)]

仕様  図示による

使用箇所  図示による

既存撤去部の補修 [改8.25.2(4)(エ)]

図示による  [改8.25.2(4)(イ)]による

工法  ウォールソーイング  ワイヤソーイング  コアドリリング  [ ]

■ 9章 環境配慮改修工事

特記事項  1 石綿含有建材の除去工事 [改9.1.1(4)]

石綿含有建材除去後の仕上げ工事  [改9.1.1(4)]

■ 図示による

石綿含有建材の事前調査 [改1.5.1]

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令等に基づき目視調査及び貸与する既存の設計図書、調査報告書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。

なお、石綿含有の有無が上記調査で不明な場合は分析調査を行う。

調査範囲  図示  [ ]

石綿含有建材の調査報告書の貸与 [改1.5.1]

貸与あり  貸与なし

分析による石綿含有の調査 [改1.5.1]

行う 分析方;  JIS A 1481-2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部: 試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」  JIS A 1481-3「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部: アスベスト含有率のX線回折定量分析方法」

分析対象 アスベスト6種類(アモサイト、クリソタイル、クロソドライト、アクチノライト、アンソファイト、トレモライト)

箇所 (材料 )

■ 行わない

石綿粉じん濃度測定 [改9.1.1(5)]

行う(測定名称及び測定点は下表による)

測定名称	測定時期	測定場所	第 工区	備 考
・測定1	処理作業前	処理作業室内		—
・測定2		施工区画周辺又は敷地境界		—
・測定3	処理作業中	処理作業室内		—
・測定4		セキュリティゾーン入口		空気の流れを確認
・測定5		負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)		除じん装置の性能確認
・測定6		施工区画周辺又は敷地境界		—
・測定7	処理作業後	処理作業室内		—
・測定8	(シート養生中)	施工区画周辺又は敷地境界		—
・測定9	処理作業後シート	処理作業室内		—
・測定10	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近		—

石綿粉じん濃度測定方法

石綿粉じん濃度の測定は、「JIS K3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部: 光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡による。測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定3	測定1,2,4,6,7,8,9,10	測定5
計数機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25mm		
試料の吸引流量	1l/min	5l/min	10l/min
試料の吸引時間	5min	120min	240min
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジェテル法		
計数条件	総アスベスト繊維数200本又は視野数50視野		
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ直径比3:1以上		
定量限界	50f/l	0.5f/l	0.3f/l

報告書の作成(記録する項目)

ア. 測定結果イ. 測定時間ウ. 測定位置(測定高さとともに図面上に記載する)

エ. サンプル条件(メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)

オ. マウンティング法カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数

キ. 測定時(各測定場所ごと)天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

石綿含有吹付け材の除去(レベル1) [改9.1.3]

材料名 [ ]

除去工法 [改9.1.3(2)(ア)]

[改9.1.3(2)(ア)]による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門事業者の仕様とする。  [ ]

0704

工 事 名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施 設 名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図 面 名 称	建築改修工事特記仕様書 (10)	縮 尺	—
検 収 年 月	令和 7 年 8 月	図面種別コード	Z 201
設 計 管 理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受 託 業 者	株式会社 三水コンサルタント	図 面 番 号	D-11

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 [改9.1.3(2)(イ)]  
 密封処理(二重袋梱包)  
 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん器フィルタについても密封処理を行う。  
 湿潤化  セメント固化

除去した石綿含有吹付け材等の処分 [改9.1.3(3)(エ)]  
 埋立処分(管理型最終処分場)  
 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有保温材等の除去(レベル2) [改9.1.4]  
 除去工法 [改9.1.4(2)]  
 [改9.1.4(3)]による (原形のまま手ばらしが可能な場合)  
 材料名 [ ]  
 [改9.1.3(2)]による (損傷、劣化等で石綿粉塵を発生する恐れがある場合)  
 材料名 [ ]

除去した石綿含有保温材等の飛散防止 [改9.1.4(2)(ウ)]  
 密封処理(二重袋梱包)  
 湿潤化  セメント固化

作業場の区画 [改9.1.4(2)]による  [ ]

除去した石綿含有保温材等の処分 [改9.1.4(3)]  
 埋立処分(管理型最終処分場)  
 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有成形板等の除去(レベル3) [改9.1.5]  
 材料名 [ ]

除去した石綿含有成形板等の処分 [改9.1.5(3)(エ)]  
 石綿含有せつこうボード  
 埋立処分(管理型最終処分場)  
 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板  
 埋立処分(管理型最終処分場)  
 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

■ 石綿含有仕上塗材の除去 [改9.1.6]  
 材料名 [ **パーライトモルタル** ]

着工前の試験施工  
 行う  行わない

除去工法  
 隔離工法  
 ■ 石綿障害予防規則 第六条 ただし書きにより、粉塵飛散防止に関し隔離装置と同等の措置と判断できる工法  
 (1) 施工区画を明確に定め、水滴飛沫などによる汚れを防止するためにプラスチックシート等による養生を行うこと。  
 (2) 作業区画や立入禁止範囲を明確に定め、石綿くずや石綿を含有する飛沫の飛散等を防止するために、作業区画の床面及び壁面に(必要に応じて天井にも)プラスチックシート等による養生を行うこと。  
 (3) 剥離剤を使用する工法では、ジクロロメタン等の有害性の高い化学物質を使用しない。剥離剤使用量 0.6~1.0kg/m<sup>2</sup>  
 (4) 水を使って除去する工事の場合には、未処理の廃水が流出・地下浸透しないようすべて回収しなければならない。回収した廃水は、凝集沈殿後に上澄み水をろ過処理する等により、適切に処理した上で放流すること。

作業場の区画 [改9.1.6(2)]  
 ■ [改9.1.6(2)]による ■ 図示  [ ]

除去した石綿含有仕上塗材等の飛散防止 [改9.1.6(3)(ウ)]  
 ■ 密封処理(二重袋梱包)  
 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん器フィルタについても密封処理を行う。  
 ■ 湿潤化  セメント固化

除去した石綿含有仕上塗材等の処分 [改9.1.6(5)]  
 ■ 管理型埋立処分(薬剤などによる安定化またはコンクリートによる固形化を行ったうえ、耐水性材料で2重梱包する)  
 「溶融処理」又は環境大臣認定の「無害化処理」

2 PCB含有シーリング材の除去  
 第一次判定  
 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及びPCB含有分析の要否を判断する  
 採取箇所数 [ ] 箇所  
 採取箇所  図示  
 第二次判定  
 専門分析機関にて、PCB含有量の分析を行う  
 分析個数 [ ] 個  
 除去処理工事  
 除去範囲 図示による  
 除去方法 「標準施工要領書(日本シーリング工事共同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による

3 外断熱改修工事 [改9.2.2(1)]  
 断熱材  
 種類  ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材(ノンフロン) G  
 押出法ポリスチレンフォーム断熱材2種b(ノンフロン) G  
 硬質ウレタンフォーム断熱材(ノンフロン) G  
 厚さ(mm)  [ ]

外装材 [改9.2.2(4)]  
 種類  [ ]  
 防火性能  [ ]

既存外壁の仕上げ材の撤去 [改9.2.3(1)]  
 図示による

下地面の清掃 [改9.2.3(2)]  
 図示による

下地に欠損部がある場合の補修 [改9.2.3(3)]  
 図示による  「4章 外壁改修工法」による

通気層 [改9.2.4(3)]  
 有り 厚さ(mm)  [ ]  
 無し

外装材の外壁への取り付け [改9.2.4(4)]  
 あと施工アンカー  接着剤  [ ]

断熱材の施工 [改9.2.4(6)]  
 図示による

外装材の施工 [改9.2.4(1)]  
 図示による  [ ]

4 断熱材現場発泡工法 [改9.3.3]  
 種類  建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム A種1又はA種1H  
 厚さ(mm)  [ ]

5 断熱材後張り工法 [改9.3.4]  
 断熱材 [改9.3.4(1)]  
 種類  押出法ポリスチレンフォーム断熱材 2種b(ノンフロン)  
 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号(ノンフロン)  
 [ ]  
 厚さ(mm)  [ ]

■ 10章 ユニット及びその他の工事  
 特記事項  
 i フリーアクセスフロア (20.2.2(2))

構造	仕上高(mm)	耐震性能	所定荷重	パネル材	表面仕上材
<input type="checkbox"/> パネル式	<input type="checkbox"/> 100	<input type="checkbox"/> 1.0G	<input type="checkbox"/> 3,000N	<input type="checkbox"/> 合成樹脂	<input type="checkbox"/> タイル
<input type="checkbox"/> 溝式	<input type="checkbox"/> 300	<input type="checkbox"/> 0.6G	<input type="checkbox"/> 5,000N	<input type="checkbox"/> アルミ	<input type="checkbox"/> カーペット
				<input type="checkbox"/> スチール	<input type="checkbox"/> 帯電防止床タイル

製造所は評価名簿による。  
 表面仕上材の品質・規格等は、6章 内装改修工事の項による

コンセント等の取付対応  製造所の標準仕様(コンセント本体は別途設備工事による)  
 配線取り出し用開口  対応品又は工場加工品  
 インナータイプコンセント取付タイプとし容易に破損しないものとする。また、全てのパネルに2箇所程度設ける。

空調用吹き出しパネル  無し  
 有り (  固定式  可変式 )  
 ボーダー及びスロープ  製造所の標準仕様  図示  
 コンセント、空調用吹き出しパネル、スロープ等の施工箇所は図示による

2 可動間仕切(パーティション) (20.2.3)  
 構造形式による種類 (20.2.3(2))  
 パネル式  スタッド式  スタッドパネル式

空間の仕切り方  
 図示による  密閉形  開放形  床置き形

遮音性能  
 無し  有(透過損失: )

防火性能  
 無し  有(防火等級: )

パネル部の総厚さ(mm)  60  [ ]

表面材種及び厚さ  
 鋼板 (  0.6mm以上  0.8mm以上 )  
 [ ] (  [ ] mm )

表面仕上  
 マミン樹脂塗料又はアクリル樹脂塗料焼付塗装 (  常備色  特注色 )  
 [ ]

パネル内に取付ける建具の寸法及び形状  
 図示による  [ ]

品質  
 JIS A6512による又は評価名簿によるもの

3 移動間仕切(スライディングドア) (20.2.4(2))  
 パネルの操作方法  
 手動式  電動式  部分電動式

表面材種  
 鋼板  [ ]

表面仕上  
 マミン樹脂塗料又はアクリル樹脂塗料焼付塗装 (  常備色  特注色 )  
 壁紙張り(仕様は壁紙の項による)

パネル圧接装置の操作方法 (20.2.4(3))  
 製造所の仕様による  
 [ ]

ハンガーレール取付け下地の補強 (20.2.4(3))  
 図示による  
 (20.2.4)による

遮音性能(JIS A 6512の遮音試験に準拠する)  
 一般タイプ(透過損失:36dB未満)  
 遮音タイプ(透過損失:36dB以上)  
 製造所  
 評価名簿による

4 既製トイレース (20.2.5)

表面の材種	仕上げ材	脚部形状	エッジ
<input type="checkbox"/> 木質系	<input type="checkbox"/> メラミン樹脂化粧板 <input type="checkbox"/> ポリエステル樹脂化粧板	<input type="checkbox"/> 幅木タイプ(SUS304) <input type="checkbox"/> ポストタイプ(SUS304)	<input type="checkbox"/> アルミ押出型材
<input type="checkbox"/> 鋼板製	<input type="checkbox"/> アクリル樹脂焼付鋼板		

製造所  
 評価名簿による

5 手すり (20.2.6)

材質	直径(mm)	表面処理等の種別
<input type="checkbox"/> 手すり	<input type="checkbox"/> アルミニウム (仕様は下水道施設標準図H-12-1による)	<input type="checkbox"/> BB-1種 (表14.2.1) <input type="checkbox"/> BB-2種 <input type="checkbox"/> ブラック <input type="checkbox"/> ブラウン系 <input type="checkbox"/> [ ]
	<input type="checkbox"/> 鋼製	<input type="checkbox"/> 亜鉛めっき (14.2.3) 外部 <input type="checkbox"/> C種内部 <input type="checkbox"/> C種 <input type="checkbox"/> 塗装 [ ]
	<input type="checkbox"/> ステンレス鋼	<input type="checkbox"/> SUS304 (外部) <input type="checkbox"/> #400仕上げ程度 <input type="checkbox"/> [ ] (内部) <input type="checkbox"/> HL仕上げ程度 <input type="checkbox"/> [ ]

壁付手すり

<input type="checkbox"/> ビニル製	<input type="checkbox"/> 40	
<input type="checkbox"/> 集成材	<input type="checkbox"/> 40	<input type="checkbox"/> クリアラッカー <input type="checkbox"/> [ ]
<input type="checkbox"/> ステンレス鋼	<input type="checkbox"/> 40	<input type="checkbox"/> SUS304 (外部) <input type="checkbox"/> #400仕上げ程度 <input type="checkbox"/> [ ] (内部) <input type="checkbox"/> HL仕上げ程度 <input type="checkbox"/> [ ]

6 階段滑り止め (20.2.7)

材種	形状	幅(mm)	工法
<input type="checkbox"/> ステンレス製(SUS304) <input type="checkbox"/> 黄銅製 <input type="checkbox"/> アルミニウム製	<input type="checkbox"/> ビニルタイヤ入り又はゴム練りこみ 両端フラットエンド <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> ステンレスSUS304 <input type="checkbox"/> ビニル製 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> タイヤなし	<input type="checkbox"/> 約35 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 接着工法 <input type="checkbox"/> 埋め込み工法

7 黒板及びホワイトボード (20.2.9)

種類	規格	寸法(mm)	色彩	枠	備考
<input type="checkbox"/> 鋼製黒板 <input type="checkbox"/> ほうろう <input type="checkbox"/> 黒板 <input type="checkbox"/> ホワイトボード	<input type="checkbox"/> 焼付け <input type="checkbox"/> 研ぎ出し	高さ [ ] 幅 [ ]	<input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 黒 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> アルミ製	<input type="checkbox"/> 平面 <input type="checkbox"/> 曲面 <input type="checkbox"/> スクリーン付 引分け <input type="checkbox"/> 行事線入り
	<input type="checkbox"/> ほうろう	高さ [ ] 幅 [ ]	<input type="checkbox"/> 白		

8 屋内掲示板

掲示板の枠	表面材料	サイズ(mm)	備考
<input type="checkbox"/> アルミニウム製 <input type="checkbox"/> ステンレス製	<input type="checkbox"/> 特殊レザー <input type="checkbox"/> ビニルレザー <input type="checkbox"/> ラシャ <input type="checkbox"/> コルク <input type="checkbox"/> 塩ビ発泡シート張	<input type="checkbox"/> 900×1800 <input type="checkbox"/> 900×1200 <input type="checkbox"/> 1200×3600 <input type="checkbox"/> [ ]	

9 鏡 (20.2.9)  
 寸法(mm)  図示による  [ ]  
 厚さ(mm)  5.0

10 表示標識 (20.2.11)

区分	取付方法	材質厚さ(mm)	寸法(mm)	印字方法
<input type="checkbox"/> 室名札 (標準詳細図8-43)	<input type="checkbox"/> 平付け型 <input type="checkbox"/> 持出し型	<input type="checkbox"/> アクリル板 厚5	<input type="checkbox"/> 200×40 <input type="checkbox"/> 250×50 <input type="checkbox"/> 300×60 <input type="checkbox"/> 200×80 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> シルクスクリーン印刷 <input type="checkbox"/> エナメル書
<input type="checkbox"/> 階段表示板	<input type="checkbox"/> 平付け型 <input type="checkbox"/> 持出し型		<input type="checkbox"/> 600×100 <input type="checkbox"/> 800×100 <input type="checkbox"/> 1,000×100 <input type="checkbox"/> 150×150 <input type="checkbox"/> 200×200 <input type="checkbox"/> [ ]	
<input type="checkbox"/> 案内板	<input type="checkbox"/> 図示による		<input type="checkbox"/> 600×400 <input type="checkbox"/> 800×500 <input type="checkbox"/> 900×600 <input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> シルクスクリーン印刷
<input type="checkbox"/> ビクトグラフ	<input type="checkbox"/> 平付け型 <input type="checkbox"/> 持出し型	(標準詳細図8-44 -1~2による)	<input type="checkbox"/> 150×150 <input type="checkbox"/> 200×200	

0704

工事名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	建築改修工事特記仕様書(11)	縮尺	—
検収年月	令和 年 月	図面種別コード	Z 201
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	D-12

区分	取付方法	材質厚さ(mm)	寸法(mm)	印字方法	14 カーテン・暗幕生地 (20.2.16(1)(2)(3))				21 床点検口					アンカーボルトの保持及び埋込み工法 □ B種 (7.12.1)(表14.2.2) 仕上げ □ 溶融亜鉛めっき仕上げC種 □ [ ] 荷重表示 □ 見やすい箇所に荷重標示板を設け、許容荷重(kN及びt)を表示する。				
					施工箇所	名称・品質	ひだの種類	形式	引き分け装置	材質	受枠	寸法(mm)	形式		備考	□ アルミニウム製 □ 硬質アルミ製 □ 600角 □ 一般 製造所は評価名簿による □ ステンレス製 □ ステンレス製 □ 450角 □ 防水型 □ [ ]		
□ 誘導標識 (床面より天端まで400)	□ 平付け型 □ [ ]	□ アクリル板厚5 □ アルミニウム板厚1.9	□ 360×120 □ [ ]	□ シルクスクリーン印刷 □ アルマイト印刷  地色 □ 緑 文字矢印 □ 白	□ 引き分け □ 片引き	□ 手引き □ ひも引き □ 電動	22 天井点検口				□ 31 屋上丸環 □ ステンレス製 (SUS304 No.2B仕上げ程度)							
							□ 引き分け □ 片引き	□ 手引き □ ひも引き □ 電動	□ アルミニウム製 □ [ ]	□ 額縁タイプ □ 目地タイプ		□ 600角 □ 450角 □ [ ]	製造所は評価名簿による					
□ 荷重表示板	□ 平付け型	□ アクリル板厚2	□ 300×400 □ [ ]	□ シルクスクリーン印刷 □ エナメル書	15 カーテンレール (20.2.16(2))				23 トップライト					□ 32 流し台等				
□ 衝突防止表示		ステンレス製	□ 約30φ	□ 両面 □ 片面	材種	表面仕上げ	形状	備考	材種	取付方法	開閉仕様	耐火性能	備考	名称	寸法(mm)	仕様	備考	
□ 水槽名板 (下水道施設標準図 H-20-1)	□ 平付け型	□ アクリル板厚8	□ 200×40 □ 250×50 □ 300×60 □ [ ]	□ シルクスクリーン印刷 □ エナメル書	□ アルミニウム製 □ アルマイト処理品 □ 焼付け塗装品	□ D形又は角形 □ C形			□ ポリカーボネート樹脂製 □ 枠付 □ 固定式 □ 耐火30分 製造所は評価名簿による □ アクリル樹脂製 □ 直付 □ 開閉式 □ [ ]	□ 流し台(トラップ付)	L = □ 1,200 □ 1,500 □ 1,800	□ 優良住宅部品 (セクショナルキッチンI型) □ [ ]						
□ [ ]	□ 平付け型	□ アクリル板厚5	□ [ ]	□ シルクスクリーン印刷 □ エナメル書	16 カーテンボックス及びブラインドボックス				24 天井回り縁					□ コンロ台				
室名札 太ゴシック正体文字の割り付けについては、監督職員の承諾による。 誘導標識 材料は、消防技術基準に合格したもの。 取付(又は表示)位置 図面特記による他監督職員と協議の上決定する。					材質	製法	溝幅×深さ(mm)	表面処理	材質	受枠	高さ(mm)	備考	25 防煙垂れ壁					
					□ アルミニウム製 □ 鋼製 □ 図示による □ [ ]	□ 押出し型材 □ [ ]	□ 120×150 □ 180×150 □ 250×150 □ 120×80 □ 図示による □ [ ]	□ BB-1種 □ BB-2種 □ ブラック □ ステンカラー □ ブラウン系 □ [ ]	□ 固定式	□ 網入り磨き板ガラス □ 6.8 □ 500 アルミ製枠付き □ 線入り磨き板ガラス □ [ ] □ [ ]	□ 可動式	種類	材質	高さ(mm)	備考	□ 水切りだな	幅 L = □ 1,200 □ 900 □ 600	□ 市販品(ステンレス製) □ [ ]
□ 11 タラップ (20.2.12)					17 開口部の蓋				26 既製Expj金物					□ 33 かぎ箱 市販品 形式 □ 10本用 □ 20本用 □ 30本用 □ 60本用 □ 120本用 □ 200本用				
□ タラップ					材質 □ SUS304 □ No.2B仕上げ程度(すべり止め加工) □ [ ]				受枠 □ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ [ ] □ ステンレス製					□ 34 水質実験台など				
					□ SUS304 □ No.2B仕上げ程度(すべり止め加工) □ [ ]				□ 既製手すり一体型開口部蓋					□ 35 浴槽				
□ 足掛金物					□ SUS304 □ No.2B仕上げ程度(すべり止め加工) □ [ ]				□ 既製手すり一体型マンホール蓋					□ 36 下足箱				
□ ポリプロピレン製 (下水道施設標準図H-15-1)					心材の: □ SWCH12R □ SUS304 □ SUS403				□ 既製昇降設備用伸縮手掛け					□ 37 郵便受(既製品)				
□ 既製昇降設備用伸縮手掛け					材質 □ SUS304 □ [ ] 製造所名、製品名及び製品番号 [ ]。 当該製品又は同等品とする。				□ 既製昇降設備用伸縮手掛け					□ 鋼製(既製品)				
□ 既製収納式タラップ					材質 □ アルミニウム製 □ [ ] 下水道施設標準図 S-21-1による 製造所名、製品名及び製品番号 [ ]。 当該製品又は同等品とする。				□ 既製収納式タラップ					□ 鋼製(既製品)				
□ 12 煙突ライニング (20.2.13(1))					□ アルミニウム [下水道施設標準図 S-21-1による] 製造所名、製品名及び製品番号 [ ]。 当該製品又は同等品とする。				□ 設計荷重(kN)(図示)を蓋に表示をする					□ 鋼製(既製品)				
名称					安全使用温度(℃)				工法					備考				
□ 煙突用成形ライニング材					□ 650 □ [ ]				□ 図示による □ [ ]					□ 鋼製(既製品)				
□ キャスタブル耐火材					□ 650 □ [ ]				□ 図示による □ [ ]					□ 鋼製(既製品)				
□ 13 ブラインド (20.2.14(1))					□ フRP製				□ 27 止水板 (下水道施設標準図 H-02)					□ 38 防鳥網 (16.2.3(5))				
形式					□ 横形ブラインド □ 縦形ブラインド				□ 鋼製(既製品)					□ 39 吊りフック				
スラットの材種					□ アルミ合金製 □ 鋼製				□ センターバルブ型 □ 耐震型 □ アンカッパ型 □ [ ]					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
開閉方式					□ 片開き方式 □ 両開き方式				寸法(mm)					荷重kN(t)				
操作方法					□ ギヤ式 □ コード式 □ 操作棒式				□ 200×6 □ 300×7 □ 300×16					10(1) □ [ ] 箇所				
ヘッドボックス及びボトムレールの材種					□ 鋼製 □ アルミ合金製 □ ポリ塩化ビニル金属積層板製				工法 □ 図示による					20(2) □ [ ] 箇所				
ヘッドレールの材種					□ アルミ製 □ [ ]				形式					30(3) □ [ ] 箇所				
スラットの幅(mm)					□ 25 □ 35 □ [ ]				□ 100 □ 80 □ [ ]					50(5) □ [ ] 箇所				
□ 20 既製くつふきマット					□ ステンレス製 □ 硬質アルミニウム合金製 □ 塩化ビニル製				□ 28 防鳥網					□ 30 ホイストレール (7.2.1)(7.2.2)(7.2.5)(7.8.1)(表7.10.1)				
					□ アルミ製 □ ステンレス製 □ 硬質アルミニウム合金製 □ 塩化ビニル製				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製 □ [ ]					□ 鋼材の材質 □ SS400(JIS規格品) □ (7.2.9)の試験に合格するもの				
□ 18 マンホール蓋					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製 □ [ ]				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製 □ [ ]					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製 □ [ ]				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製 □ [ ]					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 19 グレーチング					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製 □ [ ]				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製 □ [ ]					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製 □ [ ]				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製 □ [ ]					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 20 既製くつふきマット					□ ステンレス製 □ 硬質アルミニウム合金製 □ 塩化ビニル製				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製 □ [ ]					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ ステンレス製 □ 硬質アルミニウム合金製 □ 塩化ビニル製				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製 □ [ ]					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 21 床点検口					□ アルミニウム製 □ 硬質アルミ製 □ 600角 □ 一般 製造所は評価名簿による □ ステンレス製 □ ステンレス製 □ 450角 □ 防水型 □ [ ]				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ アルミニウム製 □ 硬質アルミ製 □ 600角 □ 一般 製造所は評価名簿による □ ステンレス製 □ ステンレス製 □ 450角 □ 防水型 □ [ ]				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 22 天井点検口					□ アルミニウム製 □ [ ]				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ アルミニウム製 □ [ ]				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 23 トップライト					□ ポリカーボネート樹脂製 □ 枠付 □ 固定式 □ 耐火30分 製造所は評価名簿による □ アクリル樹脂製 □ 直付 □ 開閉式 □ [ ]				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ ポリカーボネート樹脂製 □ 枠付 □ 固定式 □ 耐火30分 製造所は評価名簿による □ アクリル樹脂製 □ 直付 □ 開閉式 □ [ ]				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 24 天井回り縁					□ アルミ合金製(押出し形材) □ 塩化ビニル製				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ アルミ合金製(押出し形材) □ 塩化ビニル製				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 25 防煙垂れ壁					□ 固定式				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 固定式				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 26 既製Expj金物					□ 網入り磨き板ガラス □ 6.8 □ 500 アルミ製枠付き □ 線入り磨き板ガラス □ [ ] □ [ ]				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 網入り磨き板ガラス □ 6.8 □ 500 アルミ製枠付き □ 線入り磨き板ガラス □ [ ] □ [ ]				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 27 止水板 (下水道施設標準図 H-02)					□ 可動式				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 可動式				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 28 防鳥網 (16.2.3(5))					□ 鋼製又はアルミ製				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製又はアルミ製				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 29 吊りフック					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 30 ホイストレール (7.2.1)(7.2.2)(7.2.5)(7.8.1)(表7.10.1)					□ SS400(JIS規格品) □ (7.2.9)の試験に合格するもの				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ SS400(JIS規格品) □ (7.2.9)の試験に合格するもの				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 31 屋上丸環 □ ステンレス製 (SUS304 No.2B仕上げ程度)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 32 流し台等					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 33 かぎ箱 市販品 形式 □ 10本用 □ 20本用 □ 30本用 □ 60本用 □ 120本用 □ 200本用					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 34 水質実験台など					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 35 浴槽					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 36 下足箱					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 37 郵便受(既製品)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 38 防鳥網 (16.2.3(5))					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 39 吊りフック					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 40 ホイストレール (7.2.1)(7.2.2)(7.2.5)(7.8.1)(表7.10.1)					□ SS400(JIS規格品) □ (7.2.9)の試験に合格するもの				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ SS400(JIS規格品) □ (7.2.9)の試験に合格するもの				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 41 屋上丸環 □ ステンレス製 (SUS304 No.2B仕上げ程度)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 42 流し台等					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 43 かぎ箱 市販品 形式 □ 10本用 □ 20本用 □ 30本用 □ 60本用 □ 120本用 □ 200本用					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 44 水質実験台など					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 45 浴槽					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 46 下足箱					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 47 郵便受(既製品)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 48 防鳥網 (16.2.3(5))					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 49 吊りフック					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 50 ホイストレール (7.2.1)(7.2.2)(7.2.5)(7.8.1)(表7.10.1)					□ SS400(JIS規格品) □ (7.2.9)の試験に合格するもの				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ SS400(JIS規格品) □ (7.2.9)の試験に合格するもの				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 51 屋上丸環 □ ステンレス製 (SUS304 No.2B仕上げ程度)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 52 流し台等					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 53 かぎ箱 市販品 形式 □ 10本用 □ 20本用 □ 30本用 □ 60本用 □ 120本用 □ 200本用					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 54 水質実験台など					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 55 浴槽					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 56 下足箱					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
□ 57 郵便受(既製品)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				
					□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)				□ 鋼製(溶融亜鉛めっき処理) □ ステンレス製(SUS304)					□				

■ 11章 土工事

特記事項

1 埋戻し及び盛土 [改8.28.3(2)(ウ)][改表8.28.1]

埋戻し及び盛土の材料及び工法

■ A種 ■ B種 □ C種 □ D種

建設汚泥から再生した処理土 G

2 建設発生土の利用

盛土に使用する発生土は、[ 本 ] 工事からの建設発生土を利用するものとする。

3 建設発生土の処理 [改8.28.3(2)(エ)]

図示による

■ 場内指定場所に堆積(図示による)

工事現場外搬出処理

搬出先 □ [ ]

運搬距離 □ [ ] km

建設発生土等を処分する場合は、搬出距離、処分費、処分地が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

4 山留めの存置 [改8.28.3(3)(ウ)]

有り

なし

5 セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について

(1) セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良又は改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督職員に報告する。

(2) セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。

(3) 六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」により実施し、土壌環境基準を超えないことを確認する。

12章 地業工事

一般事項

1 杭の位置ずれについては全て監督職員に報告すること。 [改8.28.4(1)]

特記事項

1 支持地盤の位置及び種類 [改8.28.4(3)(d)]

杭基礎(基礎ぐいの先端の位置含む)

構造図[ ]による

杭の鉛直支持力式 [ ]

杭の根入れ長さ [ ]

直接基礎(基礎底部の位置含む)

構造図[ ]による

長期設計支持力度

[ ] kN/m3

2 試験杭又は試験堀

試験杭又は試験堀の位置及び本数 [改8.28.4(2)(イ)]

図示による □ [ ]

3 杭の載荷試験 [改8.28.4(2)(ウ)(a)]

鉛直載荷試験 □ 水平載荷試験

試験杭の位置及び本数 □ 図示による □ [ ]

載荷荷重等 [ ]

試験の方法、報告書記載事項

国土交通省大臣官房官庁営繕部「敷地調査共通仕様書(令和4年版)」による

図示による

4 地盤の載荷試験 [改8.28.4(2)(ウ)(b)]

平板載荷試験 □ [ ]

試験位置 □ 図示による □ [ ]

載荷荷重等 長期設計地耐力 [ ] kN/m2以上を確認する。

試験の方法、報告書記載事項

国土交通省大臣官房官庁営繕部「敷地調査共通仕様書(令和4年版)」による

図示による

5 既製コンクリート杭地業

材 料 (4.3.3)

種類及び品質 □ 図示による □ [ ]

杭の寸法、継手の箇所数 □ 図示による □ [ ]

杭先端部の形状

開放形 □ 半開放形 □ 閉そく平たん形 □ 閉そく形

工 法 (4.3.4)

セメントミルク工法

支持地盤

図示による □ [ ]

支持地盤への掘削深さ

図示による □ [ ]

支持地盤への根入れ長さ

図示による □ [ ]

杭の精度

水平方向の位置ずれ [ 杭径の1/4かつ100mm以下 ]

杭の傾斜 [ 1/100以内 ]

特定埋込杭工法 (4.3.5)

H13国交告1113号第6による支持力計算式で  $\alpha=250$  を採用できる工法

H13国交告1113号第6による支持力計算式で  $\alpha=[ ]$ 、 $\beta=[ ]$ 、 $\gamma=[ ]$ を採用できる工法

プレポーリング

プレポーリング拡大根固め工法 □ [ ]

杭周固定液  有  無

中掘り

中掘拡大根固め工法 [ ]

回転根固め工法

支持地盤

図示による □ [ ]

杭の精度  水平方向の位置ずれ [ 杭径の1/4かつ100mm以下 ]

杭の傾斜 [ 1/100以内 ]

建設汚泥(杭掘削に伴う汚泥等)の処理

場内指定場所に堆積(図示による)(「建設汚泥の再利用に関するガイドライン(国土交通省策定)」に準拠する。)

工事現場外搬出処理

搬出先 □ [ ] □ 未定

運搬距離 □ [ ] Km □ 未定

処分量 □ [ ] m3 □ 別途

建設発生土等を処分する場合は、搬出距離、処分費、処分地が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

アーク溶接 □ 機械式継手 □ [ ]

図示による □ [ ]

6 鋼杭地業 (4.4.3)(4.4.4)

材 料、工 法

図示による □ [ ]

継 手 (4.4.5)

アーク溶接 □ 機械式継手 □ [ ]

杭頭の処理等 (4.4.6)

図示による □ [ ]

7 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.4)

材 料 其 他

鉄 筋 鉄筋籠の補強  図示による

かぶり厚さ  図示による

コンクリート

セメントの種類  高炉セメント B種

普通ポルトランドセメント

コンクリートの設計基準強度 [ ] N/mm2

コンクリート種別  A種 (表4.5.1)

B種

工 法

アースドリル工法 (4.5.5)

リバース工法 (4.5.5)

オールケーシング工法 (4.5.5)

支持地盤

図示による □ [ ]

孔壁の超音波測定

有り [ ]%以上  無し

杭頭の基礎底盤への定着長

構造細目共通図による □ [ ]

孔内の水張(オールケーシング工法の場合)

行う  行わない

杭の精度

水平方向の位置ずれ [ 杭径の1/4かつ100mm以下 ]

杭の傾斜 [ 1/100以内 ]

場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (4.5.6)

拡底杭工法 (4.5.6)

孔壁の超音波測定  有り(全数)  無し

支持地盤  図示による □ [ ]

8 砂利及び砂地業 [改8.28.4(4)(ア)]

厚 さ  構造細目共通図による □ 図示による

砂利材種別  再生クラッシュ G  切込み砂利及び砕石

9 捨コンクリート地業 [改8.28.4(4)(イ)]

構造細目共通図による □ 図示による

10 床下防湿層 (4.6.5)

適用範囲  図示による □ [ ]

防湿工法  ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 □ [ ]

13章 屋根工事

一般事項

1章10の建築基準法による条件を満足する事を確認すること

特記事項

1 長尺金属板葺 (13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)(表13.2.2)

屋根葺形式	材種	塗装	板厚(mm)	下葺材料	備考
<input type="checkbox"/> 立て平葺	<input type="checkbox"/> 塗装溶融亜鉛めっき鋼板		<input type="checkbox"/> 0.4	<input type="checkbox"/> アスファルトルーフィング940	
<input type="checkbox"/> 横葺	<input type="checkbox"/> CGCCR-20-Z25		<input type="checkbox"/> 1 [多雪地域]	<input type="checkbox"/> 改質アスファルトルーフィング下葺材	
<input type="checkbox"/> 瓦棒葺(心木なし)	<input type="checkbox"/> ポリ塩化ビニル被覆金属板及び金属帯A種、被覆原板はSG		<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> 一般タイプ	
<input type="checkbox"/> 蟻掛葺	<input type="checkbox"/> フッ樹脂塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板			<input type="checkbox"/> 複層基材タイプ	
<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> CGLCCR-30-AZ150			<input type="checkbox"/> 粘着層付タイプ	
<input type="checkbox"/> [ ]	<input type="checkbox"/> [ ]			<input type="checkbox"/> [ ]	

ポリ塩化ビニル被覆金属板の場合、板厚は金属板原板の厚さとする (13.2.3)

留付け方法  図示による(施工専門工事業者は製造所の指定業者とする)

断熱材(下地材兼用)

種 別  木質系セメント板  ポリスチレンフォーム断熱材 □ [ ]

厚 さ(mm)  25 □ [ ]

耐火性能

無  [ ]

継手金物(多雪地域)

リベットまたは薄物用ビスにより本体へ固定 □ [ ]

(固定後リベットまたはビス頭にシーリング処理) (13.2.3(4)(ロ))

雪止め (13.2.3(4)(ロ))

設置する(図示)

製造所及び製品名

元旦ビューティ工業KK(スプリングルーフ800)

三晃金属工業KK(段ルーフ275)

KK淀川製鋼所(ヨドルーフ横葺250)

KKカナメ(タイマルーフト型)

程度とする

0704

工 事 名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施 設 名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図 面 名 称	建築改修工事特記仕様書 (13)	縮 尺	—
検 収 年 月	令和 7年 8月	図面種別コード	Z201
設 計 管 理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受 託 業 者	株式会社三水コンサルタント	図 面 番 号	D-14

雲場ポンプ場 改修工事 仕上表		略号		外部付属物及び詳細番号										内部付属物及び詳細番号									
<p>1. 外部仕上表及び内、外部付属物の適用分類、詳細番号は、○印のついたものを適用する。</p> <p>2. 仕上表に記載の詳細番号のうち、(例) 1-02-3は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房 官庁官舎部監修)を示し、(例) A-02-3は下水道施設標準図(詳細)(日本下水道事業団監修)を示す。</p> <p>3. 特記以外の木、鉄部の塗装はSOPとする。但し、和室廻りは除く。</p> <p>4. 付属物のうち、窓名札、床点検口、揭示板、案内板、ピクトグラフ、階段表示板等は、平面図による。</p> <p>5. 付属物のうち、カーテンボックス、ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口等は天井伏図による。</p> <p>6. PP板、木毛板等打込み箇所は、別図による。</p> <p>7. 内壁の見え掛りとなるPP板打込み部分は、GB厚12.5直張り(継目処理工法)とし、塗装は、その部屋の壁面と同様とする。</p> <p>8. 壁のボード張りは水平方向には原則として継手は限らない。</p> <p>9. 天井仕上ボード張りのうち、GB-NC (NT)及びDR (下地GB共)は突付け張りとし、天井回り縁は、アルミ製、天井付き目地とする。</p> <p>10. 直接地盤工事に接する内部床のコンクリート下地には、防湿層としてポリエチレンフィルム厚0.15の数値みを行う。ただし、床仕上げがビニル床タイル、ビニル床シート及び合成樹脂塗床、床用塗料の場合とする。</p> <p>11. 打放し仕上げの出隅部分は、面取りを行う。</p>		<p>C コンクリート下地</p> <p>CB コンクリートブロック下地</p> <p>W 木造下地</p> <p>S 軽量吹付下地</p> <p>GB-R せつこうボード</p> <p>GB-NC (N) 不燃構造せつこうボード(化粧無し:下地張り用)</p> <p>GB-NC (NT) 不燃構造せつこうボード(化粧有り:トラバーチン模様)</p> <p>GB-D (W) 木目化粧せつこうボード</p> <p>GB-S シージングせつこうボード</p> <p>GB-F 強化せつこうボード</p> <p>ケイカル板 けい酸カルシウム板(タイプ2)</p> <p>DR ロックウォール化粧板 トラバーチン模様</p> <p>DR (凹凸) ロックウォール化粧板 凹凸模様</p> <p>DR (軒天) ロックウォール化粧板 軒天井用:トラバーチン模様</p> <p>DR (軒天凹凸) ロックウォール化粧板 軒天井用:凹凸模様</p> <p>PF板 押出法ポリスチレンフォーム保温材</p> <p>木毛板 木質系セメント板</p> <p>TB テラゾブロック</p> <p>外装薄塗材(E) 外装合成樹脂エマルジョン系薄付仕上塗材</p> <p>内装薄塗材(S1) 内装けい酸系薄付仕上塗材</p> <p>内装薄塗材(E) 内装合成樹脂エマルジョン系薄付仕上塗材</p> <p>C (B) コンクリート下地(打放しB)</p> <p>C (C) コンクリート下地(打放しC)</p> <p>M モルタル</p> <p>軽量吹付 軽量骨材仕上塗材</p>		<p>複層塗材(CE) ポリマーセメント系複層仕上塗材</p> <p>複層塗材(E) 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材</p> <p>複層塗材(RE) 反応硬化型合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材</p> <p>複層塗材(S1) けい酸系複層仕上塗材</p> <p>CL フリヤッカー塗り</p> <p>FE フタル酸樹脂エマル塗り</p> <p>AE アクリル樹脂エマル塗り</p> <p>DP (UE) 2液形ポリウレタンエマル塗り</p> <p>DP (ASE) アクリルシリコン樹脂エマル塗り</p> <p>DP (FUE) 常温乾燥形ふっ素樹脂エマル塗り</p> <p>EP-G つやや合成樹脂エマルジョンペイント塗り</p> <p>EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗り</p> <p>EP-M 多彩模様塗料塗り</p> <p>EP-T 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り</p> <p>UC ウレタン樹脂フニス塗り</p> <p>OS オイルステイン塗り</p> <p>SOP 合成樹脂調合ペイント塗り</p> <p>GP グラフアイトペイント塗り</p> <p>AC アクリル樹脂フニス塗り(アクリル樹脂クリヤ塗り)</p> <p>NAD アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り</p> <p>LE ラッカーエナル塗り</p> <p>WP 木材保護塗料塗り</p>										<p>・ 屋上点検口 5-21-1</p> <p>・ 屋上管類貫通部 5-22-1</p> <p>・ クリーングタワー基礎 5-22-2 5-22-3</p> <p>テレビアンテナ基礎</p> <p>・ 屋上換気塔 5-21-2 図示</p> <p>・ 煙突 図示 7-21-1</p> <p>・ 足掛け金物 H-15-1 H-15-2</p> <p>・ タラップ H-15-3</p> <p>・ 背もたれ付き H-15-4</p> <p>・ 5-31. 32. 33</p> <p>・ 5-32-1</p> <p>・ 5-33-1</p> <p>・ E-02-3 図示</p> <p>・ E.X.P. J金物 図示 S-13</p> <p>・ E-01-1</p> <p>・ アルミ H-12-1 H-13- H-14-</p> <p>・ ステンレス(図示)</p> <p>・ スチール(図示)</p> <p>・ 8-21-1・2・3</p> <p>・ 旗竿</p> <p>・ くつふきマット</p> <p>・ 8-22-1・8-22-2</p> <p>・ A-04-1・2・3・4</p> <p>・ A・B・C・D -( )</p> <p>・ 図示</p> <p>・ 図示 H-19-</p> <p>・ 図示</p> <p>・ 図示 B-01</p> <p>・ くつ洗い流し</p> <p>・ グレーチング</p> <p>・ 電気用ハンドホール蓋</p> <p>・ 文字板</p> <p>・ 庁名板</p> <p>・ 郵便受</p> <p>・ 目地</p> <p>・ 8-22-1・8-22-2</p> <p>・ A-04-1・2・3・4</p> <p>・ 図示</p> <p>・ 図示</p> <p>・ 図示 H-19-</p> <p>・ 図示</p> <p>・ 図示 B-01</p> <p>・ 流し台</p> <p>・ フード</p> <p>・ コンロ台</p> <p>・ 流し上部木切り</p> <p>・ 図示</p> <p>・ 6-11-1・図示</p> <p>・ 6-11-2・図示</p> <p>・ 6-11-1・図示</p> <p>・ 6-11-3・6-11-4</p> <p>・ 図示</p> <p>・ 6-11-5・図示</p> <p>・ 6-11-5・図示</p> <p>・ 6-32-1</p> <p>・ 3-42-2</p> <p>・ 天井点検口</p> <p>・ 床点検口</p> <p>・ 一般便所</p> <p>・ 車いす使用者簡易型便所</p> <p>・ 6-23-1・2・3</p> <p>・ 6-24-1・2・3・4</p> <p>・ 6-25-1</p> <p>・ 6-26-1・2・3・4</p> <p>・ 便所手すり</p> <p>・ 1-21- A-03-</p> <p>・ 8-21-</p> <p>・ H-15-1 H-15-2</p> <p>・ H-15-3</p> <p>・ 背もたれ付 H-15-4</p> <p>・ S-21-1・図示</p> <p>・ U型 H-17-1</p> <p>・ 図示 A-04-</p> <p>・ 6-31-</p> <p>・ カーテンボックス</p> <p>・ ブラインドボックス</p> <p>・ アルミ製</p> <p>・ アルミ製</p> <p>・ C-01-2</p> <p>・ 既製品</p> <p>・ アルミ</p> <p>・ H-12-1</p> <p>・ H-13-</p> <p>・ H-14-</p> <p>・ 図示</p> <p>・ アルミ</p> <p>・ H-12-1</p> <p>・ 図示</p> <p>・ H-13-2</p> <p>・ 7-12-</p> <p>・ B-02-</p> <p>・ 7-01-1</p> <p>・ 吸音壁</p> <p>・ 断熱材打込み</p> <p>・ 6-46-1</p> <p>・ S-15-1・図示</p> <p>・ 図示</p> <p>・ 図示</p> <p>・ 図示</p> <p>・ A-13-1</p> <p>・ 8-43-1</p> <p>・ 8-44-1</p> <p>・ 8-42-1</p> <p>・ 図示</p>									

外部仕上表		床		腰		外壁		屋根		パラペット		バルコニー床		庇上端		庇はな		庇軒天		備考										
		下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	
改修前						C	※開口閉塞部 <RC躯体:コンクリート打放し>(CR)		C	D	C	※開口閉塞部 <RC躯体>(CR) <下地:フッライトモルタル(ア)40>(CR) <防水層:アスファルトルーフィング22>(CR) <仕上:金属板葺き(壁止め付)(フッ素樹脂鋼板)>(CR)																		<AW建具>(CR)
改修後						C	※開口閉塞部 <モルタル金ごて仕上>(CN)		b	d	a																			<AW建具>(CN)

内部仕上表		階		室名		床		幅木		腰壁		壁		天井		備考												
		下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	柱型仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	梁型仕上	詳細番号	改修内容		
1階	搬出入室					C	無筋コンクリート(ア)100 合成樹脂塗床		C	モルタルVP	60			C	※開口部 <RC躯体:コンクリート打放し(C)>(CR)				C	コンクリート打放し(C) 軽量骨材吹付					C	コンクリート打放し(C)の上 軽量骨材吹付		<AW建具>(CR) <SUS排水管>(CR) <ステンレスパイプフード>(CR)
														C	※開口部 <モルタル金ごて仕上>(CN)	a												<AW建具>(CN) <SUS排水管>(CN) <ステンレスパイプフード>(CN)
	ゲート操作室					C	※開口閉塞部 <RC躯体:コンクリート金ごて>(CR)							C	※開口閉塞部 <RC躯体:コンクリート打放し(C)>(CR)				C	※開口閉塞部 <RC躯体:コンクリート打放し(C)>(CR) <軽量骨材吹付>(CR)				D	コンクリート打放し(C)の上 軽量骨材吹付		<AW建具>(CR)	
														C	※開口閉塞部 <RC躯体:コンクリート打放し(B)>(CN)													<AW建具>(CN)

共通事項1: 改修する部分の内装仕上げ材は全て、F☆☆☆☆等級とする。

共通事項2: <\*\*\*\*\*>(\*)

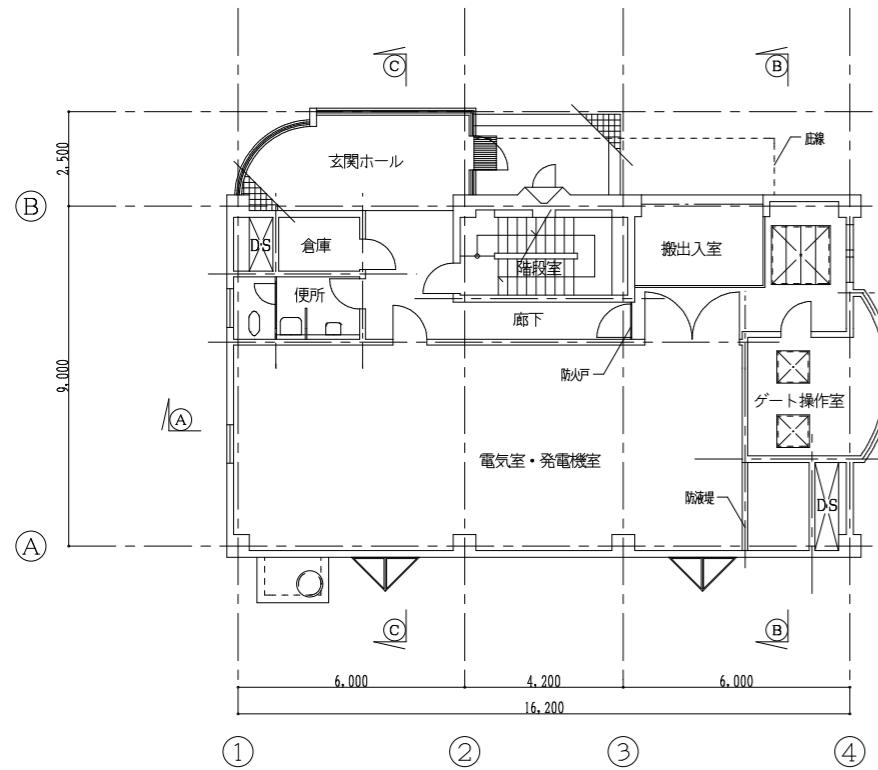
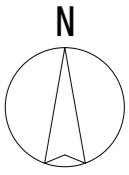
----- 改修方法を示す

----- 改修仕上げを示す

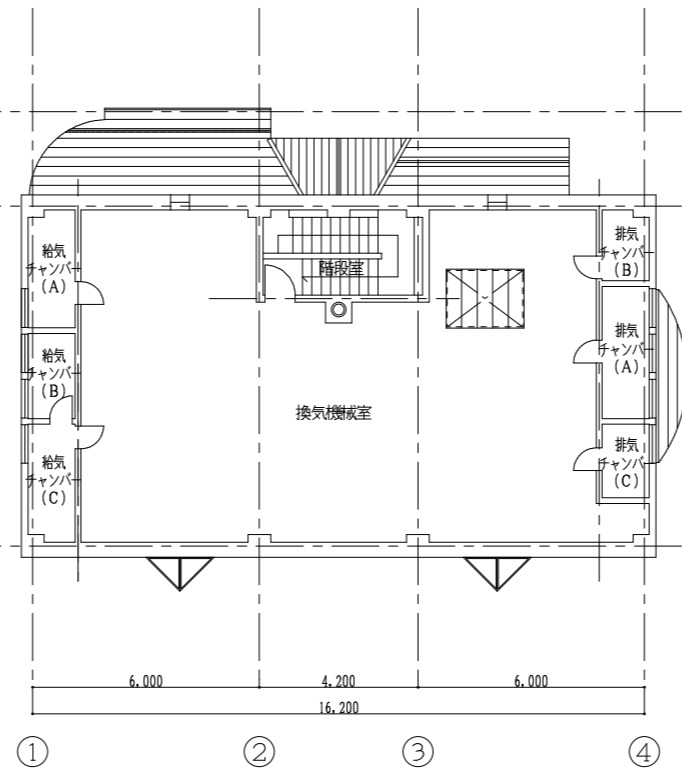
202004

特記なき限り		工事名		施設名		図面名称		検収年月		設計管理		受託業者													
改修後の材料の厚さ	材料名	種別	壁(m/m)	天井(m/m)	備考	材料名	種別	壁(m/m)	天井(m/m)	備考	改修前	改修後	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事	軽井沢町雲場ポンプ場	仕上表<現況・改修>	縮尺	-	令和7年8月	図面種別コード	Z299	業務委託番号	0-01-2592-J-03	株式会社三水コンサルタント	図面番号	D-15

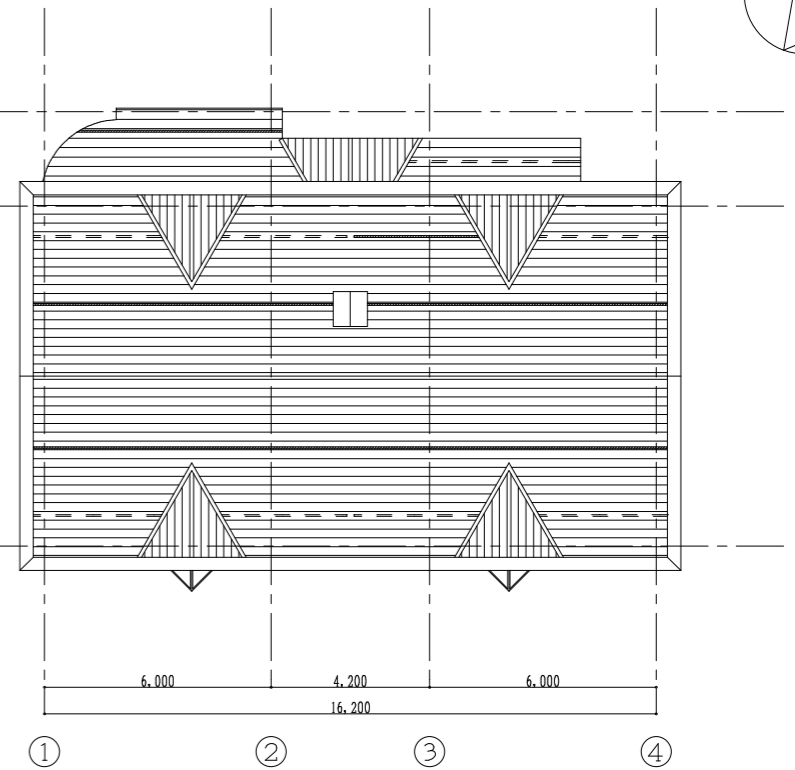
工事区分略号	改修内容凡例
< > (C)	: 土木工事
< > (AM)	: 建築機械設備工事
< > (AE)	: 建築電気設備工事
< > (PM)	: プラント機械設備工事
< > (PE)	: プラント電気設備工事
	A: 仕上撤去
	B: 図示の仕上撤去
	C: 下地共撤去
	D: 図示の下地共撤去
	E: 下地の調整
	F: 既存のまま
	(CR) 撤去を示す。
	a: 仕上新設
	b: 図示の仕上新設
	c: 下地共新設
	d: 図示の下地共新設
	e: 塗装の塗り替え
	f: 既存のまま
	(CN) 新設を示す。



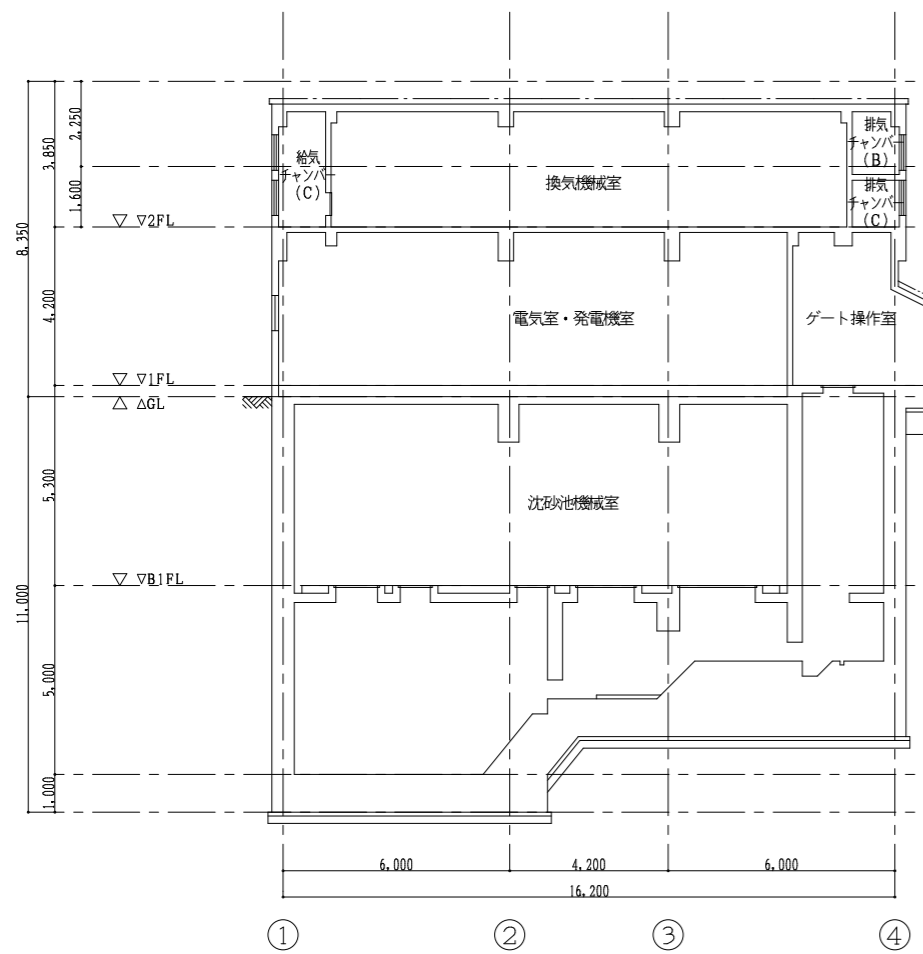
1階平面図 S=1:100



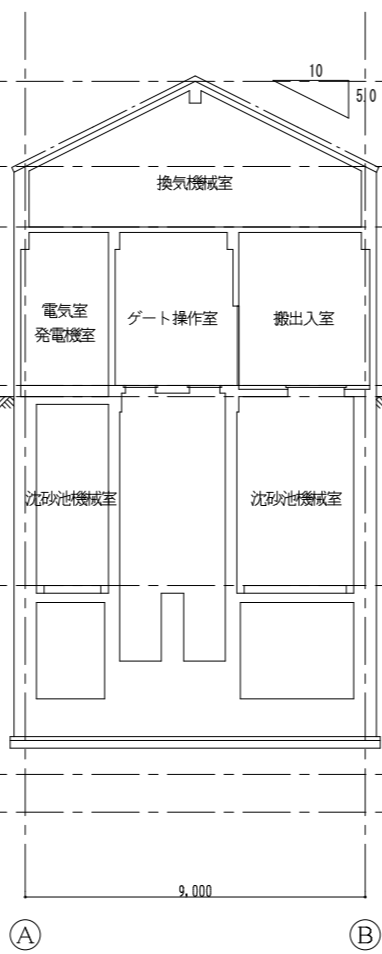
2階平面図 S=1:100



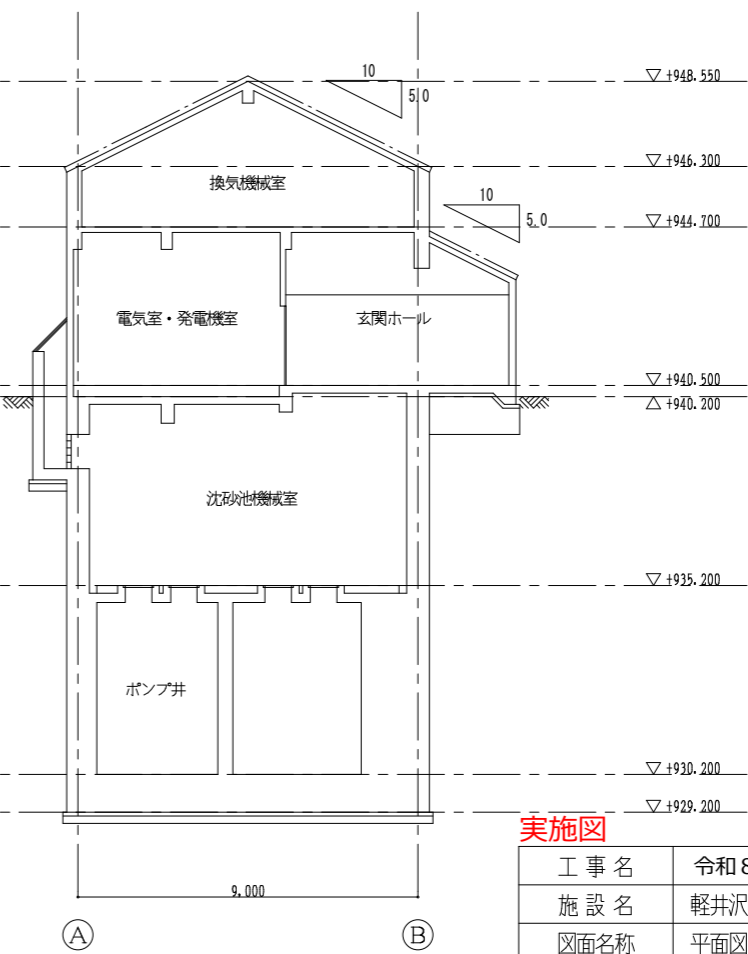
屋根伏図 S=1:100



A-A断面図 S=1:100



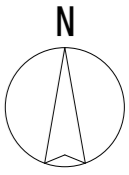
B-B断面図 S=1:100



C-C断面図 S=1:100

**実施図**

工事名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	平面図・断面図	縮尺 1:100	
検収年月	令和 7年 8月	図面種別コード	Z207・Z209
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	D-16



現況凡例

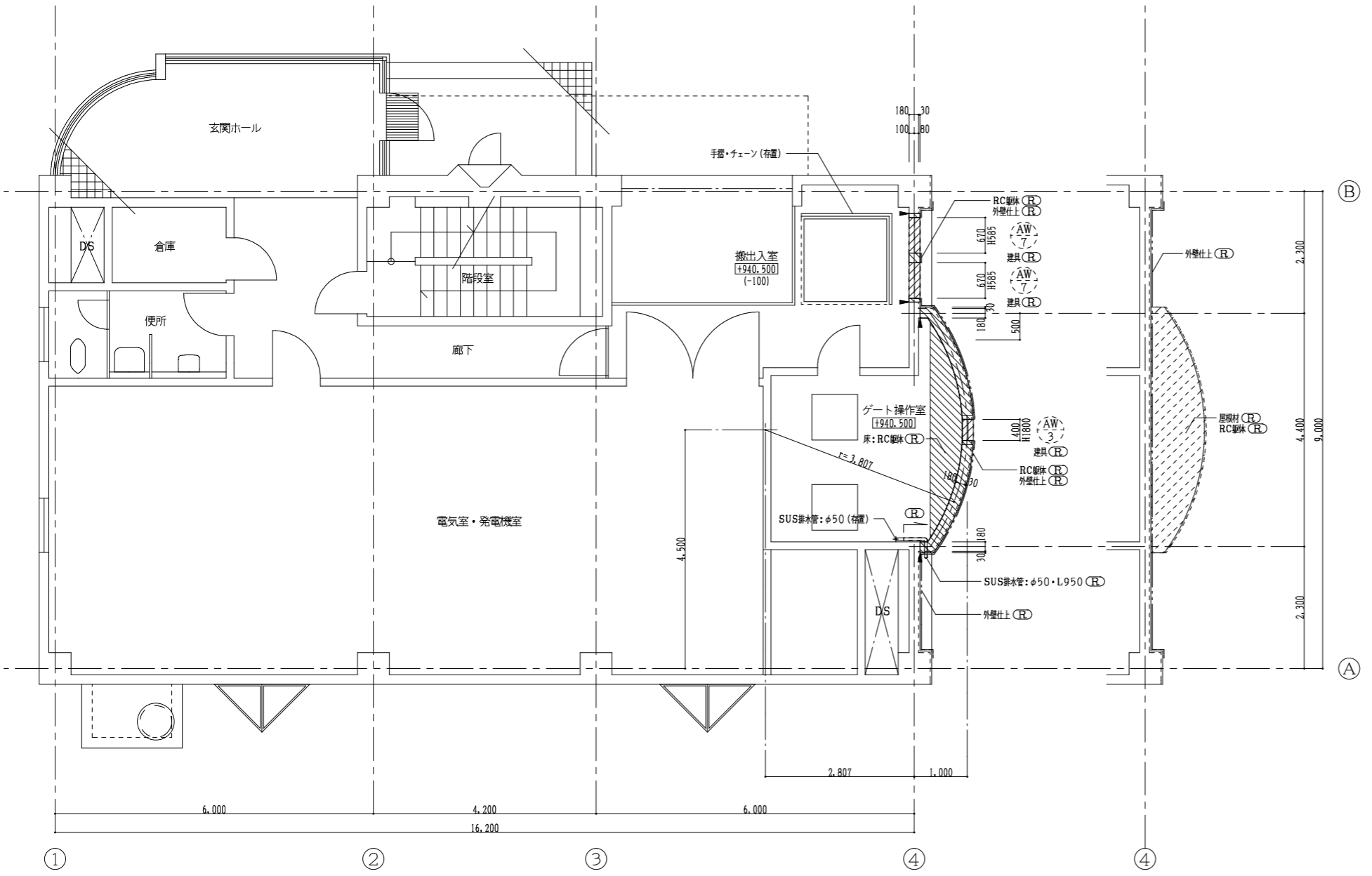
- 仕上<撤去>を示す
  - ▨ RC躯体<撤去>を示す
  - ▧ 建具<撤去>を示す
  - ▩ 屋根材<撤去>範囲を示す
  - ▲ カッター入れ部分を示す
  - 撤去を示す、特記無きは存置とする。
  - Ⓡ 建具<撤去>を示す
  - Ⓢ 建具<撤去>を示す
- ※躯体撤去部は  
カッターにて切込を入れ撤去の事。  
※建具改修範囲は建具表による。

現況

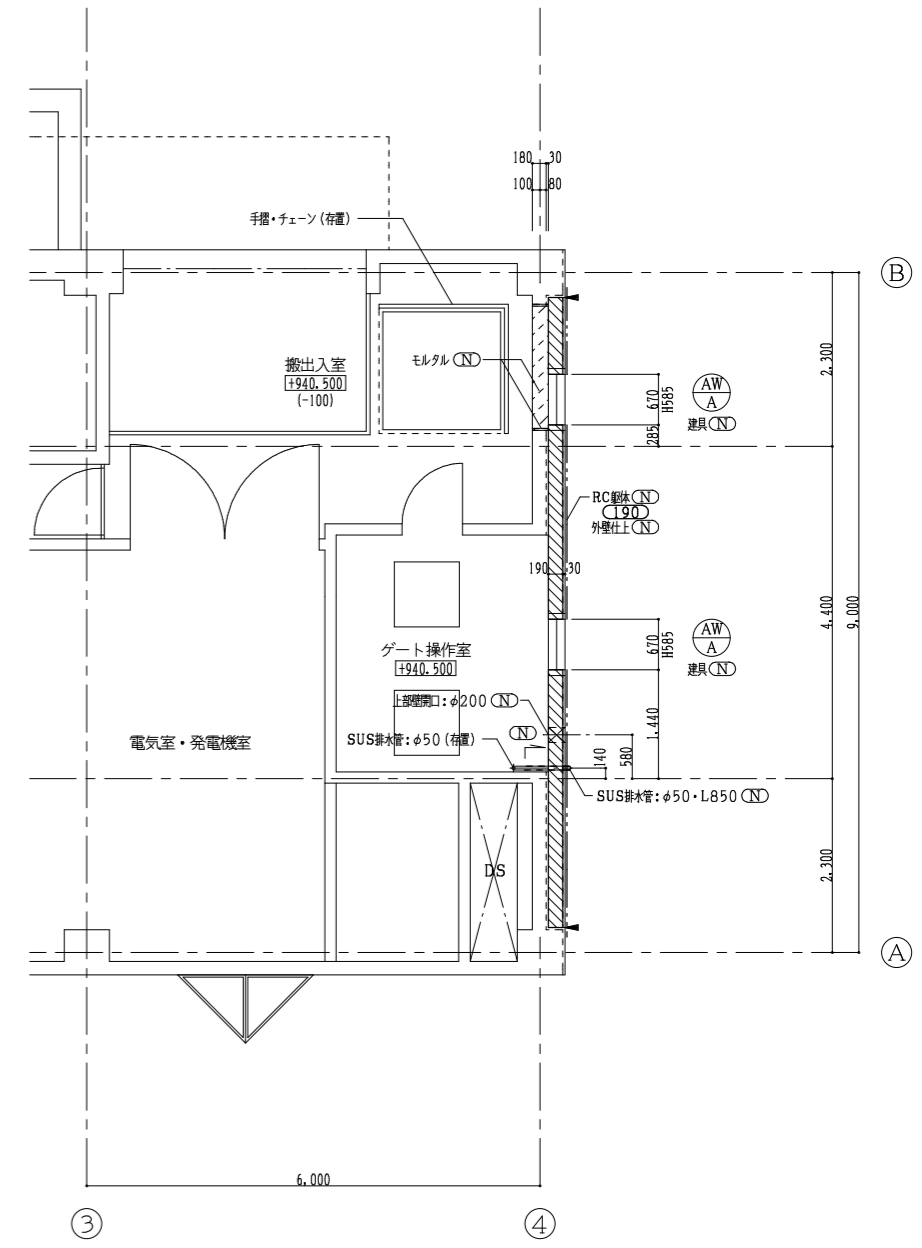
改修

改修凡例

- 仕上<新設>を示す
  - ▨ 仕上<新設>範囲を示す
  - ▩ RC躯体<新設>を示す
  - 新設壁厚寸法を示す
  - ▲ シーリング (PU-2) 2.5×1.5を示す
  - 新設を示す、特記無きは存置とする。
  - Ⓡ 建具<新設>を示す
  - Ⓢ 建具<新設>を示す
- ※外壁面、新設躯体との接続面は  
シーリング (PU-2) 施工の事。  
※建具改修範囲は建具表による。  
※建設発生土は、4通躯体撤去部に埋戻しの事。



1階平面図 S=1:50  
現況



1階平面図 S=1:50  
改修

実施図

工事名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	1階平面図<現況・改修>		縮尺 1:50
検収年月	令和 7年 8月	図面種別コード	Z207
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	D-17

現況凡例

- 仕上<撤去>を示す
- ▨▨▨ 仕上<撤去>範囲を示す
- ▨▨▨ RC躯体<撤去>を示す
- ▨▨▨ 建具<撤去>を示す
- ▲ カッター入れ部分を示す
- Ⓡ 撤去を示す、特記無きは存置とする。
- Ⓡ 建具<撤去>を示す

※躯体撤去部は  
カッターにて切込を入れ撤去の事。  
※建具改修範囲は建具表による。

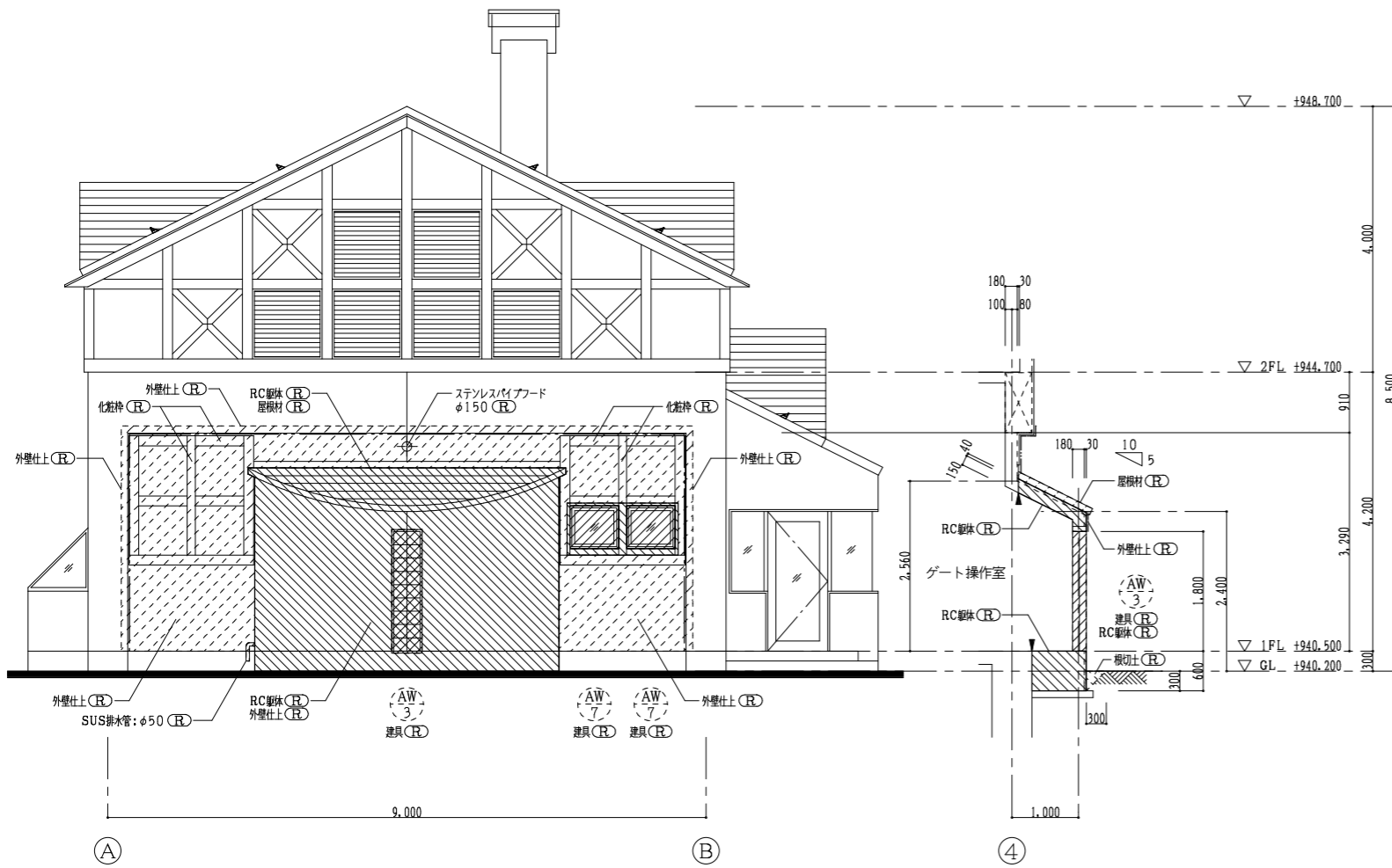
現況

改修

改修凡例

- 仕上<新設>を示す
- ▨▨▨ 仕上<新設>範囲を示す
- ▨▨▨ RC躯体<新設>を示す
- Ⓢ 新設壁厚寸法を示す
- ▲ シーリング(PU-2)25×15を示す
- Ⓝ 新設を示す、特記無きは存置とする。
- Ⓝ 建具<新設>を示す

※外壁面、新設躯体との接続面は  
シーリング(PU-2)施工の事。  
※建具改修範囲は建具表による。

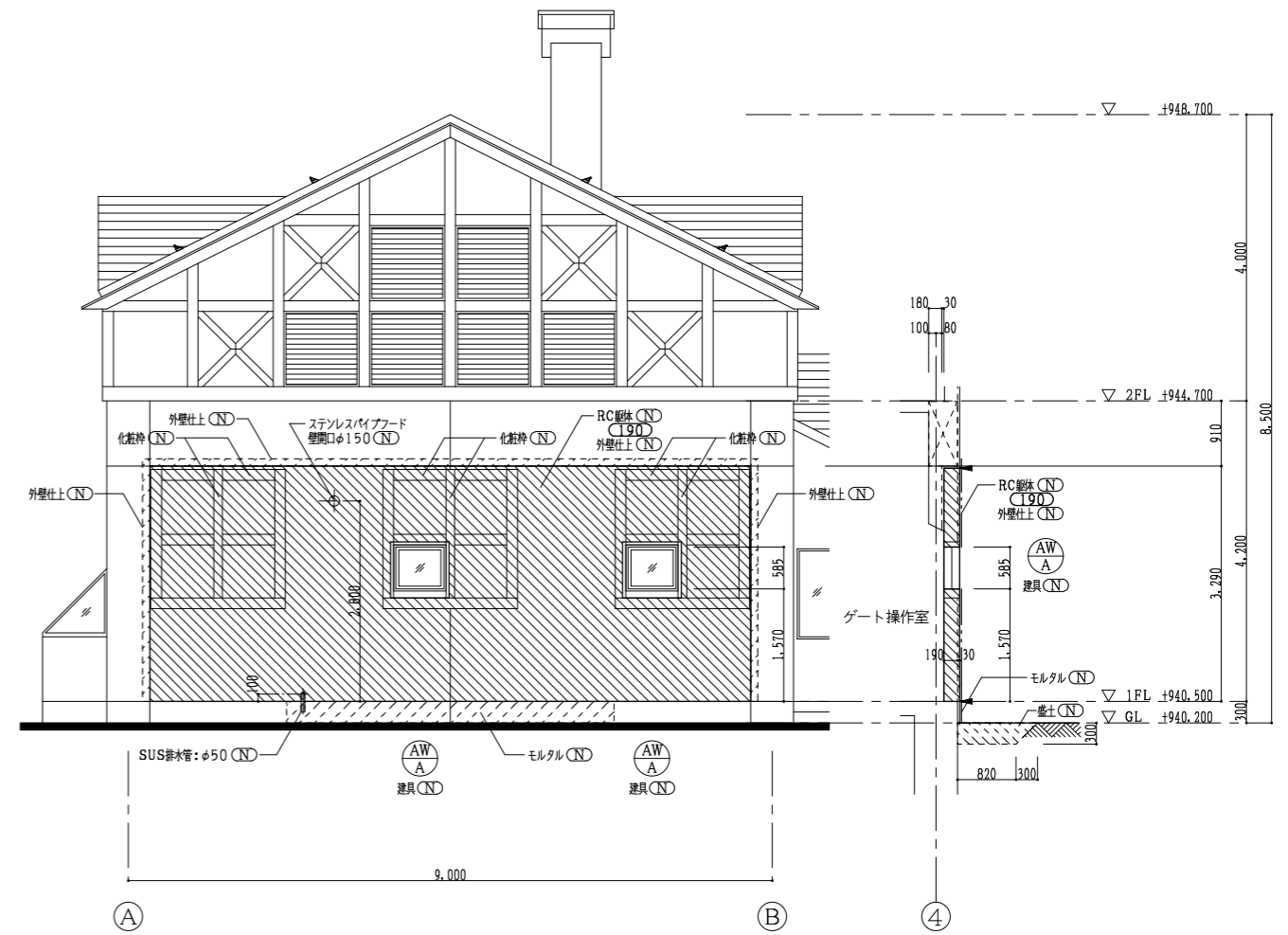


東側立面図 S=1:50

現況

断面図 S=1:50

現況



東側立面図 S=1:50

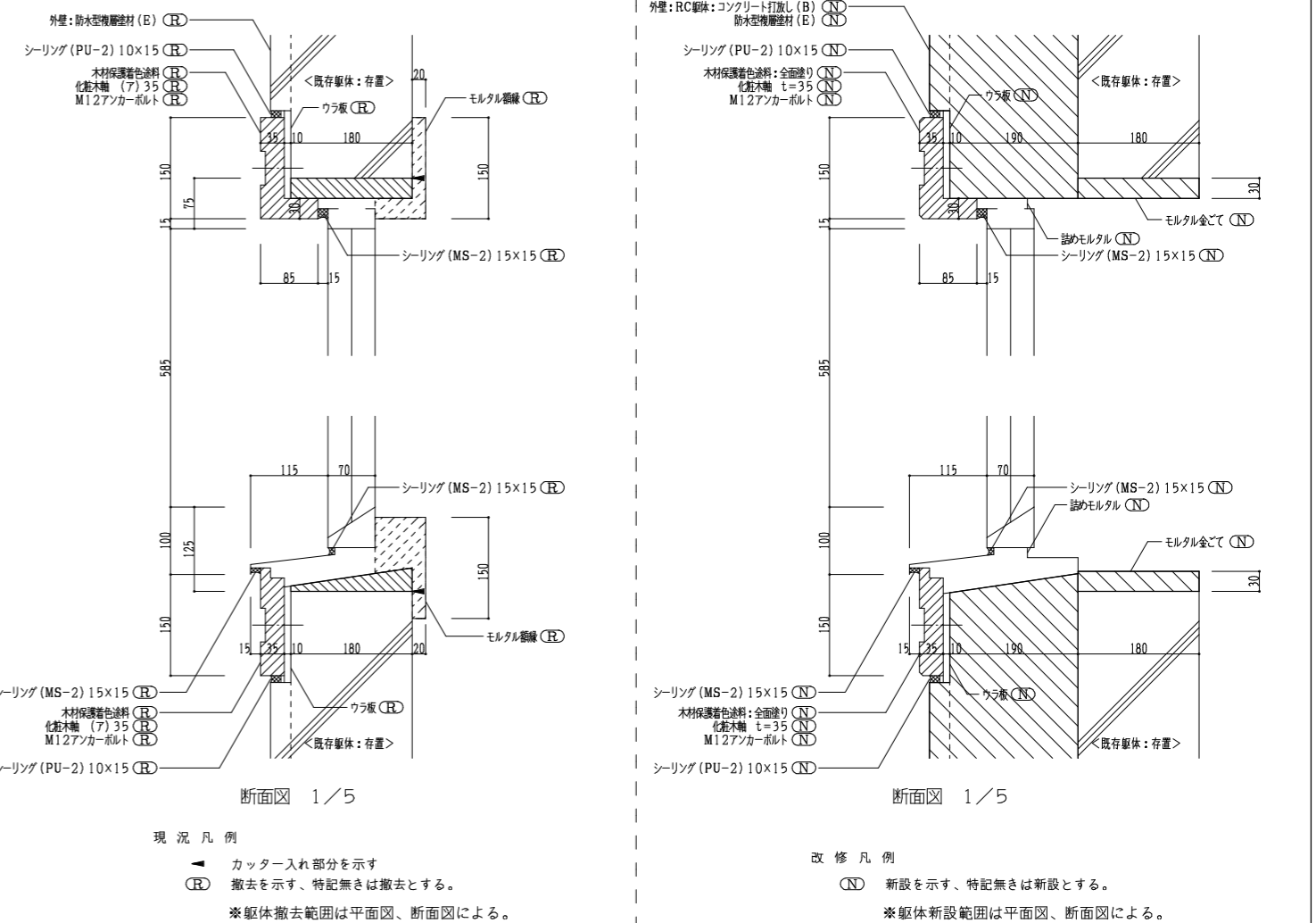
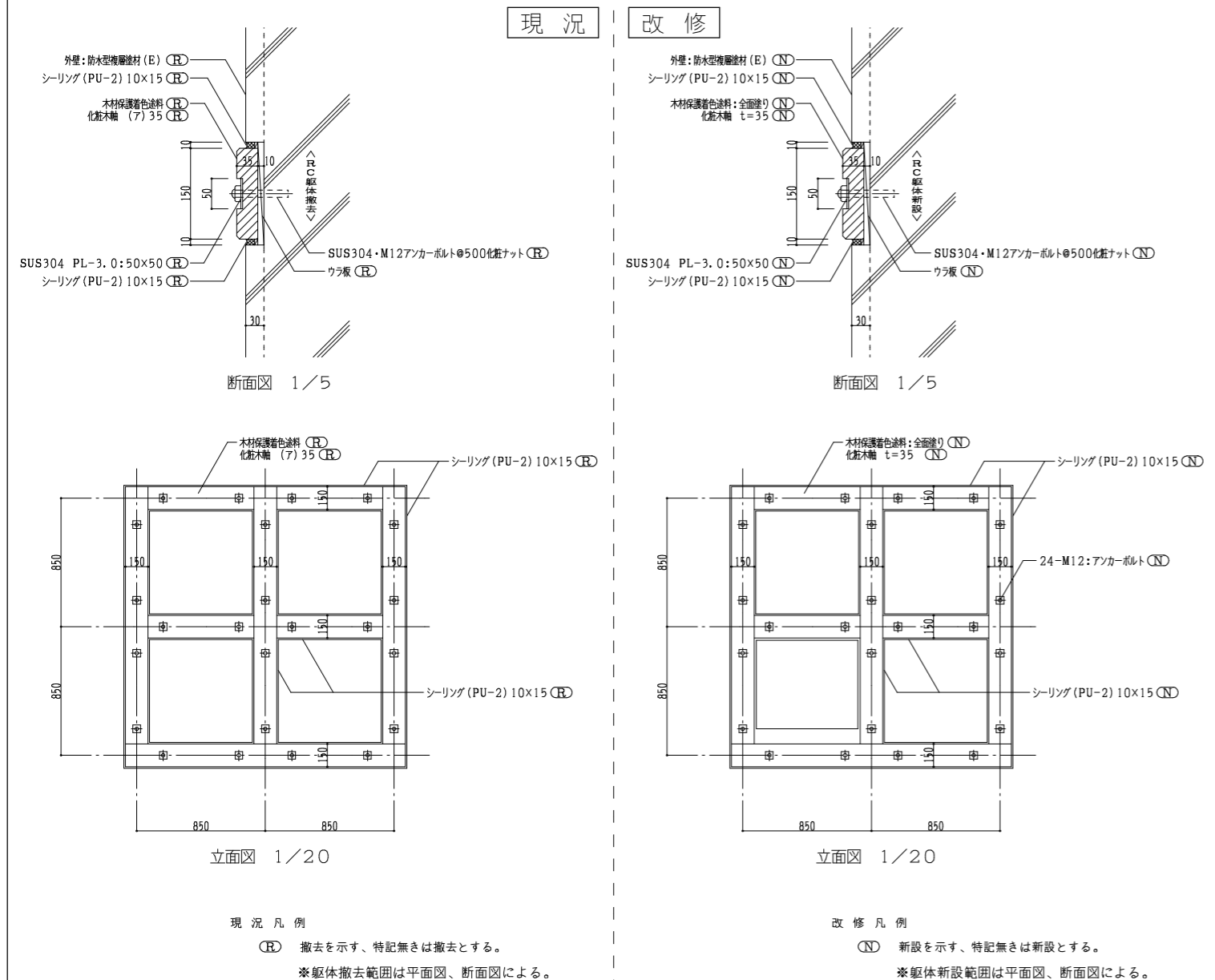
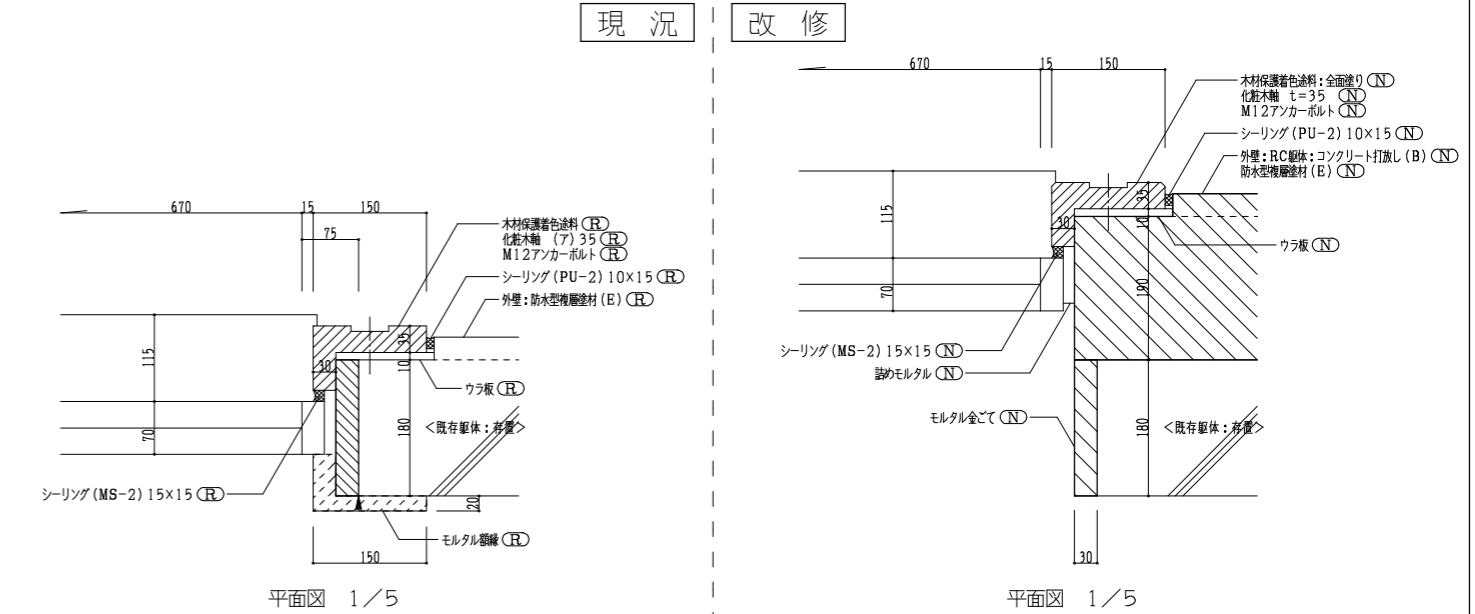
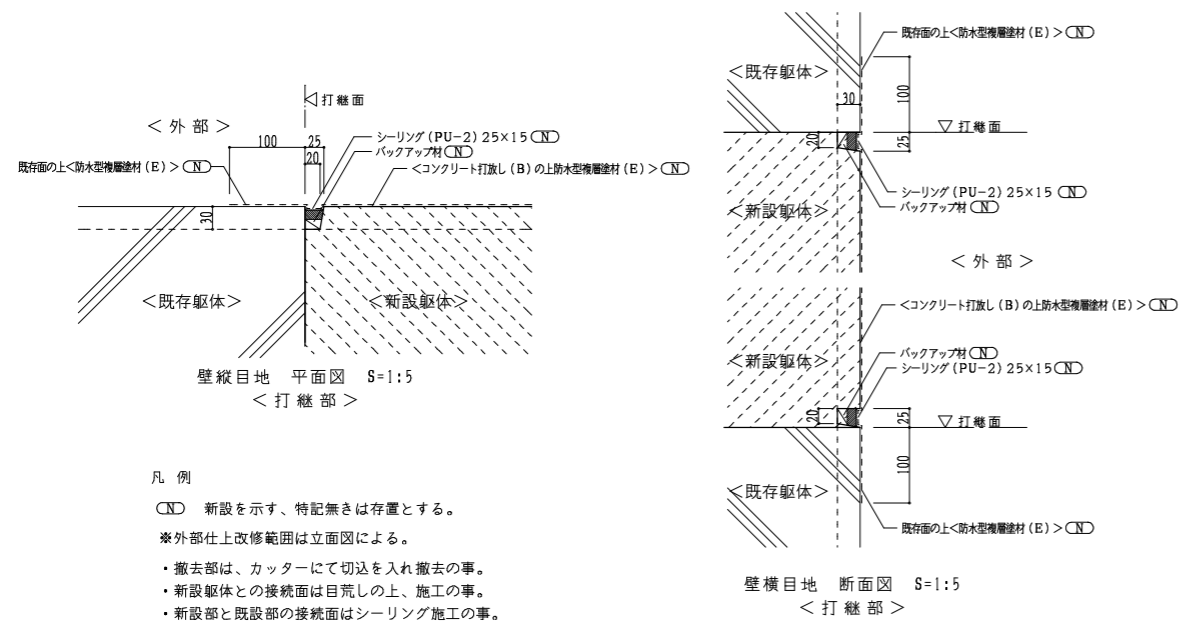
改修

断面図 S=1:50

改修

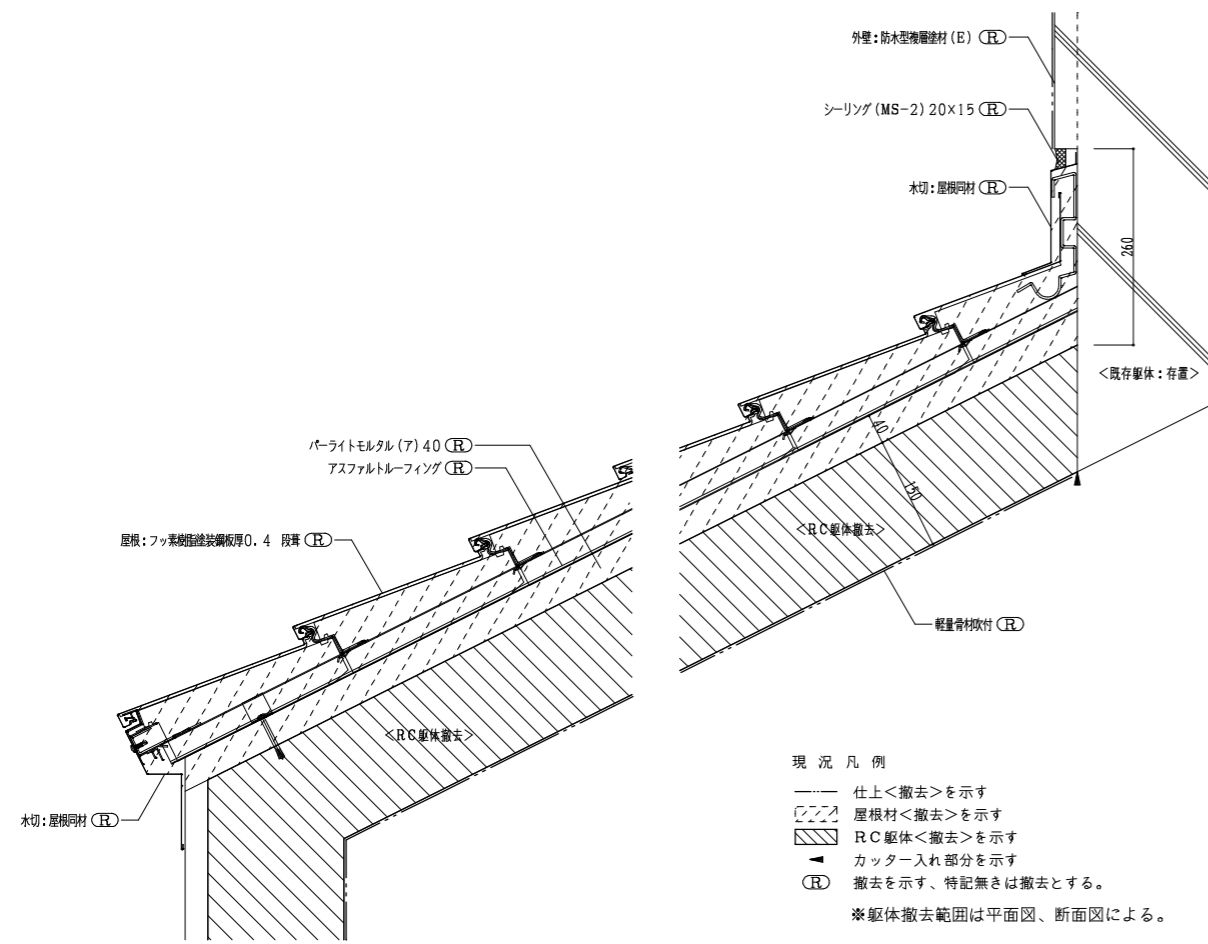
実施図

工事名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	立面図・断面図<現況・改修>	縮尺 1:50	
検収年月	令和 7年 8月	図面種別コード	Z208・Z209
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	D-18



実施図

工事名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	詳細図リスト(1) <現況・改修>	縮尺	図示
検収年月	令和7年8月	図面種別コード	Z211
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	D-19



実施図

工事名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	詳細図リスト(2) <現況・改修>	縮尺	図示
検収年月	令和 7年 8月	図面種別コード	Z211
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	D-20

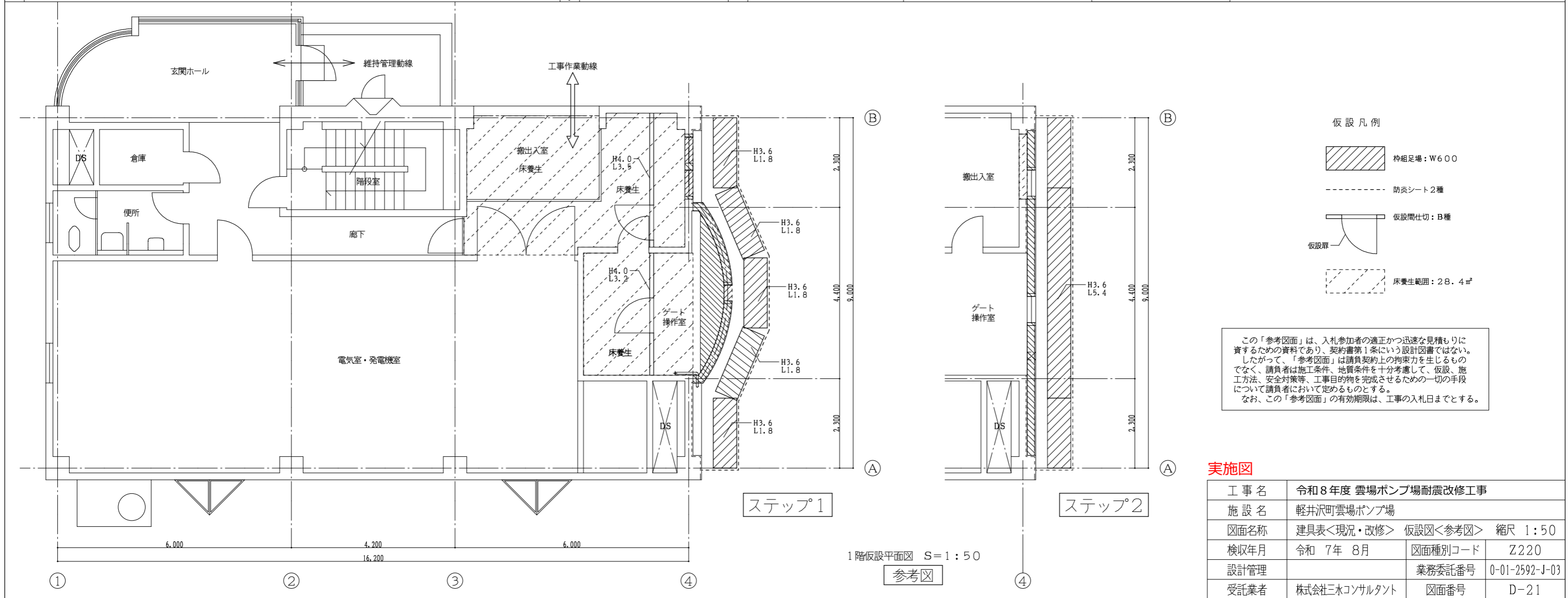
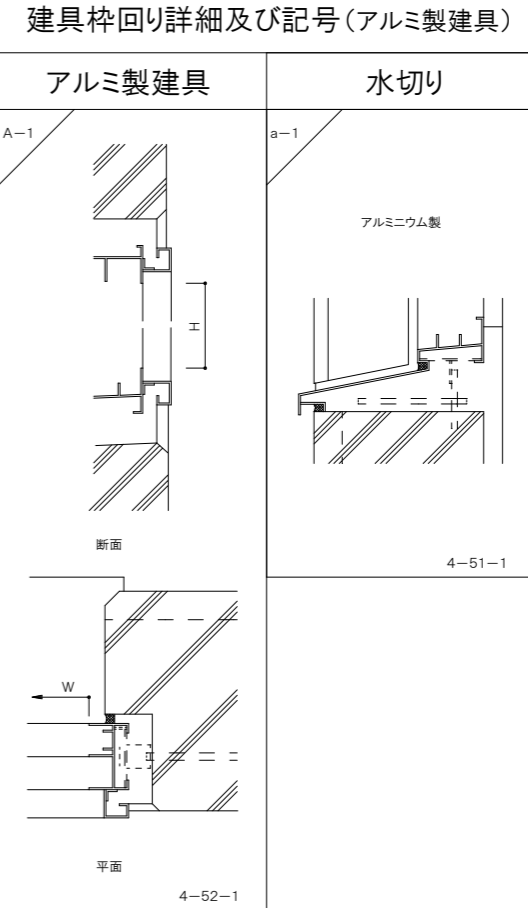
建具表			建具枠回り詳細及び記号(アルミ製建具)	
符号・名称・個数	(AW/A) 嵌め殺し窓 (R) ×1	(AW/A) 切り出し窓 (R) ×2	(AW/A) 切り出し窓 (R) ×2	
場所	1階:ゲート操作室	1階:搬出入室	1階:ゲート操作室・搬出入室	
仕上(枠共)	B-2	B-2	BB-2:着色陽極酸化塗装複合皮膜	
建具	見込 (ランマ) 硝子 (ランマ) ガラリ	F (A) 5+6+P (A) 5	F-5.0+A6.0+P-5.0	
建具枠	見込取合 番摺 100	70	70mm	
枠記号 番摺(水切)記号	A-4 a-1	A-4 a-1	A-1 a-1	
建具金物	水切 90~95 (R付)	水切 115 ストッパー (30°)	ストッパー 付属金物一式	
その他				
形状 寸法				
	現況	改修	現況	改修

共通事項	<p>1. 特記なき限り外部はシリンドラ箱錠(内部サムターン)とし内部は本締め付きモノロックとする。但し、押板、押棒の場合は、シリンドラ本締めとする。</p> <p>2. バイパススペース、ダクトスペースの点検扉の錠はシリンドラ本締め錠(特記なき限り同一キー)とする。(内部サムターン付)</p> <p>3. 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。</p> <p>4. AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め(防火戸は除く)をつける。壁仕上げボード類等の場合は床付とする。(但し、通行に支障のあるものは除く。)</p> <p>5. 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。</p> <p>6. アルミニウム製の硝子金物、排煙口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。</p> <p>7. 大型、気密鋼製建具はシリンドラ本締め錠付きとする。</p> <p>8. 特記なき限り内部建具ガラリはI型とする。</p> <p>9. 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。</p> <p>10. 防火戸の位置は建具配置図による。</p> <p>11. 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行わないものとする。</p> <p>12. 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。</p> <p>13. 特記なき限り両開きの防火戸は傾位調整器付とする。</p> <p>14. 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。</p> <p>15. AT-2、AT-4の補強材はアングル(L-50×50×6)の通し物とする。</p>																																																						
建具略号	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>戸</th> <th>窓</th> <th>ガラリ</th> <th>オーバーヘッドドア</th> <th>紙障子</th> <th>ふすま</th> <th>シャッター</th> <th>網戸</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>AD</td> <td>AW</td> <td>AG</td> <td>AOD</td> <td></td> <td></td> <td>AS</td> <td>aW</td> </tr> <tr> <td>鋼製</td> <td>SD</td> <td>SW</td> <td>SG</td> <td>SOD</td> <td></td> <td></td> <td>SS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼製軽量</td> <td>LD</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>LS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>SSD</td> <td>SSW</td> <td>SSG</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>SSS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td>WD</td> <td>WW</td> <td>WG</td> <td></td> <td></td> <td>P</td> <td>H</td> <td></td> </tr> </table>	種別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸	アルミニウム製	AD	AW	AG	AOD			AS	aW	鋼製	SD	SW	SG	SOD			SS		鋼製軽量	LD						LS		ステンレス製	SSD	SSW	SSG				SSS		木製	WD	WW	WG			P	H	
種別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸																																															
アルミニウム製	AD	AW	AG	AOD			AS	aW																																															
鋼製	SD	SW	SG	SOD			SS																																																
鋼製軽量	LD						LS																																																
ステンレス製	SSD	SSW	SSG				SSS																																																
木製	WD	WW	WG			P	H																																																
ガラス略号	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>金物</th> <th>略号</th> </tr> <tr> <td>F 型板ガラス</td> <td>DC</td> <td>ドアクローザー</td> </tr> <tr> <td>P フロート板ガラス</td> <td>AH</td> <td>オートヒンジ</td> </tr> <tr> <td>NF 網入型板ガラス</td> <td>FH</td> <td>フロアヒンジ</td> </tr> <tr> <td>NP 網入みがき板ガラス</td> <td>PH</td> <td>ピボットヒンジ</td> </tr> </table>	種別	金物	略号	F 型板ガラス	DC	ドアクローザー	P フロート板ガラス	AH	オートヒンジ	NF 網入型板ガラス	FH	フロアヒンジ	NP 網入みがき板ガラス	PH	ピボットヒンジ																																							
種別	金物	略号																																																					
F 型板ガラス	DC	ドアクローザー																																																					
P フロート板ガラス	AH	オートヒンジ																																																					
NF 網入型板ガラス	FH	フロアヒンジ																																																					
NP 網入みがき板ガラス	PH	ピボットヒンジ																																																					

凡例	<p>(R) 新設を示す、特記無きは存置とする。</p> <p>(R) 撤去を示す、特記無きは存置とする。</p>
----	---



この「参考図面」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって、「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものでなく、請負者は施工条件、地質条件を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成させるための一切の手段について請負者において定めるものとする。なお、この「参考図面」の有効期限は、工事の入札日までとする。

工事名	令和8年度 雲場ポンプ場耐震改修工事		
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	建具表<現況>改修	仮設図<参考図>	縮尺 1:50
検収年月	令和 7年 8月	図面種別コード	Z220
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	D-21



# 構造細目共通図(複合構造物)

## < 令和4年版 >

### 1 特記事項

#### 1.1 適用範囲

- (1)本構造細目共通図は、下水道施設における処理場、ポンプ場の複合構造物に適用する。  
 (2)土木工事と建築工事の区分は図面による。  
 (3)図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

土木工事	1)土木工事特記仕様書	日本下水道事業団	(別紙による。)
	2)土木工事必携	日本下水道事業団	(令和6年版)
	3)コンクリート標準示方書・施工編	土木学会	(2023年版)
	4)コンクリート標準示方書・設計編	土木学会	(2022年版)
建築工事	1)建築工事特記仕様書	日本下水道事業団	(別紙による。)
	2)建築改修工事特記仕様書	日本下水道事業団	(別紙による。)
	3)建築工事一般仕様書	日本下水道事業団	(令和5年版)
	4)公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通省大臣官房官庁営繕部		(令和7年版)

- (4)項目は、○印のついたものを適用する。○印のない場合は、※印のあるものを適用する。○印と⊗印のある場合は、共に適用する。

### 1.2 鉄筋の仕様

土木の鉄筋の種類及び継手は1.2.1表による。  
 建築の鉄筋の種類及び継手は、別紙建築工事特記仕様書又は建築改修工事特記仕様書による。

1.2.1表 鉄筋の種類及び継手

鉄筋の種類	種別	径	
		土木	建築
鉄筋の種類	SD 295	—	※ D16以下
	※ SD345 ・ SD390 ・ SD490	※ D13以上	—
	SD345	—	※ D19以上
鉄筋の継手	重ね継手	下記以外	
	ガス圧接	※ D19以上の柱、梁主筋 ※ D16以上の増設端の床、壁鉄筋	※ D19以上、D29以下の柱、梁主筋
	機械式継手	・ 図面による。	

### 1.3 コンクリートの仕様

土木のコンクリートの仕様は1.3.1表による。  
 建築のコンクリートの仕様は、別紙建築工事特記仕様書又は建築改修工事特記仕様書による。

1.3.1表 コンクリートの仕様

分類	コンクリート種別	設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	スラブ(cm)	セメントの種類	
土木	鉄筋コンクリート	※ 普通コンクリート ※ 24 ・ 30	※ 12	※ 高炉セメントB ・ 普通ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント	
建築	鉄筋コンクリート	地上 ※ 普通コンクリート	※ 21	※ 18	※ 普通ポルトランドセメント
	地下基礎、基礎梁	※ 普通コンクリート	※ 21	※ 15	※ 普通ポルトランドセメント
土木	無筋コンクリート	※ 普通コンクリート	※ 18	※ 12	※ 高炉セメントB ・ 普通ポルトランドセメント
建築	無筋コンクリート	※ 普通コンクリート	※ 18	※ 15	※ 普通ポルトランドセメント

注1:無筋コンクリート中には均しコンクリート、捨てコンクリートを含む。

### 1.4 砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリート

砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの厚さは1.4.1表による。

1.4.1表 砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの仕様

部位	種別	厚さ(mm)
土木工事	砂利または砕石	※ 200
	均しコンクリート	※ 100
建築工事	砂利または砕石	※ 60
	捨てコンクリート	※ 50

### 2 共通事項

#### 2.1 記号及び符号

設計図中で使用する記号及び符号は、2.1.1表及び2.1.2表を標準とする。

2.1.1表 鉄筋の断面表示

区分	径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建築	●	×	∅	●	○	⊙	⊗	⊗	⊗
土木	—	—	—	—	—	—	—	—	—

●又は建築による。

2.1.2表 一般凡例

記号符号	内容	※印の説明及び注意事項
F※	フーチング断面種別	※ 番号
※1C※2	柱断面種別	※1 階数 ※2 その階の番号
※1G※2	大梁断面種別	※1 階数、地中大梁はFとする ※2 その階の番号 X方向1, 2, 3---- Y方向A, B, C----
CG※	片持大梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1B※2	小梁断面種別	※1 地中小梁のみFとする ※2 階別区分はしない 地中小梁を除く
CB※	片持小梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1W※2	壁配筋種別	※1 E:耐震壁、K:階段壁 D:土圧、水圧を受ける壁 階別区分はしない ※2 壁厚(cm)
※1S※2※3	床版配筋種別	※1 片持床版のみCとする ※2 床版厚(cm) ※3 配筋種別(英大文字) 階別区分はしない
※1K※2	階段の配筋種別	※1 A:片持床版形 B:二辺固定床版形 ※2 配筋種別(数字) 階別区分はしない
CB※	コンクリートブロック壁	※ 壁厚(cm)
////	打ち増し範囲	
////	梁・床版の上がりがり	一般には基準FLよりの+、-に 応じた凡例により表示
(※)	床用積載荷重	積載荷重の値(kN/m <sup>2</sup> )
STP	あばら筋、スターラップ	梁、基礎梁、小梁
HOOP	帯筋、帯鉄筋、フープ	柱
S.HOOP	スパイラル筋、らせん筋	柱
幅止筋	幅止め筋	柱、梁、壁
組立筋	組立て筋	床版、底版

#### (用語の定義)

- ・床版とは、常時荷重及び地震時荷重を負担する主部材をいう。壁式構造のボックスカルバートやラーメン構造の頂版や底版がある。
- ・スラブとは、常時荷重のみを負担する梁に支持される副部材をいう。

#### 2.2 一般注意事項

- (1)設計図は監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。  
 変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。

### 3 土木工事

#### 3.1 鉄筋の折曲げ加工

- 鉄筋の折曲げ加工は、3.1.1表及び3.1.2表を標準とする。  
 (1)Dは、折曲げ内法直径を示す。  
 (2)dは、鉄筋直径(呼び名)を示す。

3.1.1表 鉄筋曲げ加工(1)

位置	曲げ角度	折曲げ図及び折曲げ後の余長	曲げ内法直径	使用箇所
末端部	180°	d以上かつ60mm以上	5d以上	定着末端部
	135°	d以上かつ60mm以上	5d以上	スターラップ、帯鉄筋、フープ筋等
	90°	d以上かつ60mm以上	5d以上	スターラップ、帯鉄筋、フープ筋等
中間部	90°	4d以上	5d以上	梁
	135°	4d以上	5d以上	壁
中間部	90°	100mm	5d以上	床版底版
	θ < 90°	100mm (馬筋) 直交方向に90°	10d以上	幅止め鉄筋
中間部	90°	d	5d以上	あばら筋、帯筋 スパイラル筋
	θ < 90°	d	10d以上	折曲げ鉄筋

3.1.2表 鉄筋曲げ加工(2)

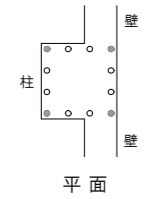
位置	曲げ角度	折曲げ図	曲げ内法直径	使用箇所
最上階	90°	d	20d以上	ラーメン隅角部
一般階	90°	d	5d以上	ラーメン隅角部

#### 3.2 異形鉄筋の末端部

異形鉄筋の末端部には、3.2.1表によりフックを設ける。

3.2.1表 フックを設ける位置

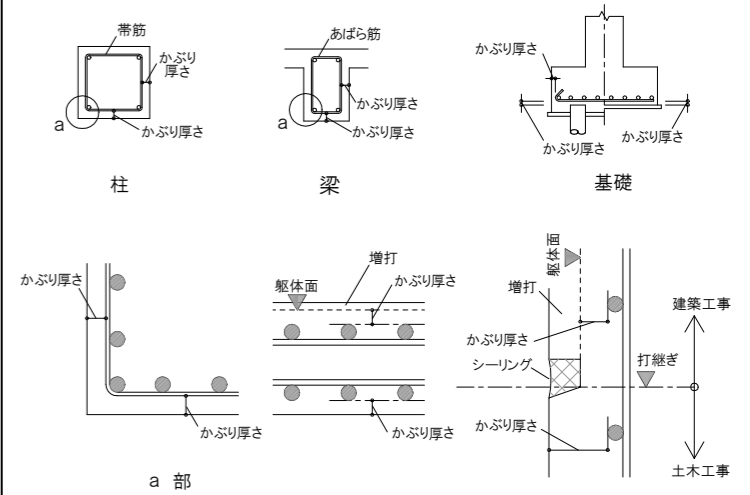
部位	継手方式		備考
	重ね継手	圧接継手	
柱	四隅の主筋	—	1)最上階の柱頭 3.2.1 図の●印 3.8.1 図参照
	上下階の柱断面が異なる場合	—	1)下階の柱主筋を引き通す事が出来ない柱頭部 3.2.1 図の●印 3.8.2 図参照
	帯筋(HOOP)	1)末端部 2)継手部	1)末端部 3.9.1 図参照
梁	あばら筋(STP)	1)末端部 2)継手部	1)末端部 3.12.1 図参照
杭基礎	独立フーチング基礎の底版筋	1)末端部 2)継手部	1)末端部 3.25.1 図参照
煙突の鉄筋	1)末端部 2)継手部	1)末端部	壁の一部となる場合を含む
幅止め筋	—	—	3.1.1 表参照



3.2.1図 異形鉄筋の末端部

#### 3.3 鉄筋のかぶり及び間隔

- 3.3.1 かぶり厚さ  
 かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋(幅止め筋を除く)の外側から躯体面までの距離(3.3.1図)をいう。  
 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚に許容誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。



3.3.1図 鉄筋のかぶり厚さ

#### 3.3.2 最小かぶり厚さ

- 最小かぶり厚さは、3.3.1表による。  
 床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、均しコンクリートの厚さを含まない。

3.3.1表 鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)

※ 通常の施工の場合

環境	部位	床版・スラブ・梁	柱・壁	底版・フーチング
大気中		50	50	—
水中・土中等		50	70	70

・ 塩害対策地域の施工の場合

対策区分	環境	部位	床版・スラブ・梁	柱・壁	底版・フーチング
I	大気中		70	70	—
	水中・土中等		70	70	70
II, III	大気中		50	70	—
	水中・土中等		50	70	70

- 1: 部位により最小かぶり厚さの判断が困難な場合は、監督職員の指示を得る。  
 2: 杭基礎の底版・フーチング下端筋のかぶり厚さは、7.杭基礎の補強を参照する。

[注]梁:大梁、小梁、基礎梁、片持梁をいう。

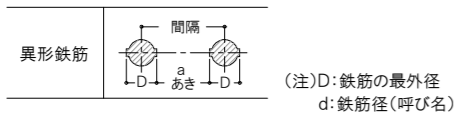
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	構造細目共通図(複合構造物)(1)	縮尺	—
検収年月	令和 年 月	図面種別コード	Z299
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-1

### 3 土木工事

#### 3.4 鉄筋相互のあき

3.4.1 梁・壁・床版  
鉄筋相互のあきは、下記(1)、(2)、(3)の最大値以上とする。  
(1)粗骨材の最大寸法の4/3倍  
(2)最小のあき25mm  
(3)隣り合う鉄筋の平均径(呼び名の数値)の1.5倍

3.4.2 柱  
鉄筋相互のあきは、下記(1)、(2)、(3)の最大値以上とする。  
(1)粗骨材の最大寸法の4/3倍  
(2)最小のあき40mm  
(3)隣り合う鉄筋の平均径(呼び名の数値)の1.5倍



3.4.1図 鉄筋のあき

3.4.1表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径 (mm)	鉄筋相互のあき : a					最小鉄筋芯間隔	
	鉄筋径 d	最外径 D	(1) 粗骨材径×4/3倍	(2) 最小あき	(3) 鉄筋径×1.5		(梁) a+D
D13	14	粗骨材最大径 25mm の場合	33mm	梁: 25mm 柱: 40mm	20mm	47mm	54mm
D16	18				24mm	51mm	58mm
D19	21				29mm	54mm	61mm
D22	25				33mm	58mm	65mm
D25	28				38mm	66mm	68mm
D29	33				44mm	77mm	77mm

#### 3.5 鉄筋の継手及び定着

##### 3.5.1 継手長さ及び定着長の基本

(1)鉄筋の重ね継手長さは3.5.1表、定着の長さは3.5.2表による。  
① 本表の適用は、鉄筋種類SD345、鉄筋径D13~D32とする。  
② 定着長は折曲げ加工後の直線部分で確保する。  
③ 壁、床版、底版の主鉄筋の中心間隔が100mm未満の場合は、別途図示による。

3.5.1表 鉄筋の重ね継手長さ

鉄筋の種類	鉄筋径	設計基準強度	S <sub>1</sub> :重ね継手長さ			
			鉄筋中心間隔200mm以上	100mm以上200mm未満		
SD345	D16以下 D19~D22 D25~D32	24以上 27未満 (N/mm <sup>2</sup> )	フックなし	フックあり	フックなし	フックあり
			40・d	30・d	50・d	40・d
			45・d	35・d	60・d	50・d
			50・d	40・d	65・d	55・d

3.5.2表 鉄筋の定着長さ

鉄筋の種類	鉄筋径	設計基準強度	S <sub>2</sub> :定着長		S <sub>3</sub> :定着長		S <sub>4</sub> :定着長	
			フックなし	フックあり	フックなし	フックあり	フックなし	フックあり
SD345	D16以下 D19~D22 D25~D32	24以上 27未満 (N/mm <sup>2</sup> )	40・d	30・d	35・d	25・d	35・d	25・d
			50・d	40・d	40・d	30・d	35・d	25・d
			60・d	50・d	45・d	35・d	35・d	25・d

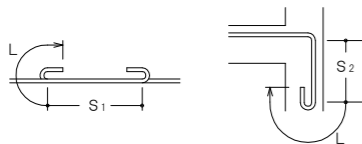
(2)S<sub>2</sub>, S<sub>3</sub>, S<sub>4</sub>の適用区分を以下に記す。

S<sub>2</sub>: (最上層)大梁上端、基礎梁上端、床版(壁構造)、床版上端(ラーメン構造)、底版。  
S<sub>3</sub>: 柱、壁、(中間層)大梁上端、大梁下端、床版下端(ラーメン構造)、基礎梁下端。  
S<sub>4</sub>: 小梁、スラブ(地震力を受けない部材)。

(3)径が異なる鉄筋の継手長さは、細い鉄筋の径による。

(4)継手は相互にずらすことを原則とする。

(5)フックのある場合の継手長さ及び定着長には、3.5.1図に示すようにフック部分を含まない。

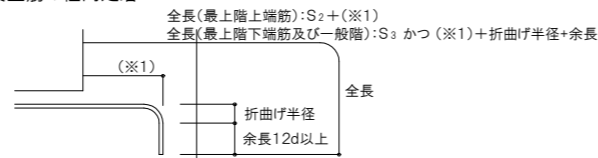


3.5.1図 フックのある場合の継手及び定着要領

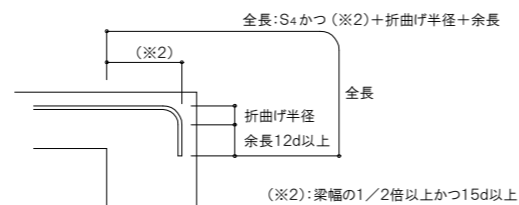
##### 3.5.2 継手の特記事項

(1)継手は極力応力の小さい位置に設ける。  
(2)異なる径の鉄筋をガス圧接する場合、鉄筋径の差が5mmを超える圧接をしてはならない。

##### 3.5.3 梁主筋の柱内定着



3.5.2図 梁主筋の柱内定着要領

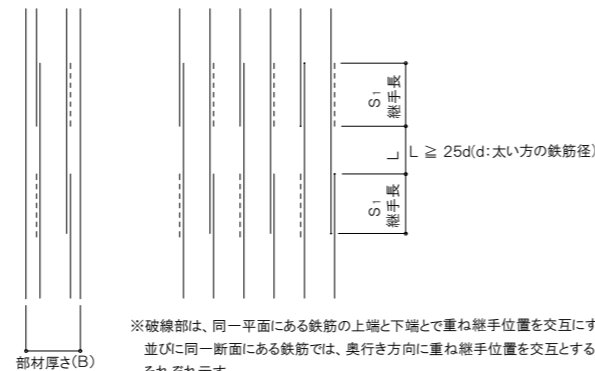


3.5.3図 小梁及びスラブ上端筋の梁内折曲げ定着要領

#### 3.6 隣り合う継手の位置

##### 3.6.1 鉄筋の重ね継手

(1)同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。  
(2)ずらす距離(L)は、太いほうの鉄筋径の25倍以上とする。  
(3)前記(2)を確保できない場合等は、監督職員の承諾を得て、ガス圧接継手又は機械式継手工法を採用することができる。  
(4)継手部の鉄筋のあきは、粗骨材の最大寸法以上とする。

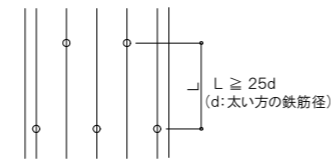


3.6.1図 重ね継手工法

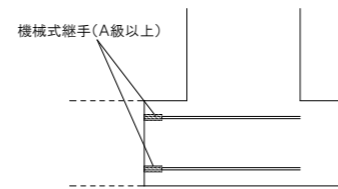
##### 3.6.2 鉄筋のガス圧接および機械式継手

鉄筋のガス圧接継手及び機械式継手は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」(土木学会)による。機械式継手は、ねじふし鉄筋継手工法とする。また、ねじふし鉄筋工法以外の機械式継手を採用する場合は、監督職員の承諾を得ること。

(1)同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。  
(2)ガス圧接の場合のずらす距離(L)は、太いほうの鉄筋径の25倍以上とする。  
(3)機械式継手の場合のずらす距離(L)は、太いほうの鉄筋径の25倍以上とする。  
(4)機械式継手をイモ継ぎ部に使用する場合は、構造計算等により当該箇所に塑性ヒンジが発生しないことを確認する必要がある。施工上やむを得ず機械式継手によるイモ継ぎとなる場合は、継手部が所要の耐震性を有していることを、適切な実験や解析等で照査しなければならない。詳細は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」(土木学会)による。



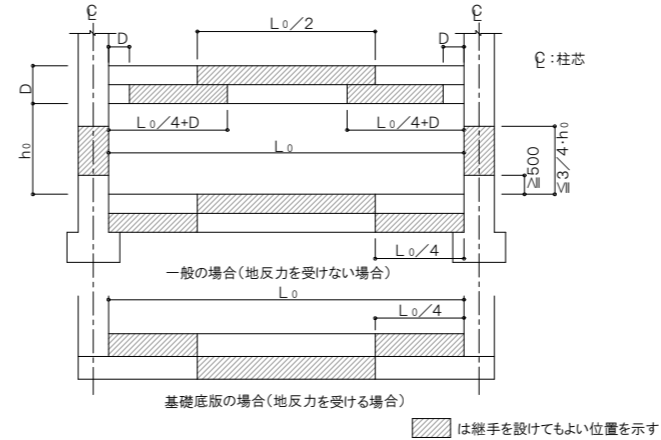
3.6.2図 ガス圧接継手工法及び機械式継手工法



3.6.3図 機械式継手におけるイモ継手位置

#### 3.7 継手及び圧接中心位置(柱、大梁)

継手及び圧接中心位置は図面がない場合は、3.7.1図による。  
(1)柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から50cm以上、150cm以下かつ3/4h<sub>0</sub> (h<sub>0</sub>は柱の内法高さ)以下とする。  
(2)梁の継手及び圧接中心位置は下記による。  
上端筋 中央:L<sub>0</sub>/2以内  
下端筋 両端:柱面より梁せい(D)以上離し、L<sub>0</sub>/4を加えた範囲以内  
(3)通常の応力と異なる場合の継手位置は、3.7.1図によらず図面による。

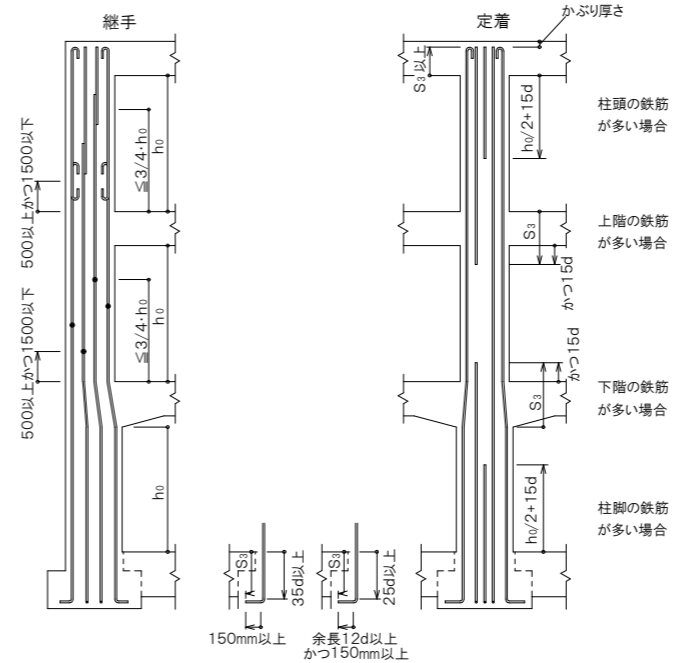


3.7.1図 継手及び圧接中心位置

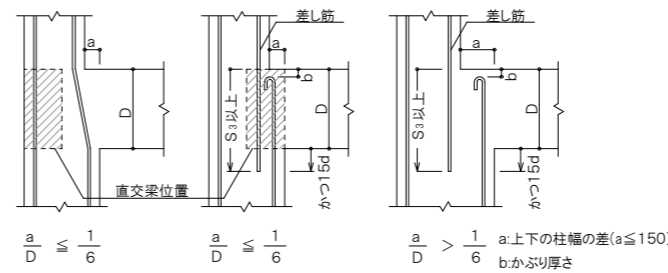
#### 3.8 柱筋の継手及び定着

##### 3.8.1 一般事項

(1)継手長さはS<sub>1</sub>とし、定着及び余長は、3.8.1図による。  
(2)柱頭定着長さS<sub>3</sub>が確保出来ない場合は、図面による。  
(3)上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、3.8.2図による。  
(4)柱脚定着長さ25d(余長12d以上)または35dが確保出来ない場合は、図面による。



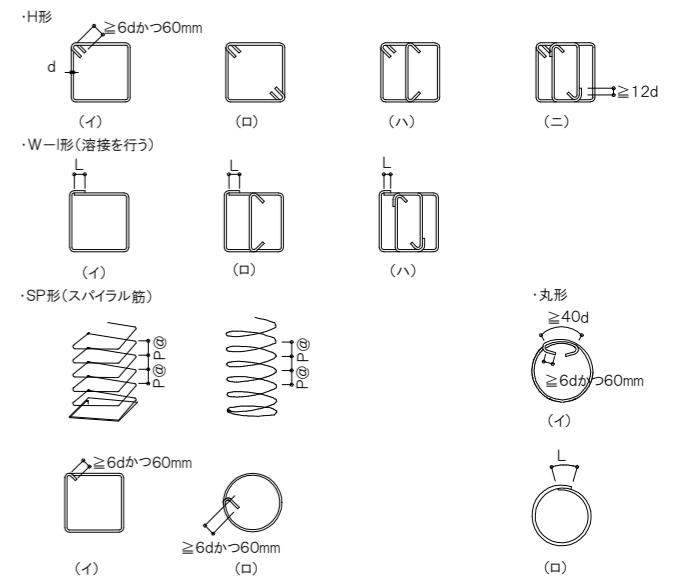
3.8.1図 柱主筋の継手、定着及び余長



3.8.2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

#### 3.9 帯筋の形状

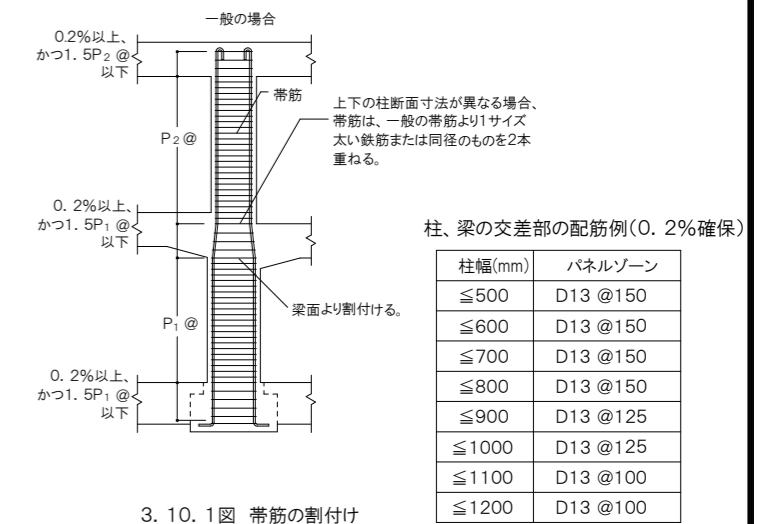
(1)帯筋の形状は、3.9.1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。  
(a)H形とする。  
(b)H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。  
(c)溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。  
(d)SP形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。



3.9.1図 帯筋組立の形

#### 3.10 帯筋の割付け

(1)フック及び継手の位置は交互とする。  
(2)帯筋の割付けは、3.10.1図による。ただし、図面にある場合は図面による。  
(3)柱、梁の交差部(パネルゾーン)の帯筋のせん断補強比は、0.2%以上を確保し、補強筋間隔は1.5P以下とする。



3.10.1図 帯筋の割付け

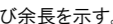
※1.5P<sub>1</sub>、1.5P<sub>2</sub>のピッチは150mm以下とする。

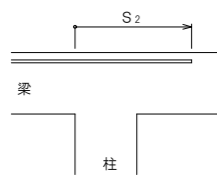
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	構造細目共通図(複合構造物)(2)		縮尺
検収年月	令和	年月	図面種別コード Z299
設計管理	業務委託番号		0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-2

### 3 土木工事

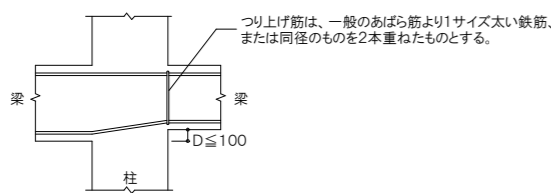
#### 3.11 大梁筋の継手及び定着

##### 3.11.1 一般事項

- (1) 継手長さ、定着長さ及び余長は、3.11.1図から3.11.10図による。
- (2) 梁主筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数のときは柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、3.5.2図のように柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、3.11.1図による。
- (3) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。  
 下端筋：原則として曲げ上げる。  
 上端筋：曲げ下ろす  
 梁主筋のみ込み長さは、柱せいの3/4倍以上かつ20d以上を確保する。(※1)  
 梁主筋の柱内定着は、3.5.2図による。
- (4) 梁にハンチをつける場合、その傾斜は図面による。図面になければ1:4とする。
- (5) 印は、継手及び余長を示す。
- (6) 破線は柱内定着の場合を示す。
- (7) 3.2異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋にはフックをつける。
- (8) 段違い梁は3.11.2図による。



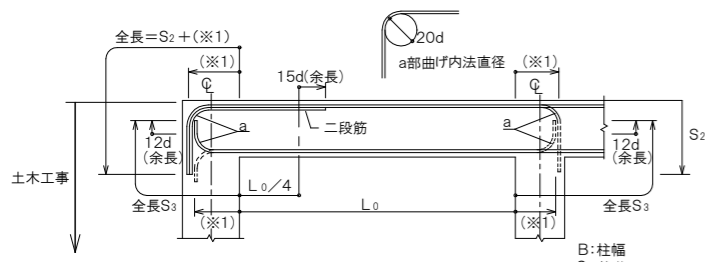
3.11.1図 梁主筋を梁内定着



3.11.2図 段違い梁

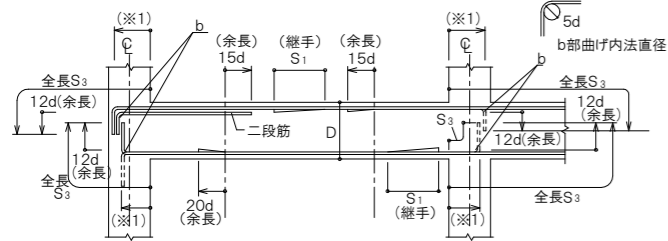
##### 3.11.2 ハンチのない場合

###### (1) 最上階の場合

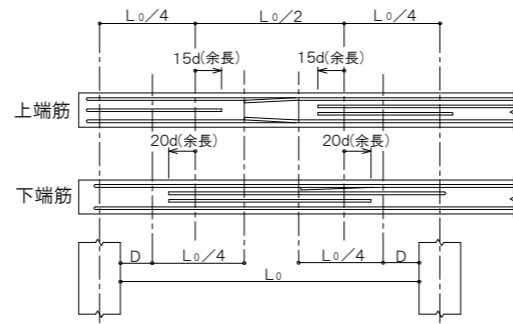


3.11.3図 大梁の重ね継手、定着及び余長(最上階)

###### (2) 一般階の場合



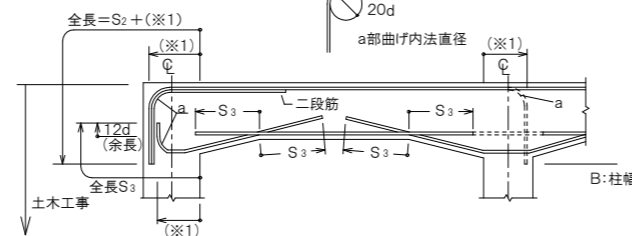
3.11.4図 大梁の重ね継手、定着及び余長(一般階その1)



3.11.5図 大梁の重ね継手、定着及び余長(一般階その2)

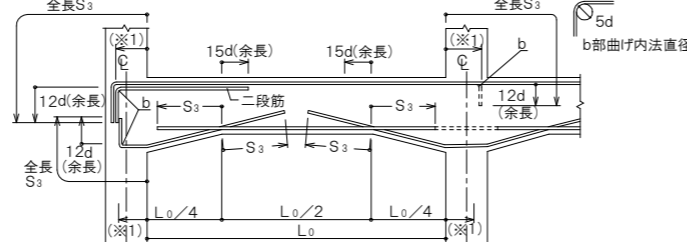
##### 3.11.3 ハンチのある場合

###### (1) 最上階の場合



3.11.6図 ハンチのある大梁の定着及び余長(最上階)

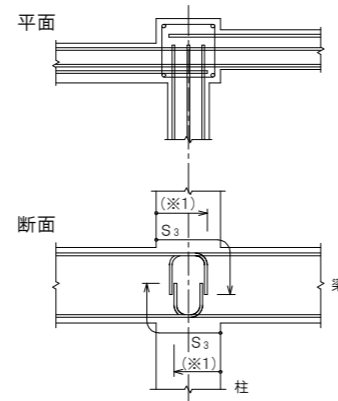
###### (2) 一般階の場合



3.11.7図 ハンチのある大梁の定着及び余長(一般階)

##### 3.11.4 水平段差のある場合

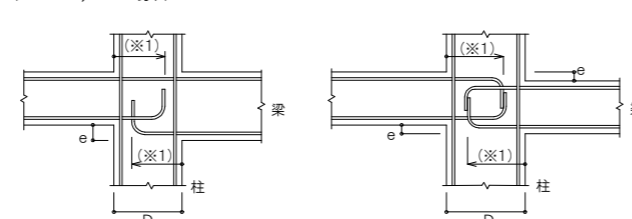
###### (1) 水平段差のある場合



3.11.8図 大梁の定着及び余長(水平段差のある場合)

##### 3.11.5 鉛直段差(e)のある場合

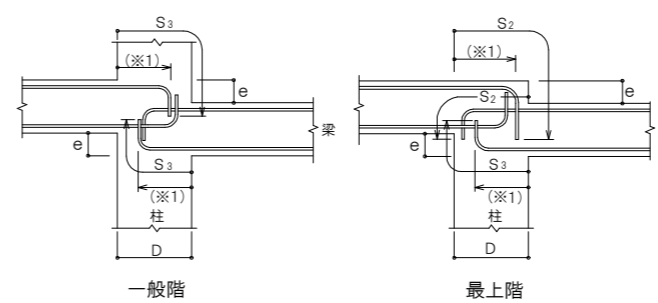
###### (1) e/D ≤ 1/6の場合



定着の長さは、3.11.2図に準ずる

3.11.9図 鉛直段差梁(その1)

###### (2) e/D > 1/6の場合



3.11.10図 鉛直段差梁(その2)

#### 3.12 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

##### 3.12.1 一般事項

- (1) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
- (2) 壁梁の場合、腹筋の継手長さはS1、定着長さをS3とする。
- (3) 土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
- (4) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D13-1000mmピッチ程度とする。
- (5) 破線は柱内定着の場合を示す。

##### 3.12.2 あばら筋組立の形及びフックの位置

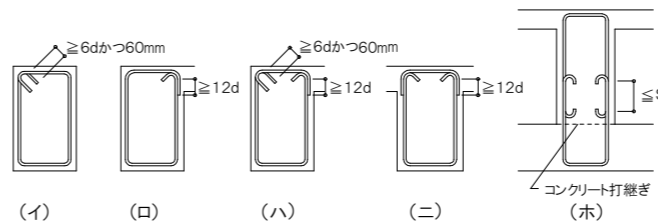
###### (1) 形は、3.12.1図(イ)を標準とする。

ただし、(イ)によることが出来ない場合は、下記の方法によることが出来る。

- a. 床版が片側に付く場合は、(ロ)又は(ハ)
- b. 床版が両側に付く場合は、(ロ)~(ニ)

###### (2) フックの位置

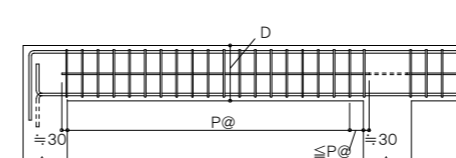
- a. (イ)の場合は交互とする。
- b. (ロ)の場合 床版が片側に付く場合は床版の付く側、床版が両側に付く場合は交互
- c. (ハ)の場合は床版の付く側を90°折曲げる。
- d. (ホ)は梁の上下にスラブが付く場合で、かつ梁せいが1.5m以上の場合に適用することが出来る。(基礎梁)



3.12.1図 あばら筋組立の形及びフックの位置

##### 3.12.3 あばら筋の割付け

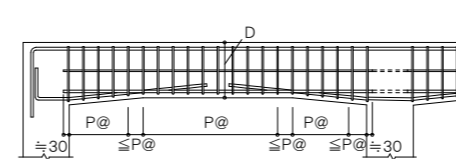
###### (1) 間隔が一樣でハンチのない場合



※あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

3.12.2図 あばら筋の割付け(その1)

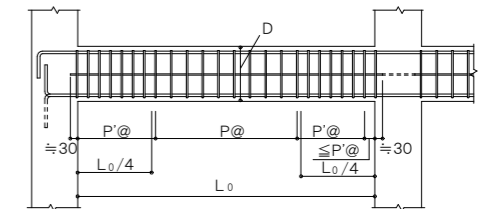
###### (2) 間隔が一樣でハンチのある場合



※あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

3.12.3図 あばら筋の割付け(その2)

###### (3) 梁の端部で間隔の異なる場合



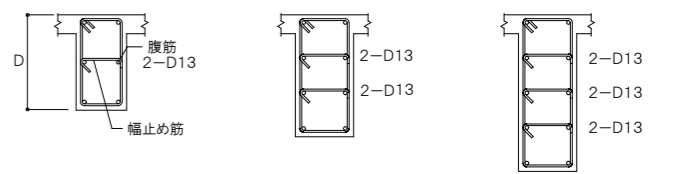
※あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

3.12.4図 あばら筋の割付け(その3)

##### 3.12.4 腹筋及び幅止め筋

###### (1) 一般の梁

###### a) 腹筋及び幅止め筋



600 ≤ D < 900

900 ≤ D < 1200

1200 ≤ D ≤ 1500

3.12.5図 腹筋及び幅止め筋

###### (2) 特殊な梁

腹筋及び幅止め筋は、図面による。

施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	構造細目共通図(複合構造物)(3)	縮尺	-
検収年月	令和 年月	図面種別コード	Z299
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-3

### 3 土木工事

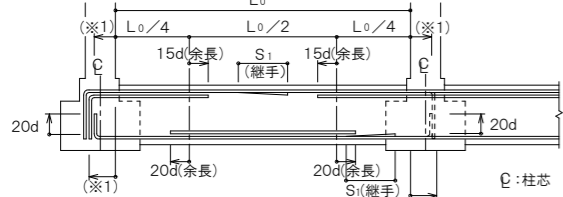
#### 3.13 基礎梁及び底版の継手及び定着

##### 3.13.1 一般事項

- 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は柱内に定着する。やむを得ず梁内に定着する場合は、3.11.1図に準ずる。
- 梁筋を柱内に定着する場合は、3.11.1(3)による。
- 柱幅<梁幅の場合の定着は、3.13.3図による。
- 印は、継ぎ手及び余長を示す。
- 破線は柱内定着の場合を示す。
- 図内(※1)は、3.11.1による。

##### 3.13.2 基礎梁の場合

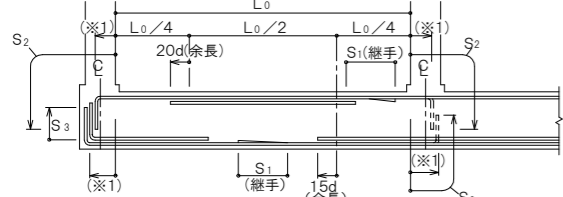
###### (1)基礎梁の継手及び定着



3.13.1図 主筋の継手、定着及び余長(その1)

##### 3.13.3 連続基礎及びべた基礎の場合

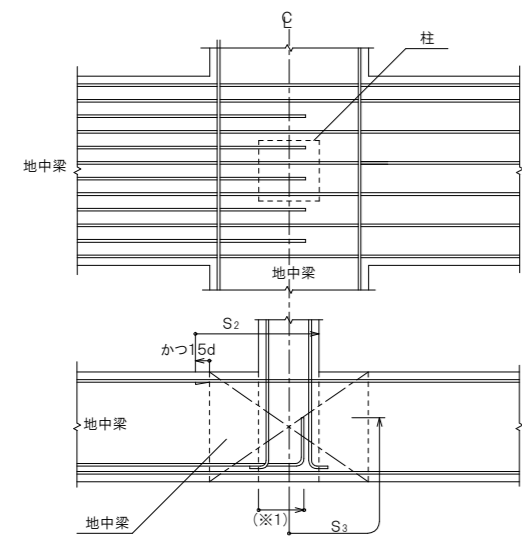
###### (1)柱幅≧梁幅の場合



3.13.2図 主筋の継手、定着及び余長(その2)

###### (2)柱幅<梁幅の場合

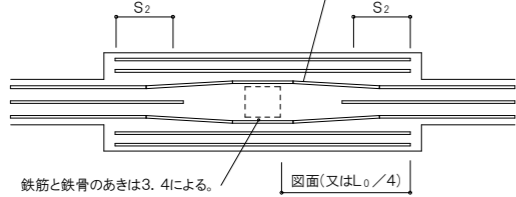
###### (a)交差部のスターラップを設ける場合は、図面による。



3.13.3図 主筋の継手、定着及び余長(その3)

##### 3.13.4 梁形を設けない場合の基礎底版

###### (1)鉄骨造のBOX柱等が埋め込まれる場合の端部と中央部の断面の異なる場合



3.13.4図 主筋の継手、定着及び余長(その4)

#### 3.14 小梁及び片持梁の配筋要領

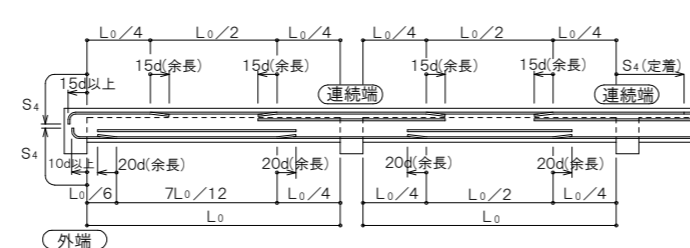
##### 3.14.1 一般事項

- 図面にない事項は大梁、梁のあばら筋、及び基礎梁の項に準ずる。
- 印は、余長位置を示す。

##### 3.14.2 小梁

梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長が取れない場合、斜めにしてもよい。

###### (1)連続小梁の場合



3.14.1図 小梁主筋の継手、定着及び余長(その1)

###### (2)単独小梁の場合

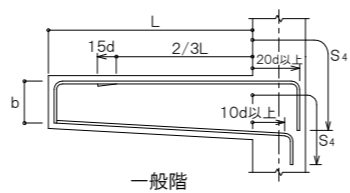


3.14.2図 小梁主筋の継手、定着及び余長(その2)

##### 3.14.3 片持梁筋の定着

###### (1)先端に小梁のない場合

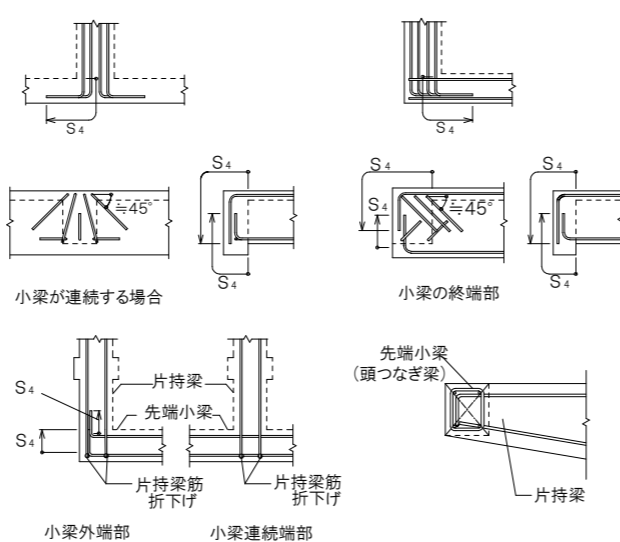
- 先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
- 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



3.14.3図 片持梁主筋の定着及び余長(先端に小梁がない場合)

###### (2)先端に小梁がある場合

- 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
- 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
- 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

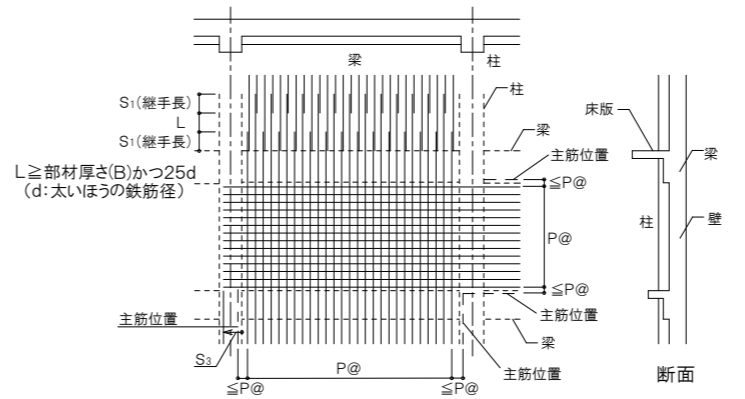


3.14.4図 片持梁主筋の定着

#### 3.15 壁の配筋要領

##### 3.15.1 一般事項

- 壁配筋の継手長さをS1、定着の長さは、S2とする。
- 土圧及び水圧などを受ける壁及び耐震壁として、図面に示されたものは、継手長さをS1、定着長さをS2とする。
- 幅止め筋は、縦、横ともD13-@1000mmを標準とする。
- 一般部壁筋は、3.15.1図によることとし、隣接する壁の鉄筋と重ね継手を設ける場合は、3.6項に従うものとする。



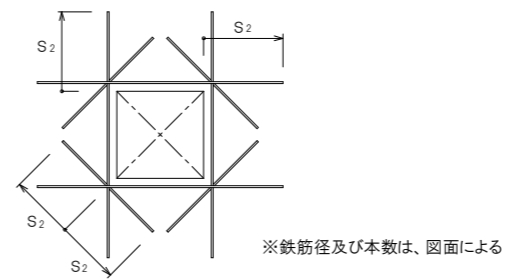
3.15.1図 壁の配筋

##### 3.15.2 耐震壁の開口

- 耐震壁等の開口は、図面以外は設けてはならない。
- やむを得ず開口をあける場合は、構造上安全であることを構造計算によって確認すること。

##### 3.15.3 壁開口部の補強

- 壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、3.15.2図を標準とする。



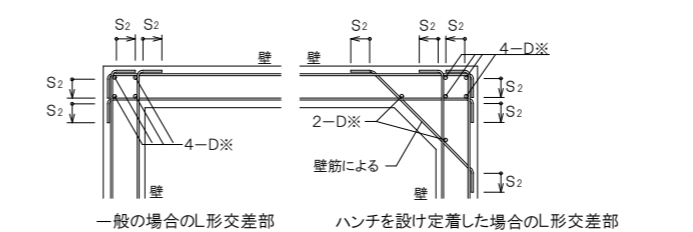
3.15.2図 壁開口部の補強要領

- 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

##### 3.15.4 壁の交差部及び端部

- 壁と壁の交差部は3.15.3図による。

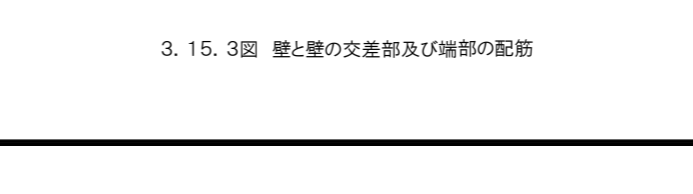
###### a. 交差部補強筋D※はD16以上、かつ壁配筋筋と同径とする。



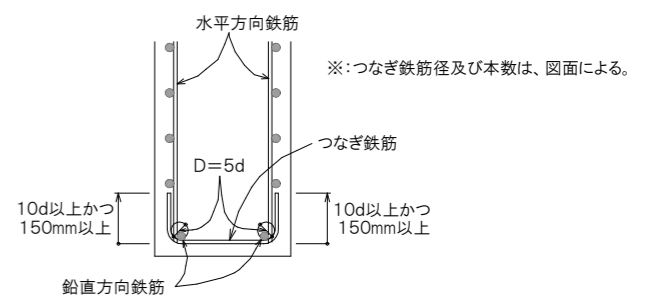
3.15.3図 壁と壁の交差部及び端部の配筋

- 壁と壁の交差部は3.15.3図による。

###### a. 交差部補強筋D※はD16以上、かつ壁配筋筋と同径とする。



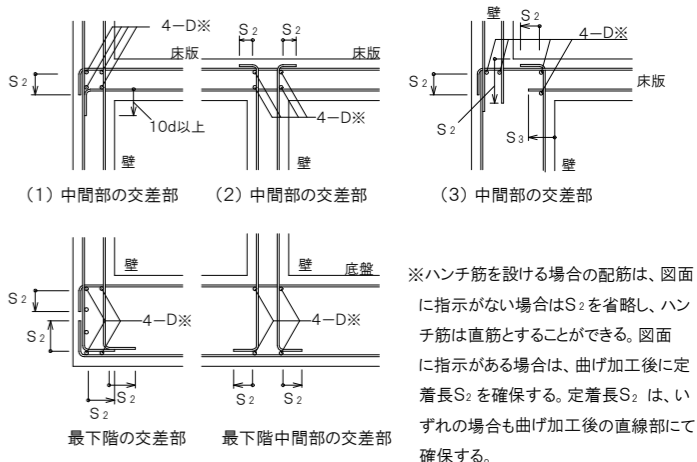
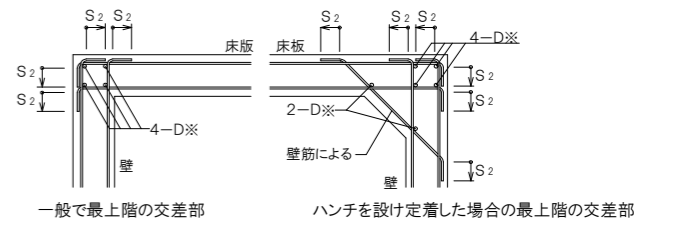
- 壁の端部は3.15.4図による。



3.15.4図 壁の端部配筋

- 壁と床版の交差部は3.15.5図による。

###### a. 交差部補強筋D※はD16以上、かつ壁配筋筋と同径とする。



3.15.5図 壁と床の交差部及び端部の配筋

※3.15.5図は、柱梁構造の場合である。地下階が壁式構造の場合は、構造細目共通図(土木構造物)(2)の「6.1.4 壁と床版・底版の交差部」を参照のこと。

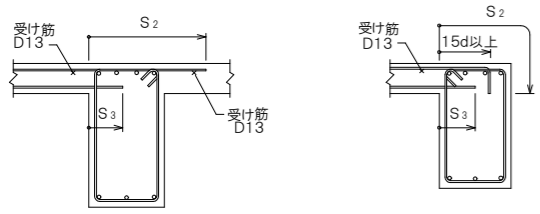
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	構造細目共通図(複合構造物)(4)	縮尺	-
検収年月	令和 年月	図面種別コード	Z299
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-4

### 3 土木工事

#### 3.18 床の配筋要領

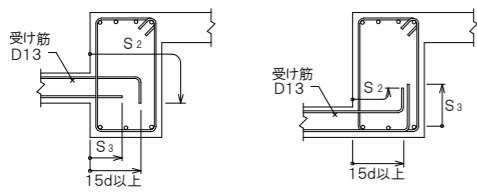
##### 3.18.1 一般事項

- 鉄筋の継手長さは、 $S_1$ とする。
- ラーメン構造の床版の定着長さ及び受け筋は、3.18.1図による。ただし、引き通すことができない場合は、3.18.2図、3.18.3図により梁内に定着する。なお、スラブ筋の場合は、3.18.1図～3.18.3図の定着長さ $S_2$ 、 $S_3$ を、 $S_4$ と読み替える。
- 基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。図面になければ3.20.5図による。



3.18.1図 床版筋の定着長さ及び受け筋(その1)

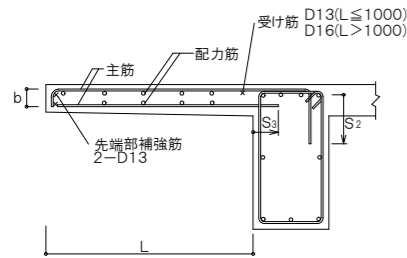
3.18.2図 床版筋の定着長さ及び受け筋(その2)



3.18.3図 床版筋の定着長さ及び受け筋(その3)

##### 3.18.2 片持床版

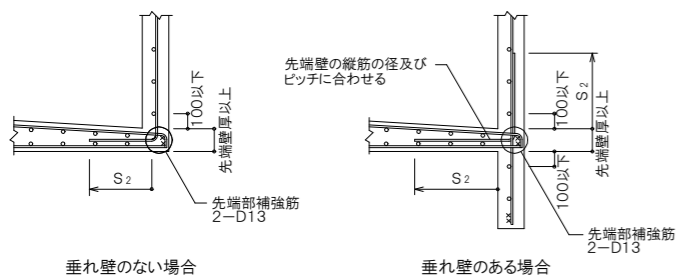
###### (1) 片持床版の配筋



※片持スラブの場合は、3.18.4図及び図3.18.5図の定着長さ $S_2$ 、 $S_3$ を、 $S_4$ と読み替える。  
 ※先端の折り曲げ長さは、片持部材の厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。  
 ※床版に段差のない場合は、主筋を引き通して床版またはスラブに定着してもよい。

3.18.4図 片持床版の配筋

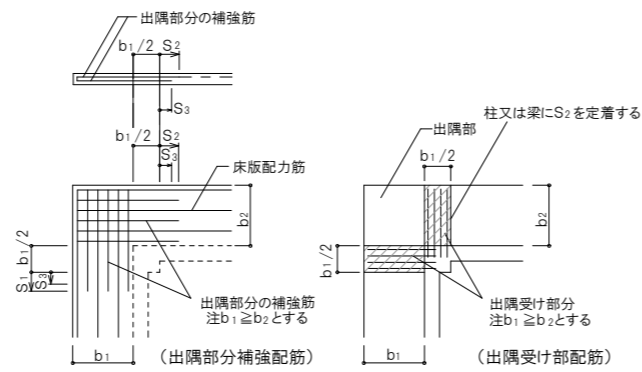
###### (2) 先端に小梁がなく壁が取り付け場合



3.18.5図 先端に壁が付く場合の配筋

#### 3.18.3 出隅部の配筋方法

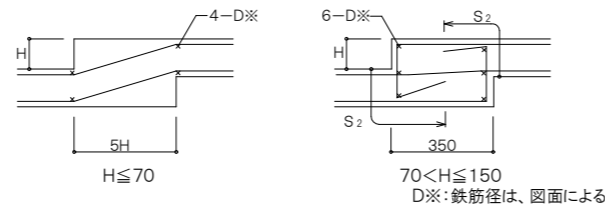
- 補強の配筋は図面による。配筋方法は、3.18.6図による。特記にない場合は、 $D13@100$ ダブル程度とする。
- 出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面(幅は $b_1/2$ とする)による。
- 片持スラブの場合は、3.18.6図の定着長さ $S_2$ 、 $S_3$ を、 $S_4$ と読み替える。



3.18.6図 片持床版出隅部の補強配筋

#### 3.18.4 段差床版の補強

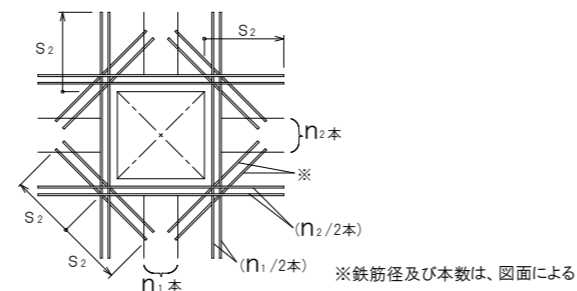
- 同一床版に段差がある場合、3.18.7図の補強を行う。ただし、 $H > 150$ の場合は、小梁を設ける事を原則とする。
- 段差スラブの場合は、3.18.7図の定着長さ $S_2$ 、 $S_3$ を、 $S_4$ と読み替える。



3.18.7図 段差のある床版の補強配筋

#### 3.18.5 床版及びスラブ開口部の補強

- 開口の最大径 $\leq 700$ の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する(3.18.8図)。開口の最大径 $> 700$ の場合は図面による。

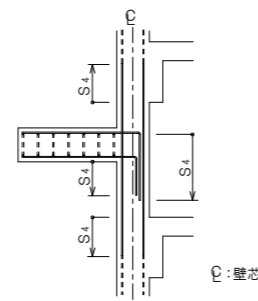


3.18.8図 床版及びスラブ開口部の補強配筋

- 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋を出来る場合は、補強筋を省略することができる。

#### 3.19 階段の配筋要領

- 壁配筋は、図面による。
- 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ降ろす。

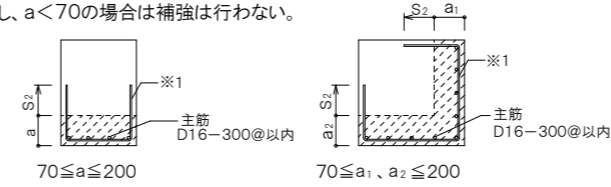


3.19.1図 片持スラブ形階段配筋の定着

#### 3.20 柱及び梁の増し打ち要領

##### 3.20.1 柱

- 増し打ちコンクリートの補強は、3.20.1図による。ただし、 $a < 70$ の場合は補強は行わない。

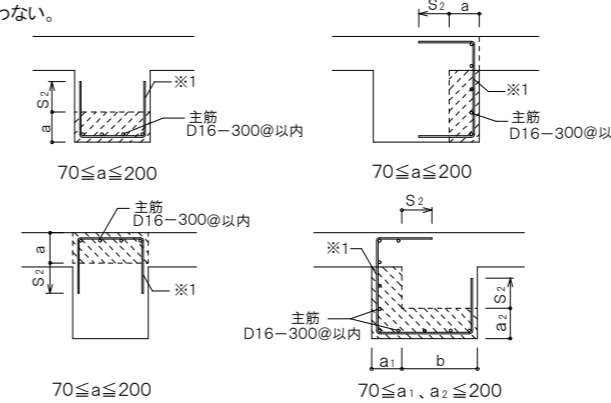


3.20.1図 柱の増し打ち補強配筋

- 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
- 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、 $S_2$ 以上とする。
- 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

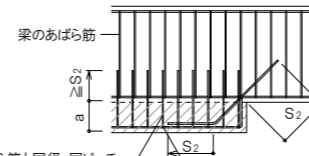
##### 3.20.2 梁

- 増し打ちコンクリートの補強は、3.20.2図による。ただし、 $a < 70$ の場合、補強は行わない。



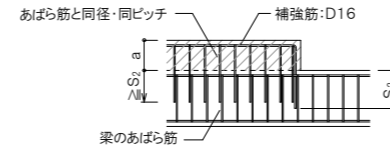
3.20.2図 梁の増し打ち補強配筋

- 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
- 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、 $S_2$ 以上とする。
- 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。
- 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合。



3.20.3図 梁の上下の増し打ち補強配筋(途中で終わる場合)

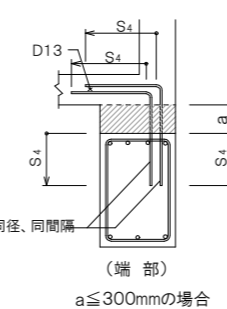
- 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合。



3.20.4図 梁の側面の増し打ち補強配筋(途中で終わる場合)

##### 3.20.3 土間スラブの打継ぎ補強

- 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合。

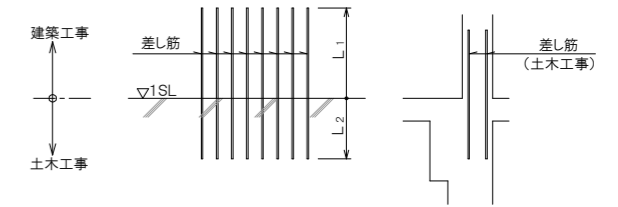


3.20.5図 土間スラブの打継ぎ補強配筋(ダブル)

#### 3.21 土木部分と建築部分の取り合い

##### 3.21.1 壁縦筋の取り合い

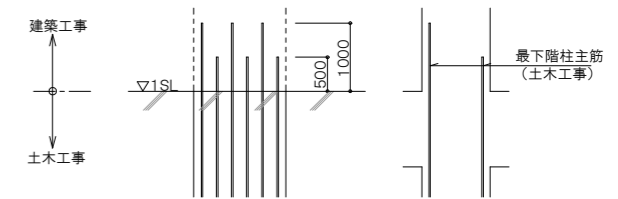
- 差し筋の仕様は建築工事仕様とする。(径は図面による)
- $L_1$ 及び $L_2$ は4.5.1表による。



3.21.1図 壁縦筋の取り合い差し筋

##### 3.21.2 柱主筋の取り合い

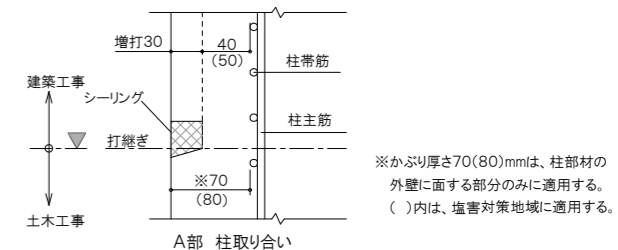
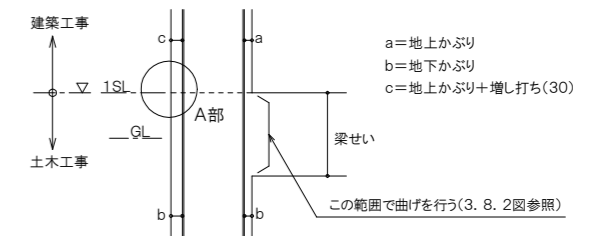
- 最上部の柱主筋は、1階建築部分の柱断面に応じ、3.21.2図の圧接位置まで延ばすこと。



3.21.2図 柱主筋の取り合い差し筋

##### 3.21.3 柱主筋かぶり厚の取り合い

- 土木工事の外壁に面する柱主筋のかぶり厚は、3.3.1表によらず、3.21.3図による。



3.21.3図 柱主筋かぶり厚の取り合い

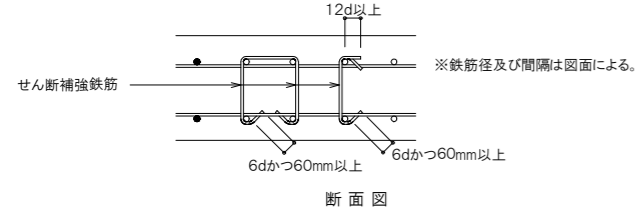
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	構造細目共通図(複合構造物) (5)	縮尺	-
検収年月	令和 年月	図面種別コード	Z299
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-5

### 3 土木工事

#### 3.23 せん断補強鉄筋

##### 3.23.1 底版、床版

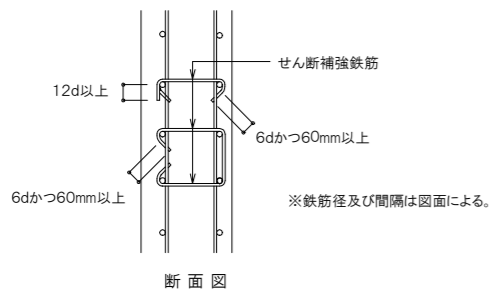
(1)底版、床版のせん断補強要領は3.23.1図及び3.23.3図による。



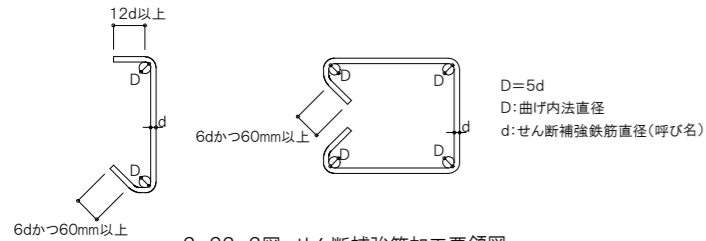
3.23.1図 底版、床版のせん断補強要領図

##### 3.23.2 壁

(1)壁のせん断補強要領は3.23.2図及び3.23.3図による。



3.23.2図 壁のせん断補強要領図

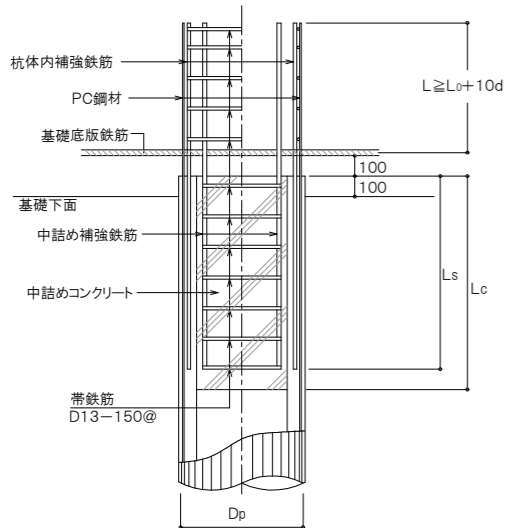


3.23.3図 せん断補強筋加工要領図

#### 3.24 杭基礎の補強

##### 3.24.1 一般事項

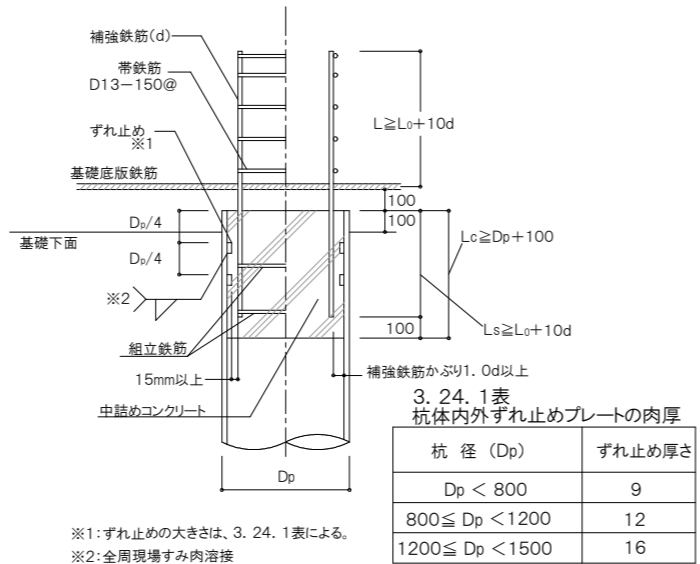
- 補強鉄筋にSD390またはSD490を用いる場合、中詰めコンクリート及び補強鉄筋が定着する基礎底版コンクリートの設計基準強度を30N/mm<sup>2</sup>以上とする。
- 鉄筋種別、径・本数は、図面による。
- 杭基礎の補強鉄筋の定着長L<sub>o</sub>は、主筋の材質がSD345およびSD390では35d以上、SD490では41d以上とする。
- 杭頭補強鉄筋が底版厚より長くなる場合は、3.24.6図による。
- 杭体内補強鉄筋は必要に応じ配置する。



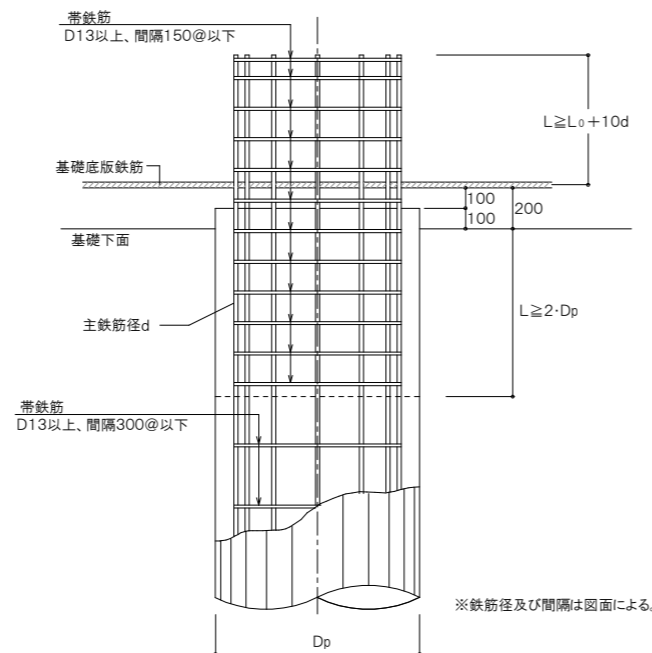
3.24.1図 PHC杭の杭頭補強

杭頭処理形態	Type B	
カットオフする場合	鉄筋	L <sub>s</sub> ≥ 50φ + L <sub>o</sub> + 10d
	コンクリート	L <sub>c</sub> ≥ 2.5D <sub>p</sub> + 100、かつ50φ + L <sub>o</sub> + 10d + (かぶり100)
カットオフしない場合	鉄筋	L <sub>s</sub> ≥ L <sub>o</sub> + 10d
	コンクリート	L <sub>c</sub> ≥ 2.5D <sub>p</sub> + 100、かつL <sub>o</sub> + 10d + (かぶり100)

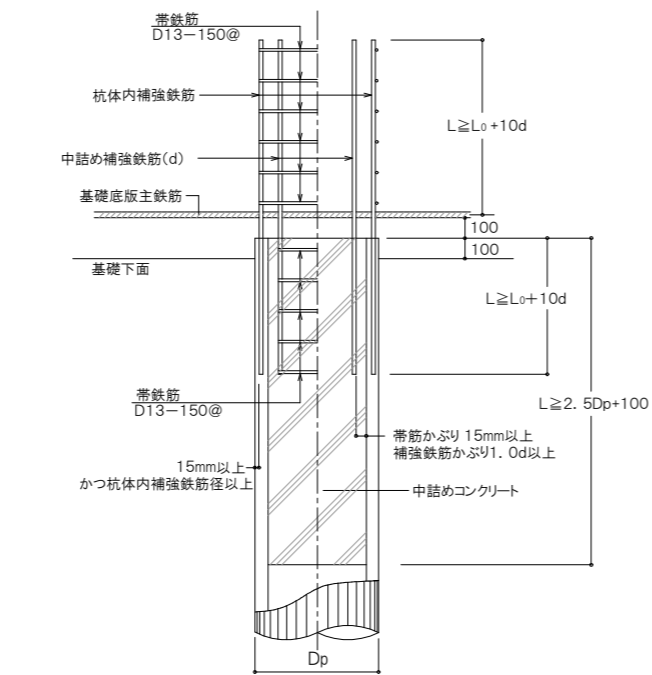
注1. φは、PC鋼材径とする。



3.24.2図 鋼管杭の杭頭補強



3.24.3図 場所打ち杭の杭頭補強

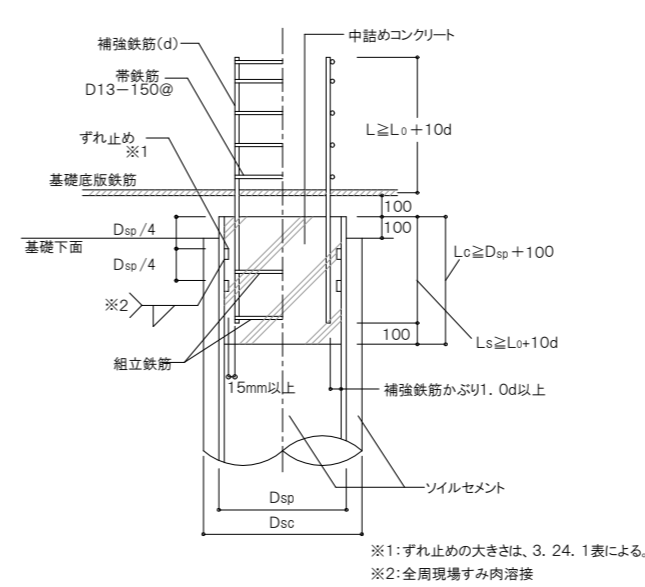


3.24.4図 SC杭の杭頭補強

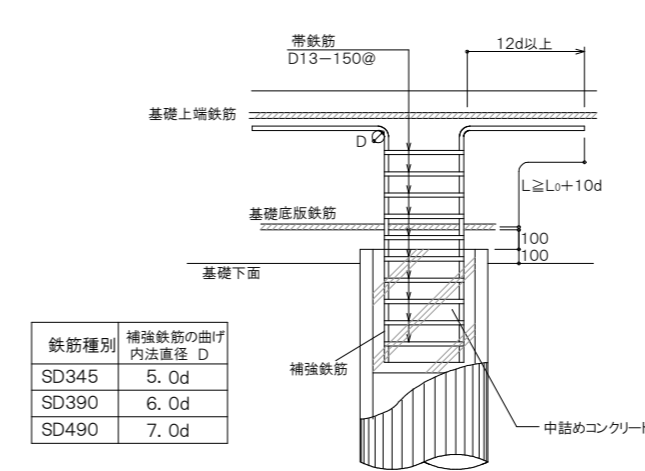
3.24.1表 杭体外外れ止めプレートの肉厚

杭径(D <sub>p</sub> )	ずれ止め厚さ
D <sub>p</sub> < 800	9
800 ≤ D <sub>p</sub> < 1200	12
1200 ≤ D <sub>p</sub> < 1500	16

※1:ずれ止めの大きさは、3.24.1表による。  
※2:全周現場すみ肉溶接  
※材質はSS400



3.24.5図 鋼管ソイルセメント杭の杭頭補強



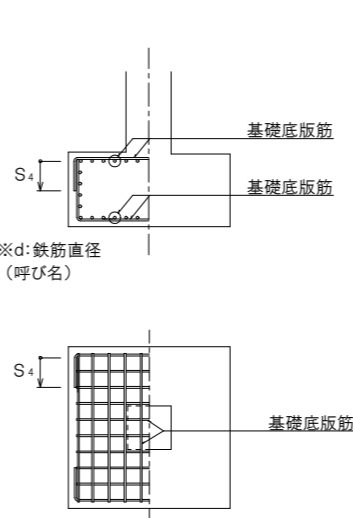
3.24.6図 杭頭補強筋が底版厚より長くなる場合の杭頭補強

鉄筋種別	補強鉄筋の曲げ内法直径 D
SD345	5.0d
SD390	6.0d
SD490	7.0d

#### 3.25 独立基礎の補強

##### 3.25.1 フーチングの補強

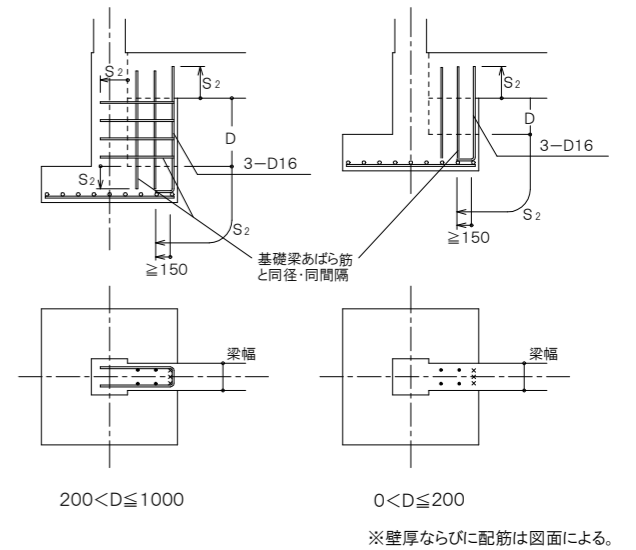
(1)補強方法は図面による。



3.25.1図 独立基礎の補強配筋

(2)基礎底版筋の配筋は、図面による。

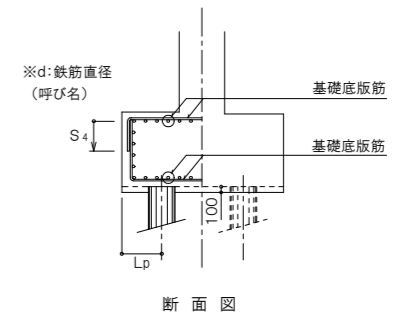
##### 3.25.2 基礎接合部の補強



3.25.2図 基礎接合部の補強配筋

##### 3.25.3 杭基礎の場合のフーチング配筋方法

- 杭基礎の場合のフーチング配筋方法は、3.25.3図とする。
- 杭頭処理の方法は、3.24項に基づくものとする。
- 杭芯とフーチング外端面との距離(L<sub>p</sub>)は、場所打ち杭、打込み杭、埋め込み杭は1.0D(Dは杭径)以上とする。



3.25.3図 杭基礎の場合のフーチング配筋方法

施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	構造細目共通図(複合構造物)(6)	縮尺	-
検収年月	令和 年月	図面種別コード	Z299
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-6

### 3 土木工事

#### 3.26 耐震補強

##### 3.26.1 適用範囲

- (1)本構造細目共通図は、下水道施設における処理場、ポンプ場の土木構造物の耐震補強に適用する。  
 (2)図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づきものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

1)土木工事特記仕様書	日本下水道事業団	(別紙による。)
2)土木工事必携	日本下水道事業団	(令和6年版)
3)コンクリート標準示方書・施工編	土木学会	(2023年版)
4)コンクリート標準示方書・構造性能照査編	土木学会	(2002年版)
5)官庁施設の総合耐震診断・改修基準及び同解説	建築保全センター	(平成8年版)
6)鉄筋定着・継手指針	土木学会	(2020年版)
7)2017年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針・同解説	日本建築防災協会	(2017年版)
8)あと施工アンカー連続繊維補強設計・施工指針	国土交通省	(2006年版)

##### 3.26.2 鉄筋の仕様及び継手

鉄筋の種類及び継手は3.26.1表による。

3.26.1表 鉄筋の種類及び継手

種別	径	
鉄筋の種類	※SD345	※D13以上
鉄筋の継手	重ね継手	下記以外
	※1)ガス圧接	・D19以上の柱、梁主鉄筋 ・D16以上の増設端の床・壁鉄筋
	フレア溶接	・D13以上
	機械式継手	・図面による

※1)既存の鉄筋種別がSR235、295及びSD295Aの場合は、SD材との継手にガス圧接を使用してはならない。

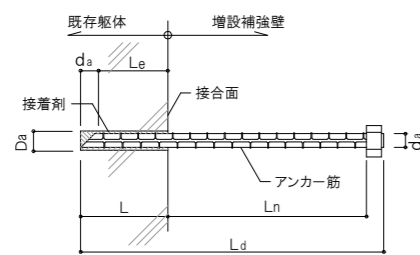
##### 3.26.3 鉄筋の継手長及び定着長

SD345以外の鉄筋との継手長・定着長については図面による。

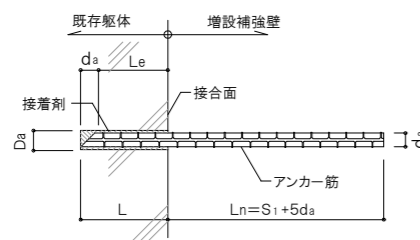
##### 3.26.4 あと施工アンカー(接着系)

- (1)アンカー径は、D13以上、D22以下とする。  
 (2)アンカーの打設は、増設壁が接合する四周の柱、梁を行うことを原則とする。  
 (3)アンカーの埋め込み・定着長さを3.26.2表に示す。

(ナット付き)



(ナットなし)



L:コンクリートの穿孔深さ、または接着系アンカーの埋め込み長さ  
 L<sub>e</sub>:アンカーの有効埋め込み長さ  
 L<sub>d</sub>:アンカー筋の全長  
 L<sub>n</sub>:有効定着長さ  
 D<sub>a</sub>:既存コンクリート躯体への穿孔径  
 d<sub>a</sub>:アンカー軸部の直径、アンカー筋の呼び名  
 S<sub>1</sub>:補強筋との継手長

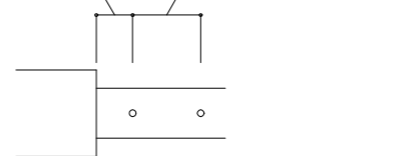
3.26.1図 あと施工アンカー埋め込み・定着図

3.26.2表 あと施工アンカー埋め込み・定着長さ

区分	位置	用途	長さ	備考
有効埋め込み長 (L <sub>e</sub> )	一般部	曲げモーメント	12・d <sub>a</sub>	先端形状45° カット
		せん断力	7・d <sub>a</sub>	
	開口補強部	曲げモーメント	12・d <sub>a</sub>	
		せん断力	10・d <sub>a</sub>	
有効定着長 (L <sub>n</sub> )	一般部	-	20・d <sub>a</sub>	ナットあり
	開口補強部	-	S <sub>1</sub> + 5・d <sub>a</sub>	ナットなし

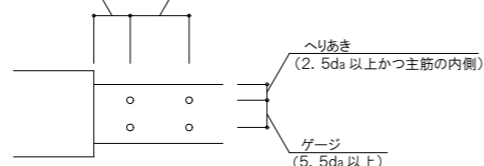
(あと施工アンカーの位置と間隔)

はしあき (5d<sub>a</sub>以上)      ピッチ (7・5d<sub>a</sub>以上かつ300mm以下)



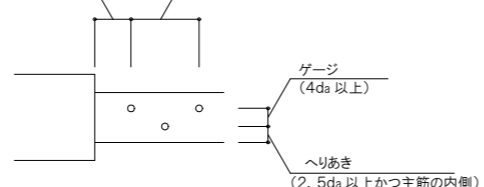
(a)シングル配置

はしあき (5d<sub>a</sub>以上)      ピッチ (7・5d<sub>a</sub>以上かつ300mm以下)

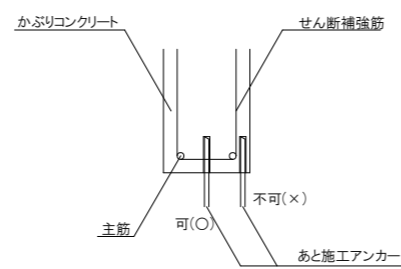


(b)ダブル配置

はしあき (5d<sub>a</sub>以上)      ピッチ (7・5d<sub>a</sub>以上かつ300mm以下)



(c)千鳥状配置

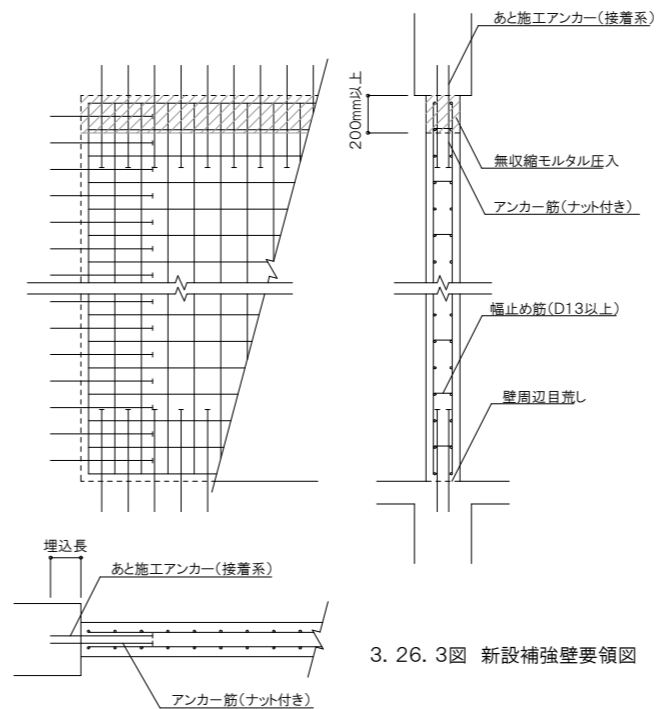


(d)断面配置

3.26.2図 あと施工アンカー配置図

##### 3.26.5 新設補強壁

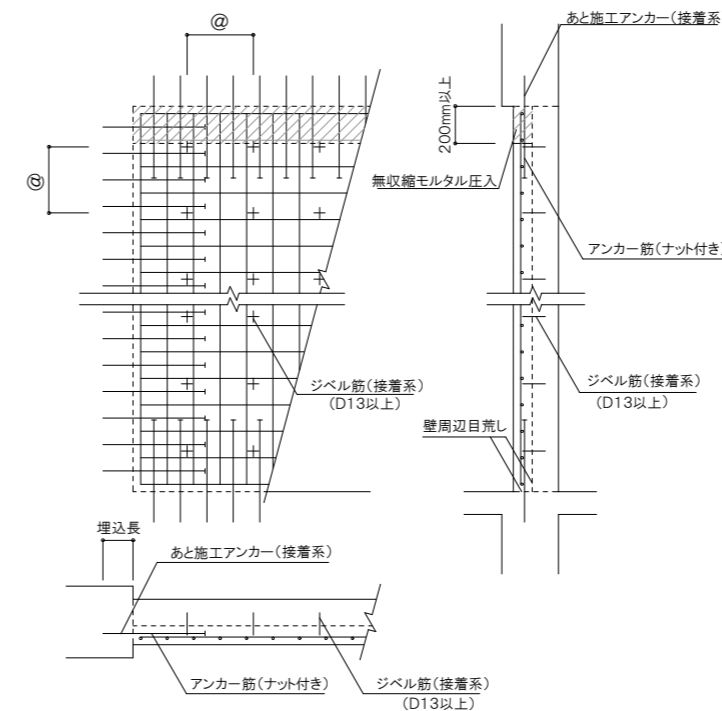
- (1)新設補強壁の配筋は3.26.3図を標準とする。  
 (2)新設部と接する既存の壁面には目荒しを施す。  
 (3)あと施工アンカーは接着系とし、開口補強部を除き、アンカー筋はナット付きとする。  
 (4)新設壁の頂部200mm以上は、無収縮モルタル圧入とする。



3.26.3図 新設補強壁要領図

##### 3.26.6 増打ち補強壁ほか

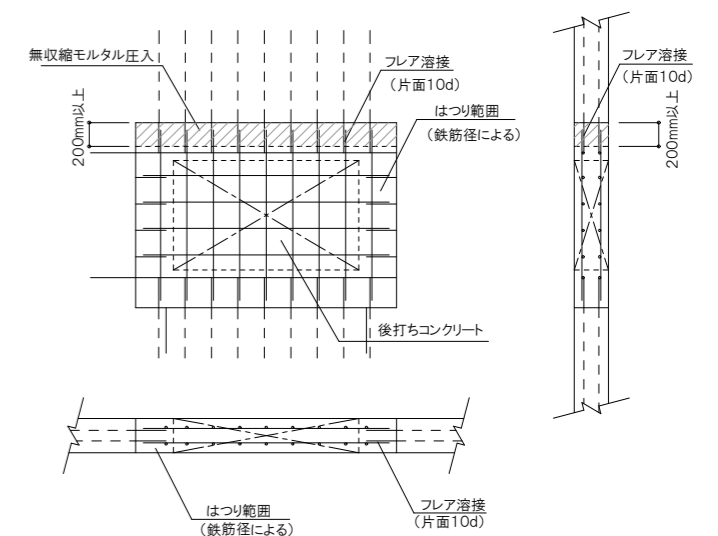
- (1)増打ち補強壁の配筋は3.26.4図を標準とする。  
 (2)あと施工アンカーは接着系とし、開口補強部を除き、アンカー筋はナット付きとする。  
 (3)増打ち部と接する既存の壁面を目荒しするほか、新旧の壁面にジベル筋を設けるものとし、配置間隔は図面による。  
 (4)増打ち壁の頂部200mm以上は、無収縮モルタル圧入とする。  
 (5)梁下端部や垂れ壁下端部の施工では、コンクリートのブリーディングや沈下を考慮して、打継目が一体となるように留意する。



3.26.4図 増打ち補強壁要領図

##### 3.26.7 開口閉塞

- (1)既存壁と増設壁との接合は、開口周囲のコンクリートをはつり、鉄筋同士をフレア溶接で行う。  
 (2)閉塞部分が既存梁、柱と接する部位は全てあと施工アンカーで接合する。  
 (3)閉塞部分の頂部200mm以上は、無収縮モルタル圧入とする。

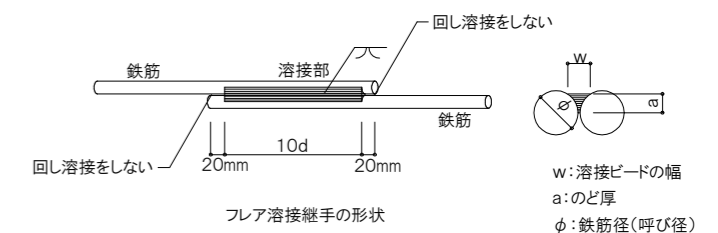


はつり範囲例 mm	
壁の鉄筋径	はつり幅
D13	200
D16	200
D19	300
D22	300
D25	300

3.26.5図 開口閉塞要領図

##### 3.26.8 フレア溶接

- (1)特記なき鉄筋のフレア溶接の継手形状を3.26.6図に示す。(詳細は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」(土木学会)による。)  
 (2)継手長さは鉄筋径の10倍とし、回し溶接は行わない。



3.26.6図 フレア溶接継手形状

施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	構造細目共通図(複合構造物)(7)	縮尺	-
検収年月	令和 年 月	図面種別コード	Z299
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-7

## 4 建築工事

### 4.1 鉄筋の折曲げ加工

鉄筋の折曲げ加工は、4.1.1表を標準とする。  
 (1)Dは、折曲げ内法直径を示す。  
 (2)dは、鉄筋直径(呼び名)を示す。

4.1.1表 鉄筋の折曲げ形状及び寸法(末端部)

曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径(D)		使用箇所
		SD295, SD345 D16以下	D19 ~D38	
180°		3d以上	4d以上	柱、梁の主筋 D16以上の鉄筋
135°		3d以上	4d以上	D13以下の鉄筋 あばら筋、帯筋、スパイラル筋
90°		3d以上	4d以上	T形及びL形の梁の あばら筋
135° 90°		3d以上	4d以上	幅止め筋

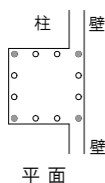
(注)1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。  
 2. 90°未満の折曲げの内法直径は図面による。

### 4.2 異形鉄筋の末端部

異形鉄筋の末端部には、4.2.1表によりフックを設ける。

4.2.1表 フックを設ける位置

部位	継手方式		備考
	重ね継手	圧接継手	
柱	四隅の主筋	—	1)最上階の柱頭部 4.2.1 図の●印 4.7.1 図参照
	上下階の柱断面が異なる場合	—	1)下階の柱主筋を引き通すことができない柱頭部 4.2.1 図の●印 4.7.2 図参照
	帯筋(HOOP)	1)末端部 2)継手部	1)末端部
梁	あばら筋(STP)	1)末端部 2)継手部	1)末端部 4.11.1
煙突の鉄筋	1)末端部 2)継手部	1)末端部	壁の一部となる場合を含む図参照
幅止め筋	—	—	4.1.1 表参照

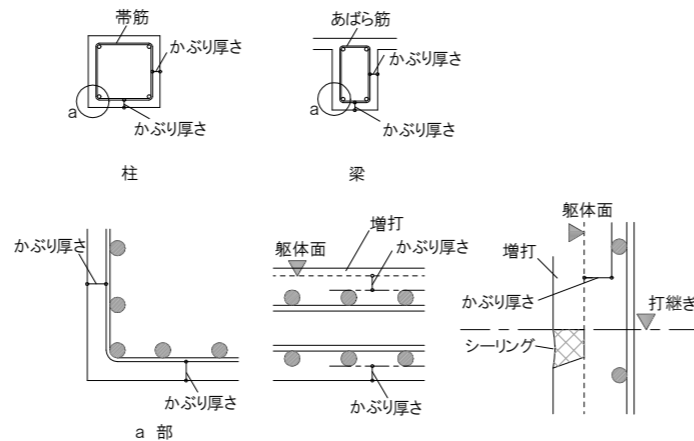


4.2.1図 異形鉄筋の末端部

### 4.3 鉄筋のかぶり及び間隔

#### 4.3.1 かぶり厚さ

かぶり厚さは、一番外側の鉄筋(幅止め筋、組立筋を除く)の外側から躯体面までの距離(4.3.1図)をいう。  
 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚さに許容施工誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。



4.3.1図 鉄筋のかぶり厚さ

#### 4.3.2 最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、4.3.1表による。  
 (1)床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。  
 (2)柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保して最小かぶり厚さを定める。  
 (3)溶接金網にも適用する。

4.3.1表 鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)

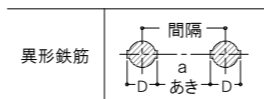
構造部分の種類	塩害区分	塩害対策を必要とする場合	
		※通常の施工の場合	塩害対策を必要とする場合
一般	床、耐力壁以外の壁	30	40
	柱、梁、耐力壁	40	50
	底版	40	50
土、水に接する部分	柱、梁、床、壁	40	50
	底版、基礎	60	70
	煙突等高温を受ける部分	60	70

1:打継目地部分は目地底より最小かぶり厚さを確保する。  
 2:仕上なしの場合を標準とする。

### 4.4 鉄筋相互のあき及び間隔

鉄筋相互のあきは、下記の最大値のもの以上とする。ただし、機械式継手及び溶接継手のあきは、図面による。

- 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- 最小のあき25mm
- 異形鉄筋の直径(呼び径)の1.5倍以上



(注)D:鉄筋の最大径 d:鉄筋直径(呼び名)

4.4.1図 鉄筋のあき

4.4.1表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径 d	最大径 D	鉄筋相互のあき:a			最小鉄筋芯間隔 a+D
		(1)粗骨材径×1.25	(2)最小あき	(3)鉄筋径×1.5	
D10	11	32mm 粗骨材最大径25mmの場合	25mm	15mm	43mm
D13	14			20mm	46mm
D16	18			24mm	50mm
D19	21			29mm	53mm
D22	25			33mm	58mm
D25	28			38mm	66mm
D29	33	44mm	77mm		

### 4.5 鉄筋の継手及び定着

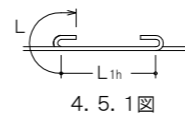
#### 4.5.1 鉄筋の重ね継手

- 鉄筋の重ね継手及び定着の長さは、4.5.1表による。
- 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
- 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40dとする。ただし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。

4.5.1表 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm <sup>2</sup> )	L <sub>1</sub> (フックなし)		L <sub>1h</sub> (フックあり)	
		小梁	スラブ	小梁	スラブ
SD295	24 27	35d	35d	25d	25d
	30	35d	35d	25d	25d
SD345	24 27	40d	40d	30d	30d
	30	35d	35d	25d	25d

(注)1. L<sub>1</sub>、L<sub>1h</sub>:フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ  
 2. フックありの場合のL<sub>1h</sub>は、4.5.1図に示すようにフック部分Lを含まない。



4.5.1図

#### 4.5.2 継手の特記事項

- 継手は、極力応力の小さい位置に設ける。

#### 4.5.3 鉄筋の定着

- 鉄筋の定着の長さは、4.5.2表による。

4.5.2表 鉄筋の定着の長さ

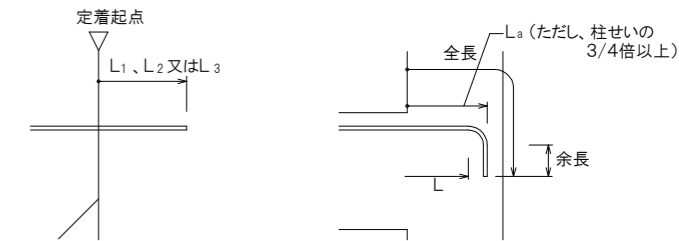
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm <sup>2</sup> )	フックなし				フックあり			
		L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>		L <sub>1h</sub>	L <sub>2h</sub>	L <sub>3h</sub>	
				小梁	スラブ			小梁	スラブ
SD295	24, 27	35d	30d	20d	10d かつ 150mm 以上	25d	20d	10d	—
	30	35d	30d			25d	20d		
SD345	24, 27	40d	35d	20d	150mm 以上	30d	25d	10d	—
	30	35d	30d			25d	20d		

(注)1. L<sub>1</sub>、L<sub>1h</sub>:2. 以外の直線定着の長さ及びフックありの長さ  
 2. L<sub>2</sub>、L<sub>2h</sub>:割裂破壊の恐れのない個所への直接定着の長さ及びフックありの定着の長さ  
 3. L<sub>3</sub>:小梁及びスラブの下端筋の直筋の直線定着長さ(基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。)  
 なお、片持小梁及び片持スラブの場合は20d及び10dを25d以上とする。  
 4. L<sub>3h</sub>:小梁の下端筋のフックあり定着の長さ  
 5. フックありの定着の場合は、4.5.2図(イ)に示すようにフック部分bを含まない。  
 また中間部での折曲げは行わない。

#### 4.5.4 定着の方法

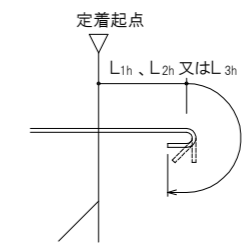
定着の方法は4.5.2図による。  
 なお、(ロ)折曲げ定着の梁主筋の柱内折曲げ定着において、仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さLが、4.5.2表のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を4.5.2表に示すフックなし定着長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを4.5.3表に示す長さのみ込ませる。

(注)1. L<sub>a</sub>、L<sub>b</sub>は、4.5.3表の鉄筋の投影定着長さを示し、下記の条件を満たすものとする。  
 ・梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せい/3以上  
 ・小梁主筋の大梁内定着においては、原則として大梁幅の1/2倍以上  
 ・スラブの梁内定着においては、原則として梁幅の1/2倍以上

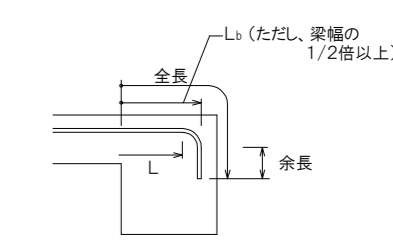


フックなし

梁主筋の柱内曲げ定着



フックあり



小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着

(イ)直線定着

(ロ)折曲げ定着

4.5.2図 定着の方法

4.5.3表 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm <sup>2</sup> )	L <sub>a</sub>	L <sub>b</sub>
SD295	24 27	15d	15d
	30	15d	15d
SD345	24 27	20d	15d
	30	15d	15d

(注)1. L<sub>a</sub>:梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ  
 (基礎梁、片持ちスラブを含む。)  
 2. L<sub>b</sub>:小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ  
 (片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)

施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	構造細目共通図(複合構造物)(8)		縮尺 -
検収年月	令和 年月	図面種別コード	Z299
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-8

## 4 建築工事

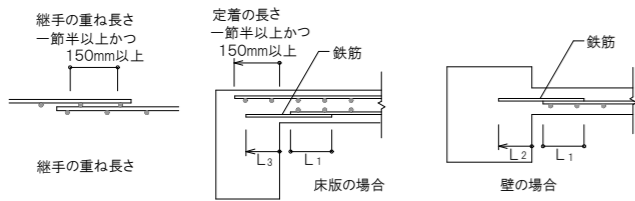
### 4.5.5 隣り合う継手の位置及び定着

- (1)隣り合う継手の位置は、4.5.4表により、a寸法を守ること。  
ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。

4.5.4表 隣り合う継手の位置

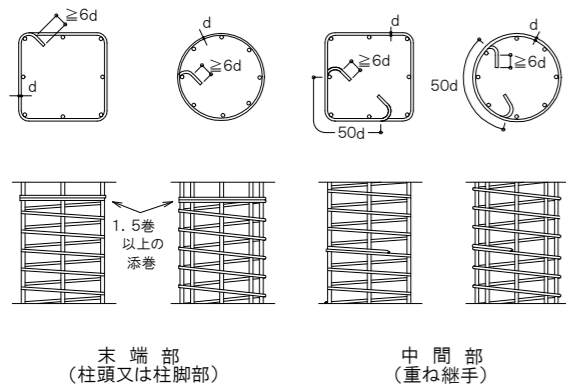
重ね継手	フック有りの場合		$a = 0.5L_{1h}$	$a \geq 0.5L_{1h}$
	フックなしの場合		$a = 0.5L_1$	$a \geq 0.5L_1$
圧接継手			$a \geq 400\text{mm}$	

- (2)溶接金網の継手及び定着は、4.5.3図による。



4.5.3図 溶接金網の継手及び定着要領

- (3)スパイラル筋の継手及び定着



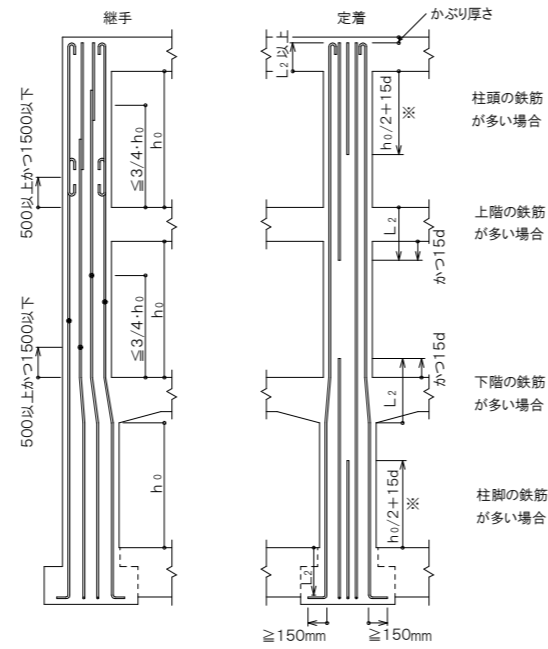
4.5.4図 スパイラル筋の継手及び定着要領

## 4.6 (欠番)

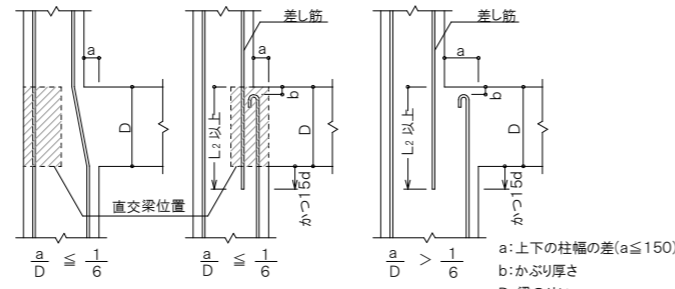
## 4.7 柱筋の継手及び定着

### 4.7.1 隣り合う継手の位置及び定着

- (1)継手長さは $L_1$ とし、定着及び余長は、4.7.1図による。  
(2)柱頭定着長さ $L_2$ が確保出来ない場合は、図面による。  
(3)上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、4.7.2図による。  
(4)柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から500mm以上、1500mm以下かつ $3/4h$  ( $h$ は柱の内法高さ)以下とする。  
(5)※鉄筋のカットオフの位置及び長さは図面による。



4.7.1図 柱主筋の継手、定着及び余長

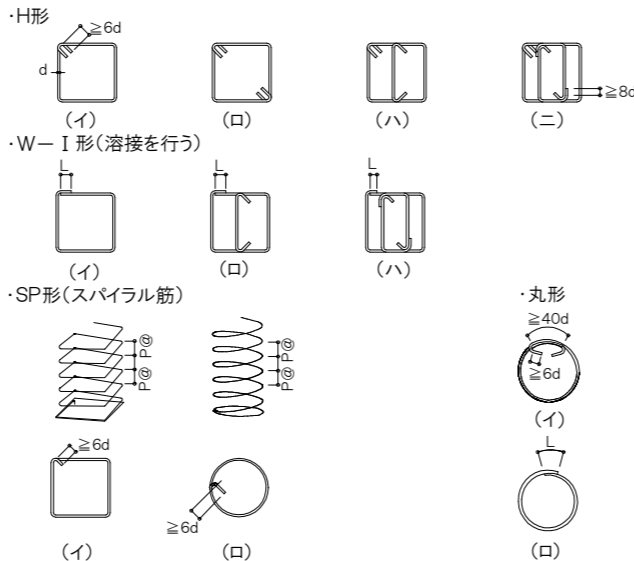


4.7.2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

## 4.8 帯筋

### 4.8.1 帯筋の形状

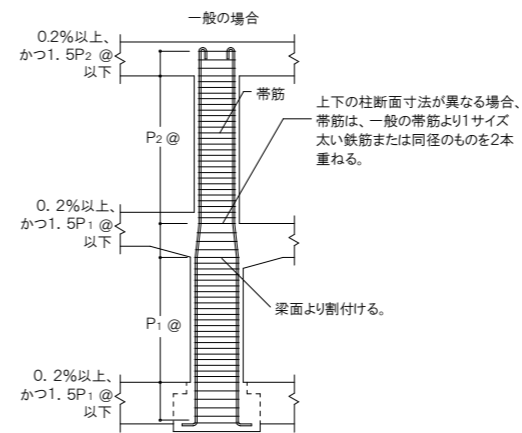
- (1)帯筋の形状は、4.8.1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。  
(a)H形を標準とする。  
(b)H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。  
(c)溶接する場合の溶接長さ $L$ は、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。  
(d)SP形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。



4.8.1図 帯筋組立の形

## 4.9 帯筋の割付け

- (1)フック及び継手の位置は交互とする。  
(2)帯筋の割付けは、4.9.1図による。ただし、図面にある場合は図面による。  
(3)柱、梁の交差部(パネルゾーン)の帯筋のせん断補強比は、0.2%以上を確保し、補強筋間隔 $\leq 1.5P$ とする。



4.9.1図 帯筋の割付け

柱、梁の交差部の配筋例(0.2%確保)

柱幅(mm)	パネルゾーン
$\leq 500$	D10 @ 125
$\leq 600$	D10 @ 100
$\leq 700$	D10 @ 100
$\leq 800$	D13 @ 150
$\leq 900$	D13 @ 125
$\leq 1000$	D13 @ 125
$\leq 1100$	D13 @ 100
$\leq 1200$	D13 @ 100

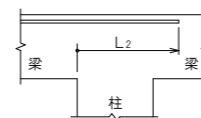
※1.5P<sub>1</sub>、1.5P<sub>2</sub>のピッチは150mm以下とする。

## 4.10 大梁筋の継手及び定着

### 4.10.1 大梁(基礎梁以外の大梁に限る)主筋の継手、定着及び余長

- (1)大梁主筋の継手及び定着の一般事項

- a. 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことが出来ない場合は、b.により柱内に定着することができる。  
ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、4.10.1図による。

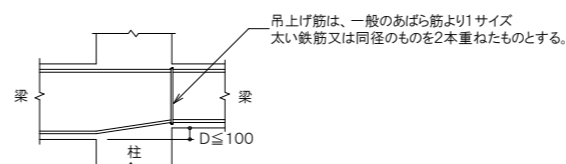


4.10.1図 梁主筋の梁内定着

- b. 梁主筋を、柱内に折曲げて定着する場合は次による。

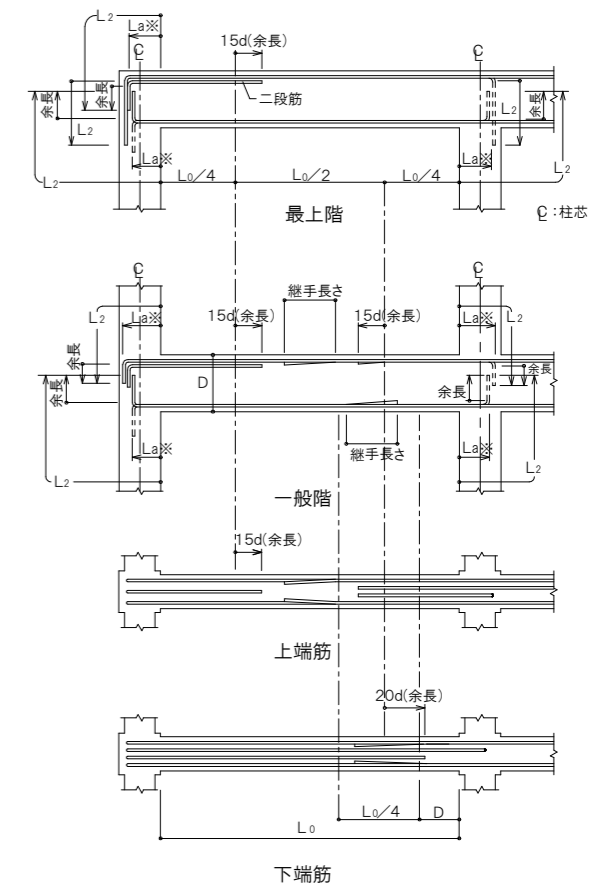
- なお、定着の方法は、4.5.4による。  
上端筋:曲げ下ろす。  
下端筋:原則として曲げ上げる。

- c. 段違い梁は4.10.2図による。



4.10.2図 段違い梁

### 4.10.2 ハンチのない場合

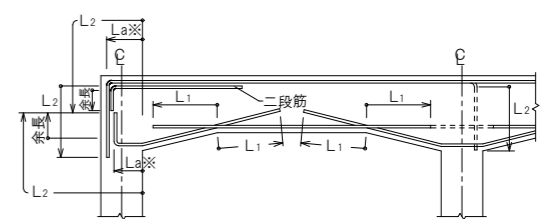


- (注)1. 継手中心位置は次による。  
上端筋:中央 $L_0/2$ 以内  
下端筋:柱面より梁せい(D)以上離し、 $L_0/4$ を加えた範囲以内  
2. 4.2 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋には、フックを付ける。  
3. 印は、継手及び余長を示す。  
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。  
※  $L_{al}$ は、原則として、4.5.3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。  
5. 梁筋カットオフ位置及び余長は図面による。

4.10.3図 大梁の重ね継手、定着及び余長

### 4.10.3 ハンチのある場合

- (1)最上階の場合



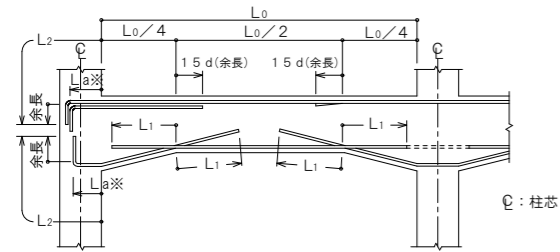
※  $L_{al}$ は、原則として、4.5.3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4.10.4図 ハンチのある大梁の定着及び余長(最上階)

施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	構造細目共通図(複合構造物)(9)	縮尺	-
検収年月	令和 年月	図面種別コード	Z299
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-9

4 建築工事

(2) 一般階の場合

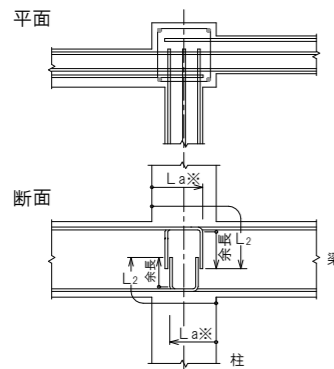


4.10.5図 ハンチのある大梁の定着及び余長（一般階）

- (注) 1. 4.2 異形鉄筋の末端部に定めた鉄筋には、フックを付ける。  
 2. 印は、継手及び余長を示す。  
 3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、-----のように引き通すことができる。  
 4. 破線は、梁内定着の場合を示す。  
 ※  $L_a$ は、原則として、4.5.3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。  
 5. 梁筋カットオフ位置及び余長は図面による。

4.10.4 水平段差のある場合

(1) 水平段差のある場合

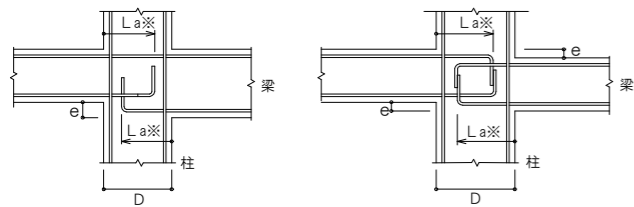


- ※  $L_a$ は、原則として、4.5.3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4.10.6図 大梁の定着及び余長（水平段差のある場合）

4.10.5 鉛直段差（e）のある場合

(1)  $e/D \leq 1/6$ の場合

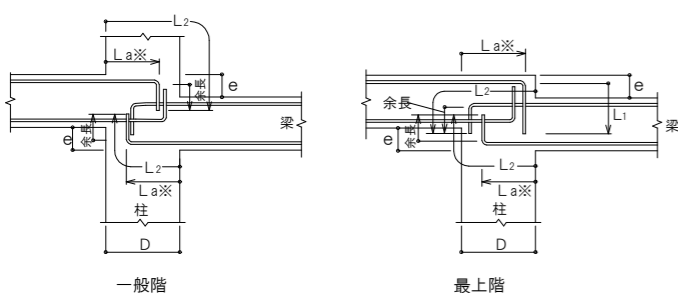


定着の長さは、4.10.2図に準ずる

- ※  $L_a$ は、原則として、4.5.3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4.10.7図 鉛直段差梁（その1）

(2)  $e/D > 1/6$ の場合



- ※  $L_a$ は、原則として、4.5.3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4.10.8図 鉛直段差梁（その2）

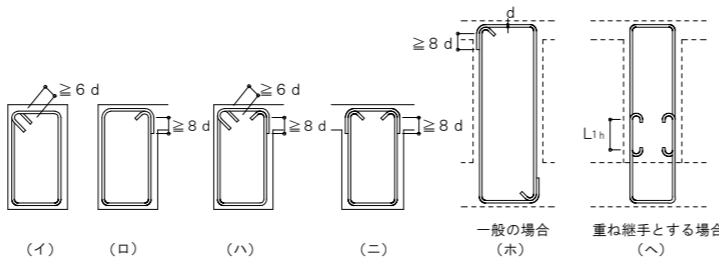
4.11 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

4.11.1 一般事項

- (1) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。  
 (2) 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、 $L_2$ とする。  
 (3) 土圧、水圧を受ける梁は、図面による。  
 (4) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1000mmピッチ程度とする。

4.11.2 あばら筋組立の形及びフックの位置

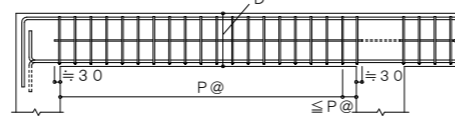
- (1) 形は、4.11.1図（イ）を標準とする。  
 ただし、（イ）によることが出来ない場合は、下記の方法による事が出来る。  
 a. 床版が片側に付く場合は、（ロ）又は（ハ）  
 b. 床版が両側に付く場合は、（ロ）～（ニ）  
 (2) フックの位置  
 a. （イ）の場合は交互とする。  
 b. （ロ）の場合 床版が片側に付く場合は床版の付く側 床版が両側に付く場合は交互  
 c. （ハ）の場合は床版の付く側を90°折曲げ、8d確保する。  
 d. （ホ）（ヘ）の場合は梁の上下にスラブが付く場合でかつ、梁せいが1.5m以上の場合に適用する事ができる。（基礎梁）



4.11.1図 あばら筋組立の形及びフックの位置

4.11.3 あばら筋の割付け

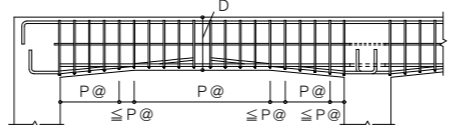
(1) 間隔が一樣でハンチのない場合



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割付ける。  
 2. 図中の $P$ は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

4.11.2図 あばら筋の割付け（その1）

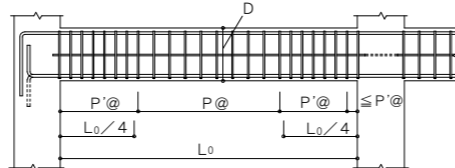
(2) 間隔が一樣でハンチのある場合



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置及びハンチに切り替わる位置から割付ける。  
 2. 図中の $P$ は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

4.11.3図 あばら筋の割付け（その2）

(3) 梁の端部で間隔の異なる場合



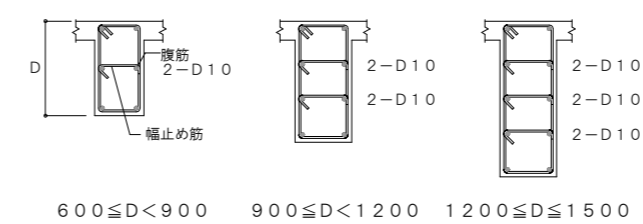
- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割付ける。  
 2. 図中の $P$ 、 $P'$ は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

4.11.4図 あばら筋の割付け（その3）

4.11.4 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁

a) 腹筋及び幅止め筋



4.11.5図 腹筋及び幅止め筋

(2) 特殊な梁

腹筋及び幅止め筋は、図面による。

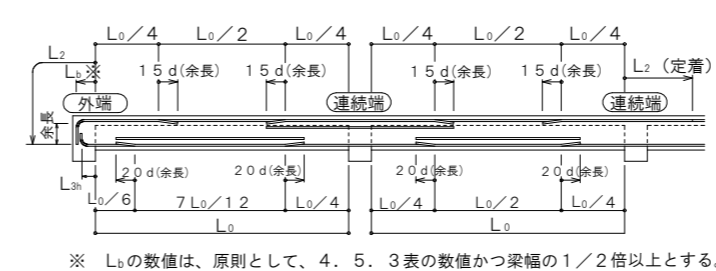
4.12 小梁及び片持梁の配筋要領

4.12.1 一般事項

- (1) 図面にない事項は大梁、梁のあばら筋の項に準ずる。  
 (2) 印は、継手及び余長を示す。

4.12.2 小梁

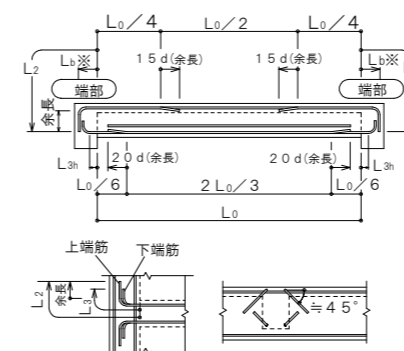
(1) 連続小梁の場合



- ※  $L_b$ の数値は、原則として、4.5.3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

4.12.1図 小梁主筋の継手、定着及び余長（その1）

(2) 単独小梁の場合



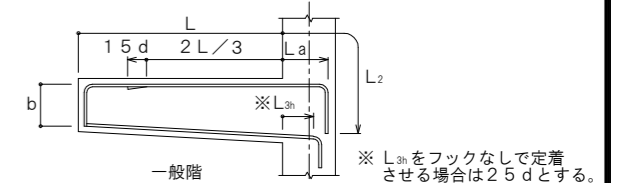
4.12.2図 小梁主筋の継手、定着及び余長（その2）

- (注) 1. 印は、継手及び余長を示す。  
 2. 梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。  
 ※  $L_b$ は、原則として、4.5.3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

4.12.3 片持梁筋の定着

(1) 先端に小梁のない場合

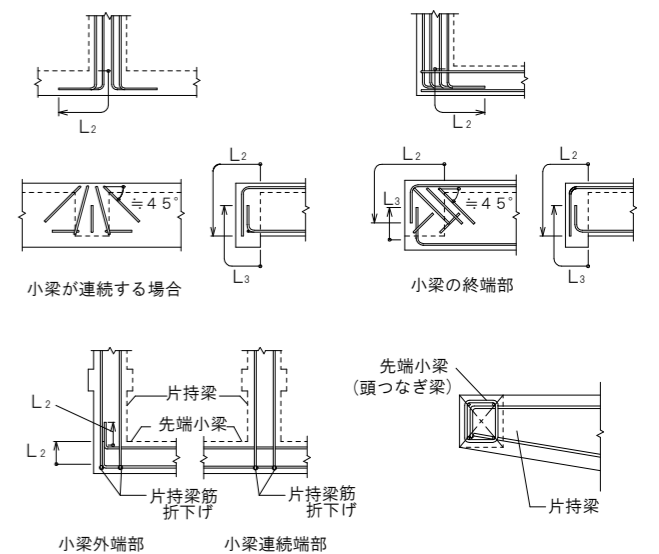
- a. 先端の折曲げの長さ  $b$ は、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。  
 b. 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



4.12.3図 片持梁筋の定着及び余長（先端に小梁のない場合）

(2) 先端に小梁がある場合

- a. 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。  
 b. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。  
 c. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。



4.12.4図 片持梁筋の定着

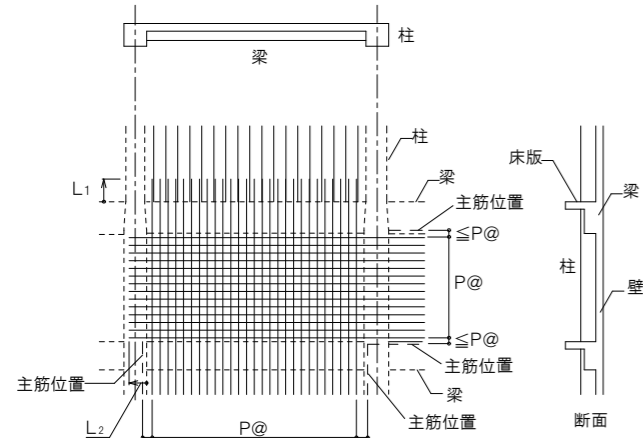
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	構造細目共通図（複合構造物）(10)	縮尺	-
検収年月	令和 年月	図面種別コード	Z299
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-10

## 4 建築工事

### 4.13 壁の配筋要領

#### 4.13.1 一般事項

- 一般壁配筋の重ね継手の長さは $L_1$ とし、耐震壁の鉄筋の重ね継手の長さは $40d$ とする。ただし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。また、定着の長さは、 $L_2$ とし、鉄筋の継手位置は、柱・梁部以外とする。
- 幅止め筋は、縦、横ともD10-@1000を標準とする。
- 打増し部分に、壁及びスラブ等が取りつく場合は、壁及びスラブ筋等の定着長さには打増し部分は含まない。
- 土圧及び水圧などを受ける壁の配筋は、図面による。



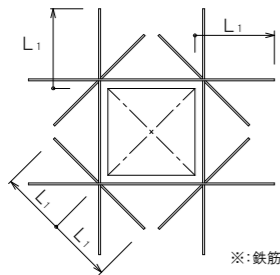
(注) 図中のP@は、図面の壁筋の間隔を示す  
4.13.1図 壁の配筋

#### 4.13.2 耐震壁の開口

- 耐震壁等の開口は、図面以外は設けてはならない。
- やむを得ず開口をあける場合は、H19国土交通省告示593号の規定を満足することを構造計算によって確認すること。

#### 4.13.3 壁開口部の補強

- 壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、4.13.3図を標準とする。



※: 鉄筋径及び本数は、図面による

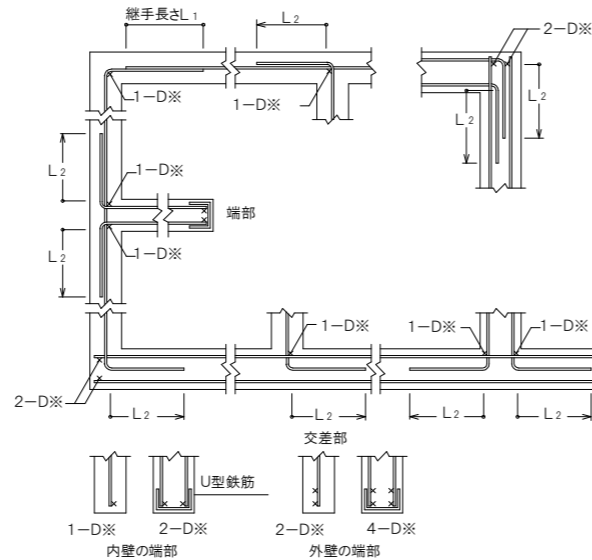
4.13.3図 壁開口部の補強の定着長さ

- 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることで開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

#### 4.13.4 壁の交差部及び端部

壁の交差部及び端部の交差部は、4.13.4図による。

- 交差部補強筋D※はD13以上、かつ壁主筋と同径とする。
- 壁の端部にU型鉄筋を使用する場合の径及び間隔は、壁筋と同径及び同間隔とする。

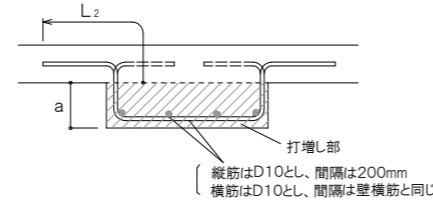


4.13.4図 壁の交差部及び端部の配筋

※壁構造の場合は、「壁構造配筋指針・同解説」(日本建築学会)に基づき図面による。

### 4.14 壁の打増し要領

コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、4.14.1図による。打増し厚さのaが50mm以上、200mm以下に適用する。200mmを越える場合は、特記による。

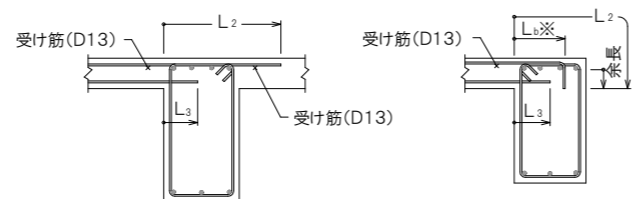


4.14.1図 壁の打増し補強配筋

### 4.15 床の配筋要領

#### 4.15.1 一般事項

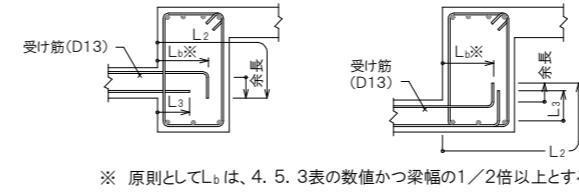
- 鉄筋の継手長さは、 $L_1$ とする。
- 定着長さ及び受け筋は、4.15.1図による。ただし、引き通すことができない場合は、4.15.2図、4.15.3図により梁内に定着する。
- 基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。



4.15.1図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その1)

※  $L_b$  の数値は、原則として、6.3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

4.15.2図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その2)

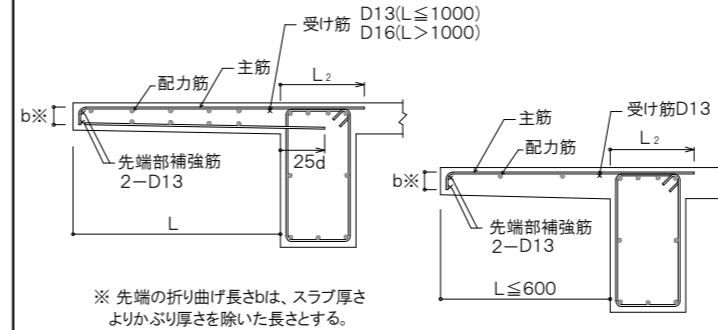


※ 原則として $L_b$ は、4.5.3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

4.15.3図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その3)

#### 4.15.2 片持スラブ

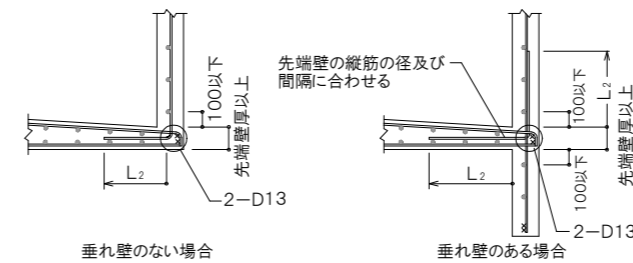
##### (1) 片持スラブの配筋



※ 先端の折り曲げ長さbは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

4.15.4図 片持スラブの配筋

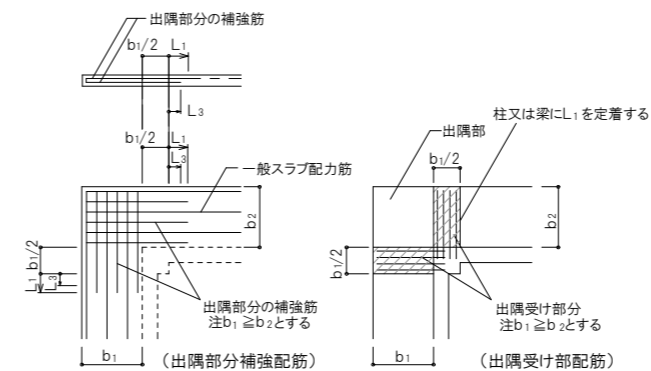
##### (2) 先端に小梁がなく壁が取り付けの場合



4.15.5図 先端に壁が付く場合の配筋

#### 4.15.3 片持ちスラブ出隅部の補強配筋

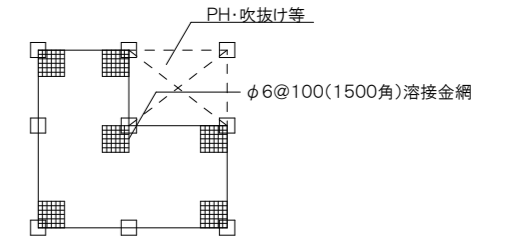
- 出隅部の補強筋は図面により、配筋方法は、4.15.6図による。
- 出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面による。



4.15.6図 片持ちスラブ出隅部の補強配筋

#### 4.15.4 地上部最上階の屋根床版

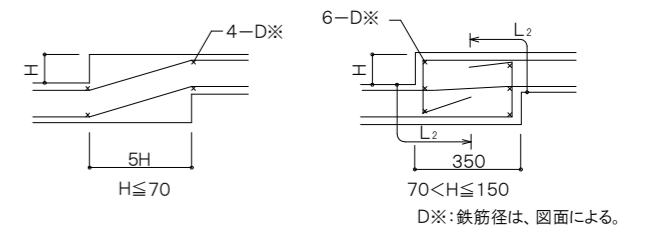
- 出隅及び入隅部分には、4.15.7図により、補強筋(溶接金網)を上端筋の下側に配筋する。
- 陸屋根、勾配屋根共通とする。



4.15.7図 出隅及び入隅部分の補強配筋

#### 4.15.5 段差床版の補強

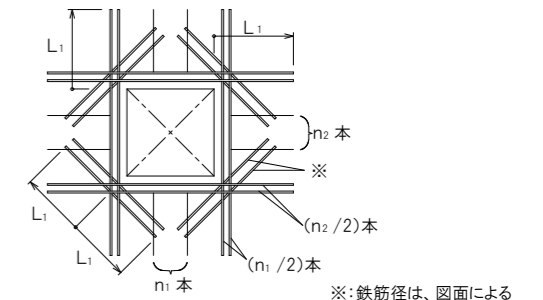
- 同一床版に段差がある場合、4.15.8図の補強を行う。ただし、 $H > 150$ の場合は、小梁を設ける事を原則とする。



4.15.8図 段差のある床版の補強配筋

#### 4.15.6 床版開口部の補強

- 開口部の最大径 $\leq 700$ の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。(4.15.9図) 開口部の最大径 $> 700$ の場合は図面による。



4.15.9図 床版開口部の補強配筋

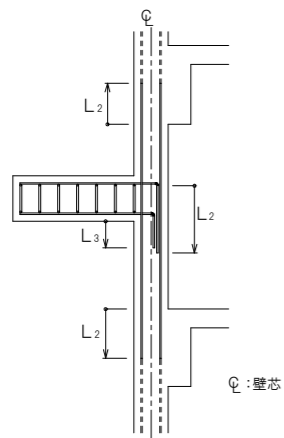
- 床版開口部の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることで開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	構造細目共通図(複合構造物)(11)	縮尺	-
検収年月	令和 年月	図面種別コード	Z299
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-11

## 4 建築工事

### 4.17 階段の配筋要領

- (1) 壁配筋は、図面による。
- (2) 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ下ろす。

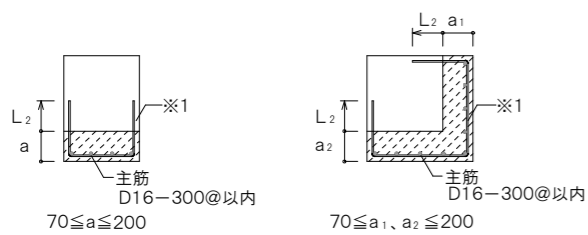


4.17.1 図 片持スラブ形階段配筋の定着

### 4.18 柱及び梁の増し打ち要領

#### 4.18.1 柱

- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、4.18.1図による。ただし、 $a < 70\text{mm}$ の場合、補強は行わない。 $200\text{mm} < a$ の場合は、図面による。



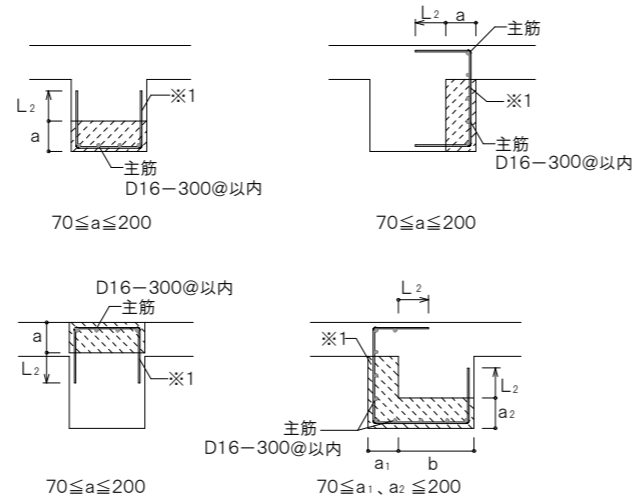
※1. 帯筋と同径・同材質・同ピッチとする。

4.18.1 図 柱の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
- (3) 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、 $L_2$ 以上とする。
- (4) 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

#### 4.18.2 梁

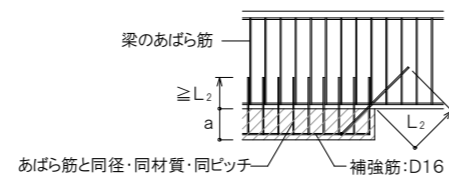
- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、4.18.2図による。ただし、 $a < 70\text{mm}$ の場合、補強は行わない。 $200\text{mm} < a$ の場合は、図面による。



※1. あばら筋と同径・同材質・同ピッチとする。

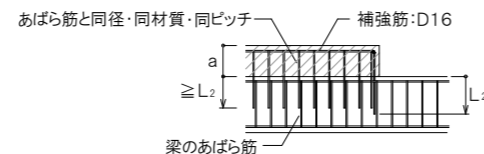
4.18.2 図 梁の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
- (3) 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、 $L_2$ 以上とする。
- (4) 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。
- (5) 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合



4.18.3 図 梁の上下の増し打ち補強配筋(途中で終わる場合)

- (6) 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合

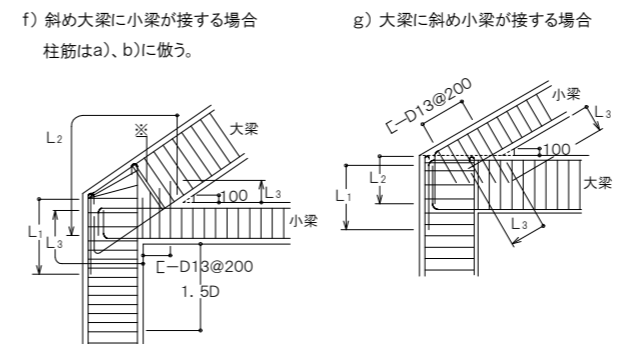
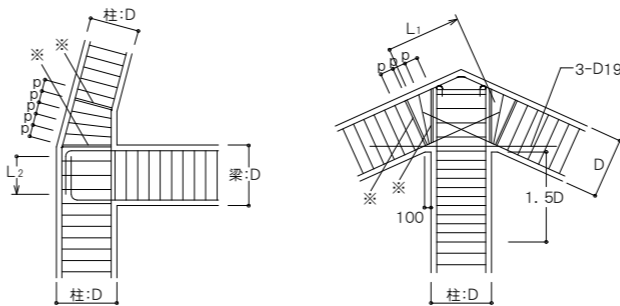
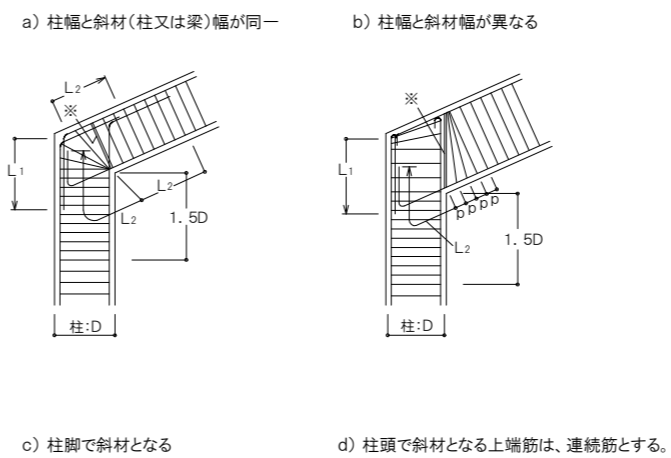


4.18.4 図 梁の側面の増し打ち補強配筋(途中で終わる場合)

### 4.19 勾配屋根の取り合い

#### 4.19.1 斜め柱・斜め梁の取り合い

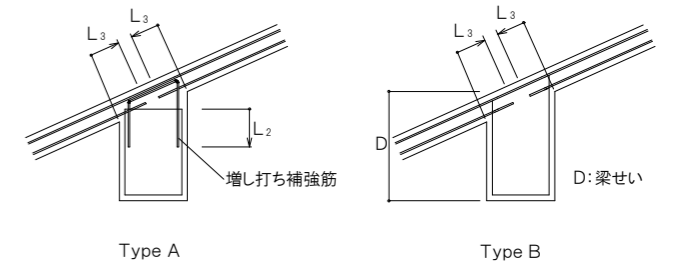
- (1) ※印の鉄筋は、同径以上とし、かつダブル巻きとする。
- (2) 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、またはダブル巻きとし@100以下とする。
- (3) 柱の取合い部における斜め梁のせん断補強筋中心間隔は、当該梁部材のせん断補強筋中心間隔以下とする。



4.19.1 図 斜め柱・斜め梁の取り合い配筋

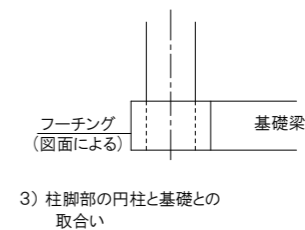
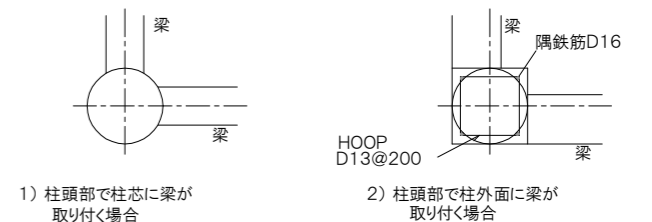
#### 4.19.2 梁と床版の取り合い

- (1) 増し打ち補強要領は、4.19.2図による。



4.19.2 図 梁と床版の取り合い配筋

#### 4.19.3 円柱の取り合い

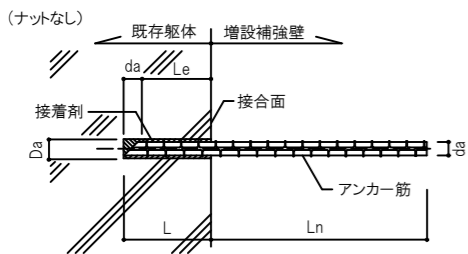
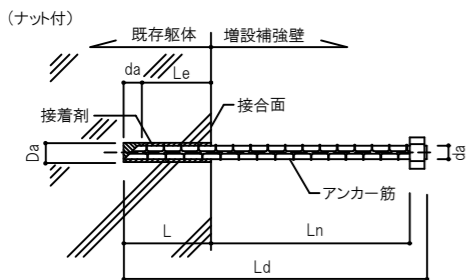


4.19.3 図 円柱の取り合い配筋

施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	構造細目共通図(複合構造物)(12)	縮尺	-
検収年月	令和 年月	図面種別コード	Z299
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-12

あと施工アンカー

(1) 接着系アンカー



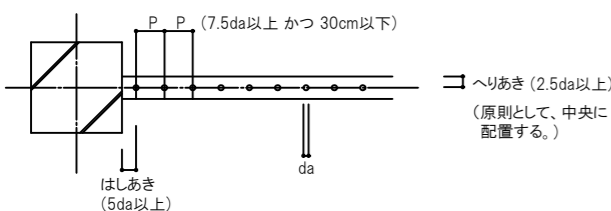
L : コンクリートの穿孔深さ、または接着系アンカーの埋め込み長さ  
 Le : アンカーの有効埋め込み長さ  
 Ld : アンカー筋の全長  
 Ln : 有効定着長さ  
 Da : 既存コンクリート躯体への穿孔径  
 da : アンカー軸部の直径、アンカー筋の呼び名

アンカー関係共通事項	
接着系アンカーの有効埋め込み長さ	一般部 : Le=7da 開口補強筋 : Le=10da
接着系アンカーの有効定着長さ	一般部 : Ln=20da 開口補強筋 : Ln=L1+5da (=補強筋との継手長さ+クリアランス)
アンカー筋形状	ナット付き異形棒鋼(開口補強筋用はナットなし)とし、ナットからねじ山が2山以上でること。また、先端形状は45°カットとする。

施工確認試験荷重 (確認強度 Fc=21)		
アンカー筋呼び名(da)	アンカーの有効埋込長さ(Le)	荷重 (kN)
D[10]	70 [ 7 ]da	[ 12.35 ]
D[10]	100 [10]da	[ 14.02 ]
D[13]	100 [ 7 ]da	[ 24.93 ]
D[13]	130 [10]da	[ 24.98 ]
D[16]	120 [ 7 ]da	[ 36.01 ]
D[16]	160 [10]da	[ 39.14 ]
D[19]	140 [ 7 ]da	[ 49.11 ]
D[19]	190 [10]da	[ 66.01 ]
D[22]	160 [ 7 ]da	[ 64.25 ]
D[22]	220 [10]da	[ 89.01 ]

確認強度は、計算で得られた、アンカーの鋼材による引張荷重又はコンクリート破壊による引張荷重(埋込みピッチ及びへりあきの影響を受ける場合は、低減した荷重)の小さい方の2/3程度の荷重。

(2) あと施工アンカーの位置と間隔



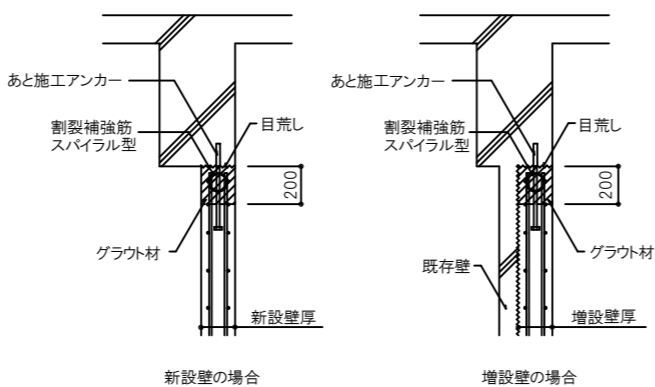
割裂補強筋配筋要領

1. 割裂補強筋は、改修壁の柱・梁に接する面全てに配置する。
2. 割裂補強筋は、6φスパイラル型とし、ピッチ、スパイラル径は下記による。
3. 継手は、2巻以上の重ねとする。

壁厚	スパイラル径	割裂補強筋	備考
150	75φ	6φ@50	
180	100φ	6φ@50	
200	100φ	6φ@50	
250	150φ	6φ@50	
300	150φ	6φ@50	

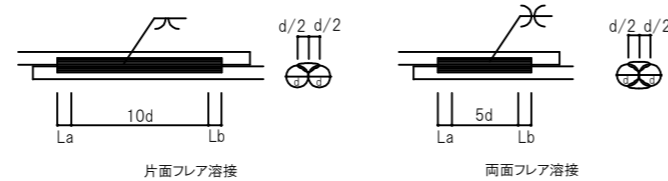
新設・増設壁上部グラウト要領

1. 特記なき新設・増設壁上部は、グラウトを行う。

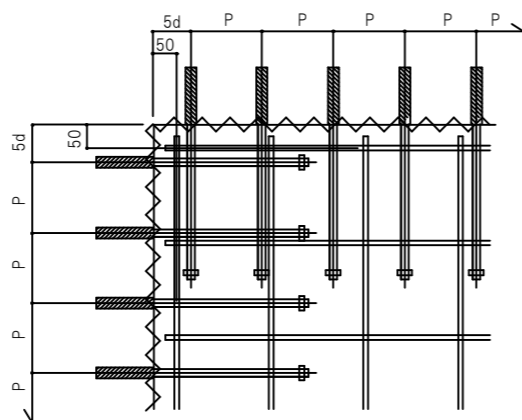


鉄筋フレア溶接要領

1. 特記なき鉄筋のフレア溶接は、下図の片面または両面とする。
2. 鉄筋のフレア溶接の溶接長さは、ビドの始点(La)及び、クレーター(Lb)を除いた部分の長さとする。但し、La 及び Lbは 2d以上とする。

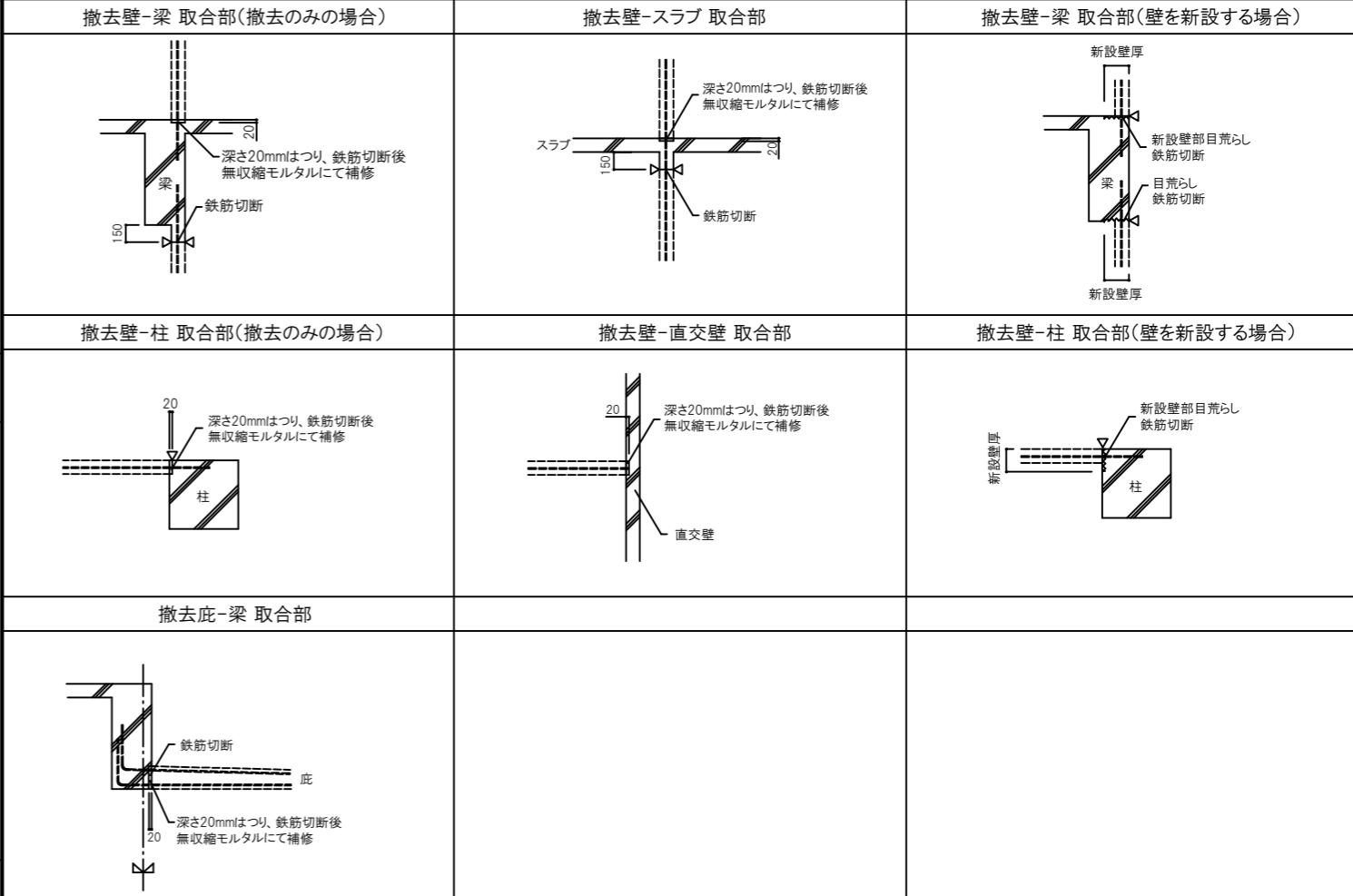


アンカー筋ピッチ標準



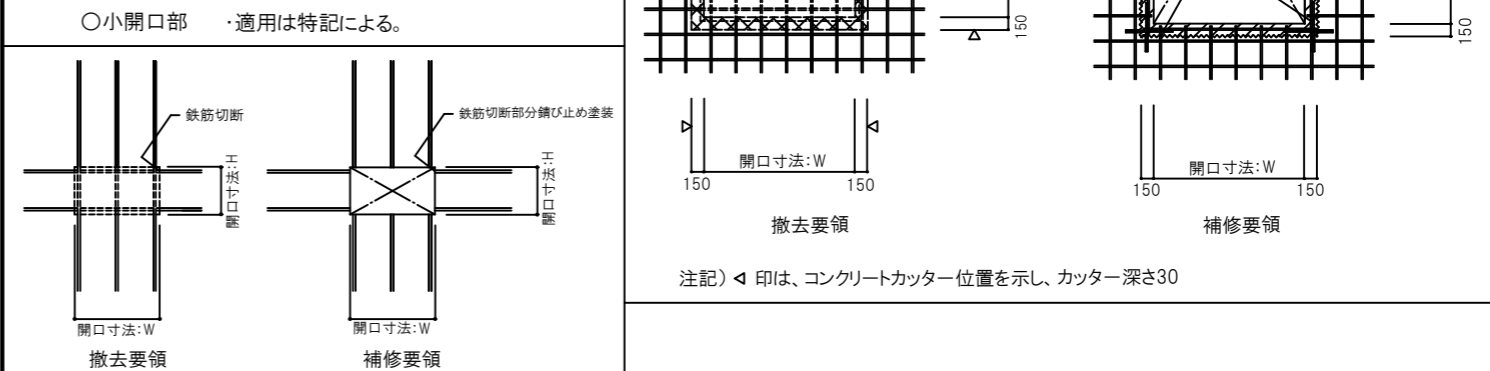
既存壁等撤去要領図 S=1/30

注記)特記なき壁等の撤去は下図による。注記)鉄筋切断部には、錆止め塗装を行う。  
 注記)◀印は、コンクリートカッター位置を示し、カッター深さ30とする。注記)鉄筋はつり出しは、特記による。



新設壁開口配筋要領図

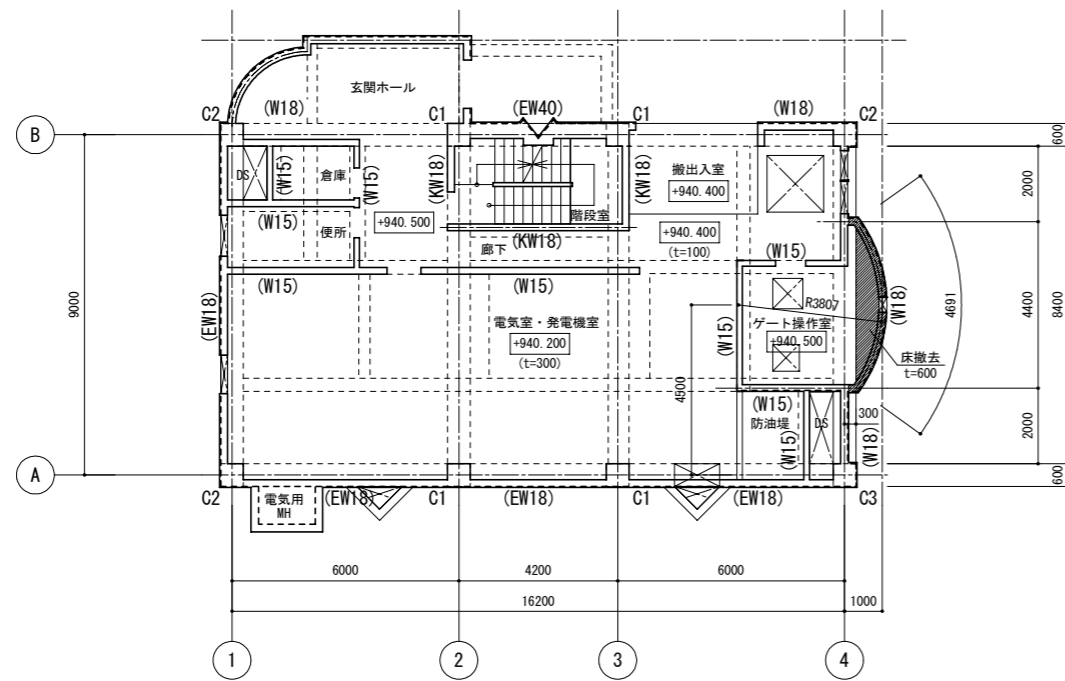
1. 床・壁にコア抜きにより先導孔を開ける。
2. 各開口寸法に合わせて、コンクリートカッター及び、はつり出しにより開口部を開ける。
3. 小開口部は切断面の補修(錆び止め塗装)を施す。大開口部はあと施工アンカーにより、開口補強筋を設ける。開口補強筋を取り付けた後、内型枠に合わせグラウト材を充填する。



1. 参考図書  
 「2017年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針 同解説」日本建築防災協会/国土交通大臣指定耐震改修支援センター  
 ※第3章 補強部材・部位の設計  
 ※第4章 補強工事の施工

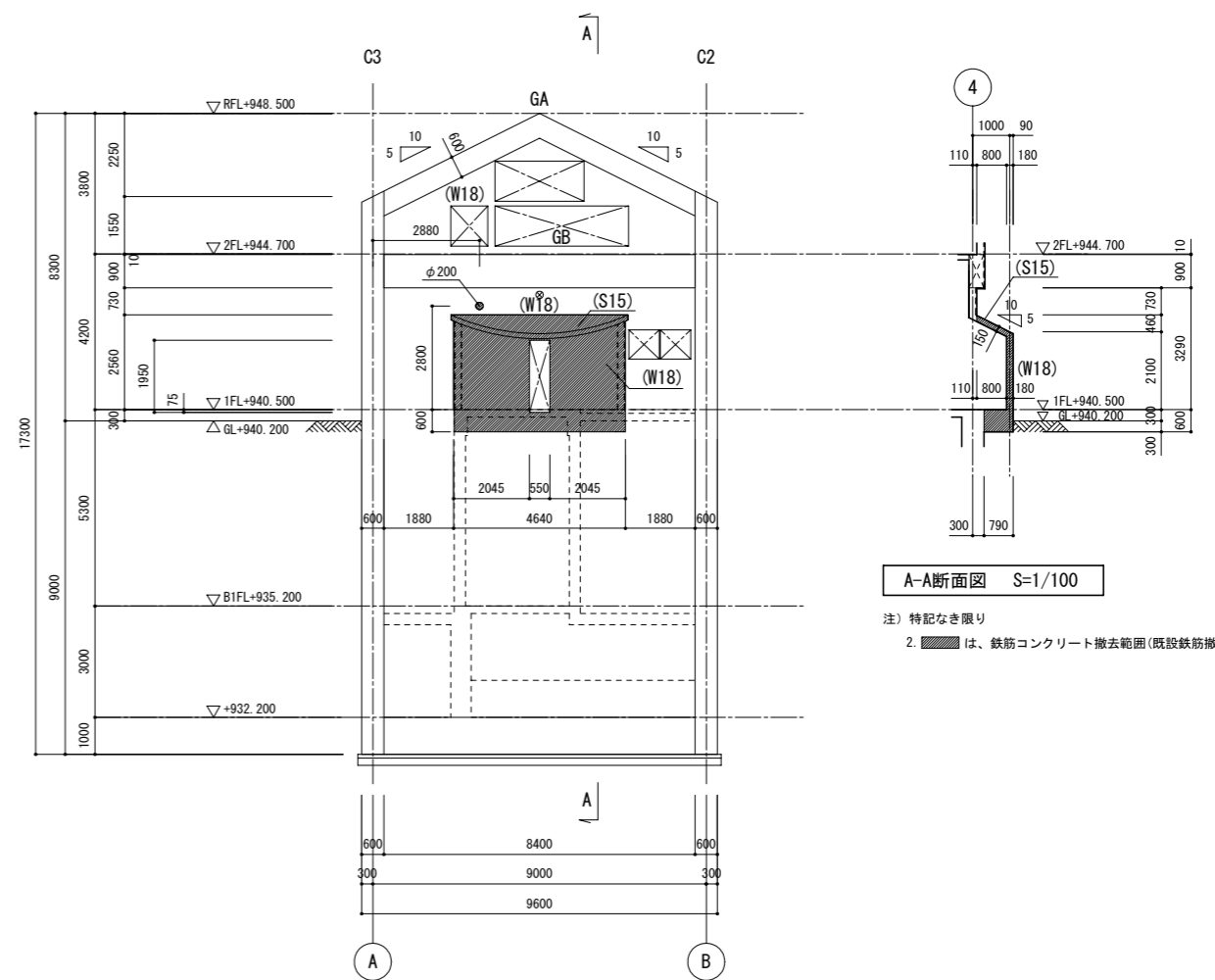
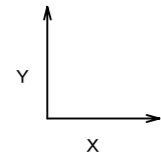
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	耐震改修標準詳細図	縮尺	-
検収年月	令和 年 月	図面種別コード	Z299
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-13

# ポンプ場 撤去範囲伏図・撤去範囲軸組図



1階伏図 S=1/100

- 注) 特記なき限り
1. レベルはSL (既設) を示す。 ( )内は無筋コンクリート厚を示す。
  2. ( )内は、既設壁符号を示す。
  3. ■は、鉄筋コンクリート撤去範囲 (既設鉄筋撤去) を示す。



4通軸組図 S=1/100

- 注) 特記なき限り
1. ( )内は、既設壁符号を示す。
  2. ■は、鉄筋コンクリート撤去範囲 (既設鉄筋撤去) を示す。

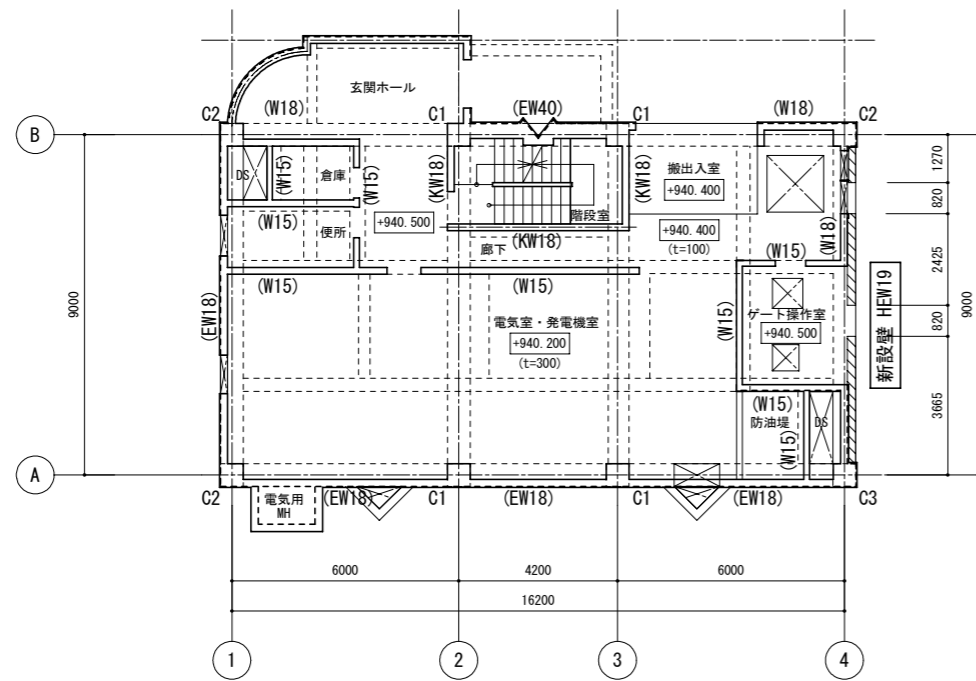
A-A断面図 S=1/100

- 注) 特記なき限り
2. ■は、鉄筋コンクリート撤去範囲 (既設鉄筋撤去) を示す。

## 実施図

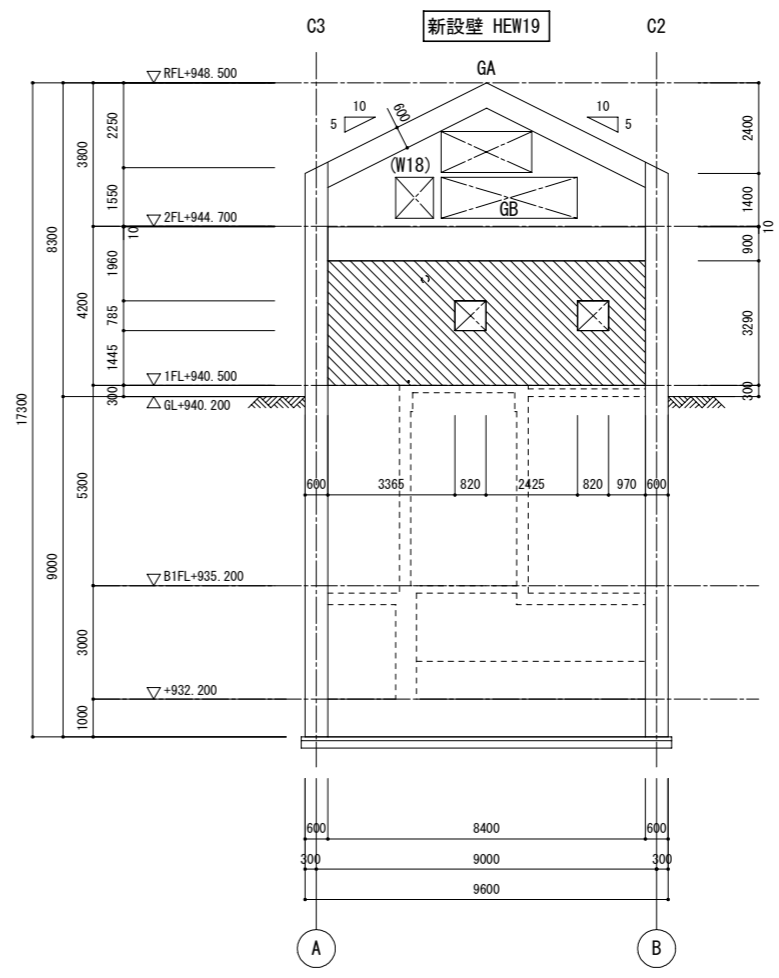
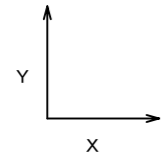
施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	撤去範囲伏図・撤去範囲軸組図	縮尺	1/100
検取年月	令和 年月	図面種別コード	Z207
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-14

# ポンプ場 補強範囲伏図・補強範囲軸組図



1階伏図 S=1/100

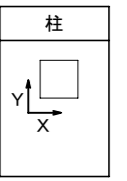
- 注) 特記なき限り
- レベルはSL(既設)を示す。( )内は無筋コンクリート厚を示す。
  - ( )内は、既設壁符号を示す。
  - 斜線は、壁新設範囲を示す。



4通軸組図 S=1/100

- 注) 特記なき限り
- ( )内は、既設壁符号を示す。
  - 斜線は、壁新設範囲を示す。

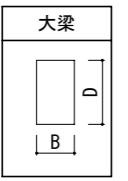
柱 凡例



既設柱リスト

階	符号	Dx × Dy
1	C2	600 × 600
	C3	600 × 600

大梁 凡例



既設大梁リスト

階	符号	B × D
2	GB	400 × 900

実施図

施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	補強範囲伏図・補強範囲軸組図	縮尺	1/100
検収年月	令和 年 月	図面種別コード	Z207
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-15

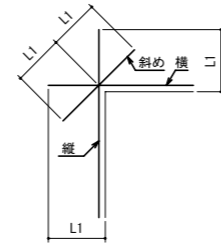
# ポンプ場 補強部材リスト

- 特記事項
1. 既設鉄筋位置については現場にて確認のこと。
  2. 鉄筋コンクリートの設計基準強度は21N/mm<sup>2</sup>とする。
  3. 鉄筋は、SD295A (D16以下)、SD345 (D19以上)とする。
  4. 無収縮モルタルの設計基準強度は30N/mm<sup>2</sup>とする。
  5. 幅止筋を1m2当り、1本 (D10) 入れること。

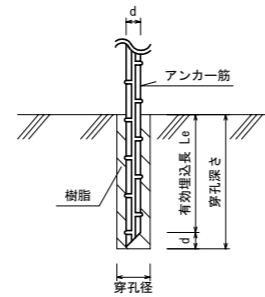
## あと施工アンカー(接着系)

補強部材リスト(壁新設) S=1/30

符号	HEW19	
断面		
縦筋	D10 @ 200(ダブル)	
横筋	D10 @ 200(ダブル)	
開口補強筋	縦	4 - D13
	横	4 - D13
	斜め	2 - D13
接着系アンカー	D19@200(シングル)ナット付	
割裂防止筋	スパイラル筋 φ6#50-径 100	
備考	-	



開口補強筋定着要領図



接着系アンカー 施工要領図

### 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	フックなし
		L <sub>1</sub>
SD295A	21	40d
SD345		45d

### 一般仕様

1. 使用鉄筋  
異形棒鋼とし、D16以下をSD295、D19以上をSD345とする。
2. 使用コンクリート設計基準強度  
Fc=21N/mm<sup>2</sup> 以上 (普通コンクリート) スランプ18cm
3. モルタル設計基準強度 (無収縮)  
Fm=30N/mm<sup>2</sup> 以上
4. あと施工アンカー  
本体: 接着系アンカーとする。
5. 注意事項
  - 1) 増設部材と既存コンクリート躯体との接触面については  
既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート打設前に  
十分な水濡しを行う。
  - 2) コンクリートの打設にはバイブレーターの使用、又はタタキにより  
密実なコンクリートとなるように十分な施工計画を立てる。
  - 3) コンクリートは普通コンクリートとして計画施工する。
  - 4) 普通コンクリートはスラブ・梁下20cmまで打設し  
壁頂部は無収縮モルタル圧入とする。
  - 5) コンクリートの強度発現期間内は充分な湿潤状態で養生する。  
また養生期間中は振動等を与えないように注意する。
- 6) 接着系アンカーの施工
  - a) 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査器等により確認し、  
既存部の損傷を極力避ける。
  - b) 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には  
穿孔内の切り粉等を除去する。
  - c) アンカーの削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、受材の取り付けに有効で、  
かつ、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。
  - d) c) で使用しない孔は、セメントモルタル等を充填する。
  - e) 現場施工されたあと施工アンカーは、全数の打音調査により、  
その固着度を確認し監督職員に報告書を提出し承諾を受ける。
  - f) 引き抜き耐力の確認試験は、機械的簡易引抜試験機による  
引張試験とする。
    - ① 試験箇所数は、1日に施工されたものの各径ごとを1ロットとし、  
この中から3本を行なうこととする。
    - ② 引張試験は、設計用引張強度の2/3の荷重を試験荷重とし、  
過大な変位を起こさずに耐えられるものを合格としすべての  
試験箇所が合格すれば、そのロットを合格とする。
    - ③ 以上の試験において、一箇所でも不合格のものがあつた場合には、  
そのロット全数について ② の引張試験を行う。
    - ④ 不合格となつたものは、切断等の処置を行い a) ~ d) により、  
新たに施工し、更に ② による引張り試験を行う。
  - g) あと施工アンカーの埋込み長さは、図示による。

一般財団法人 建築保全センター / 建築改修工事監理指針

施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	補強部材リスト	縮尺 1/30	
検取年月	令和 年 月	図面種別コード	Z216
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-16

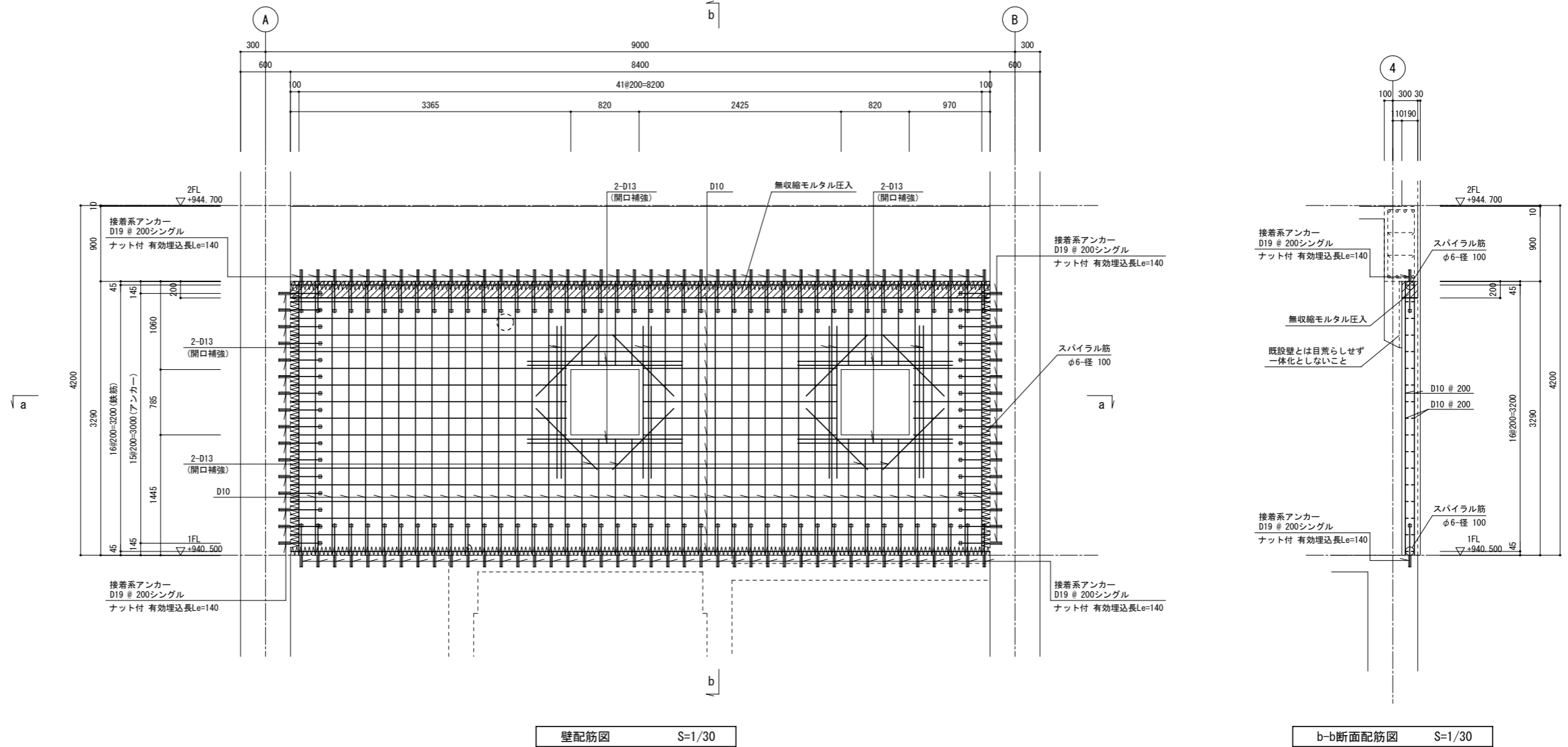
# ポンプ場 補強配筋図

1階 4通/A-B通間 HEW19

壁新設

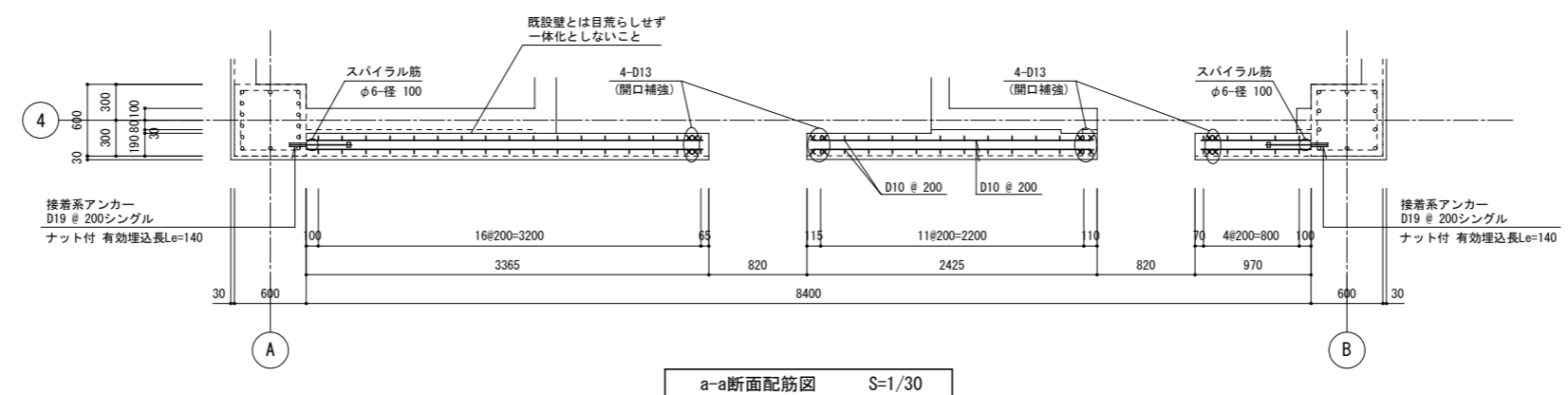
特記事項

1. 既設鉄筋位置については現場にて確認のこと。
2. 鉄筋コンクリートの設計基準強度は21N/mm<sup>2</sup>とする。
3. 鉄筋は、SD295A (D16以下)、SD345 (D19以上)とする。
4. 無収縮モルタルの設計基準強度は30N/mm<sup>2</sup>とする。
5. 幅止筋を1m<sup>2</sup>当り、1本 (D10) 入れること。



壁配筋図 S=1/30

b-b断面配筋図 S=1/30

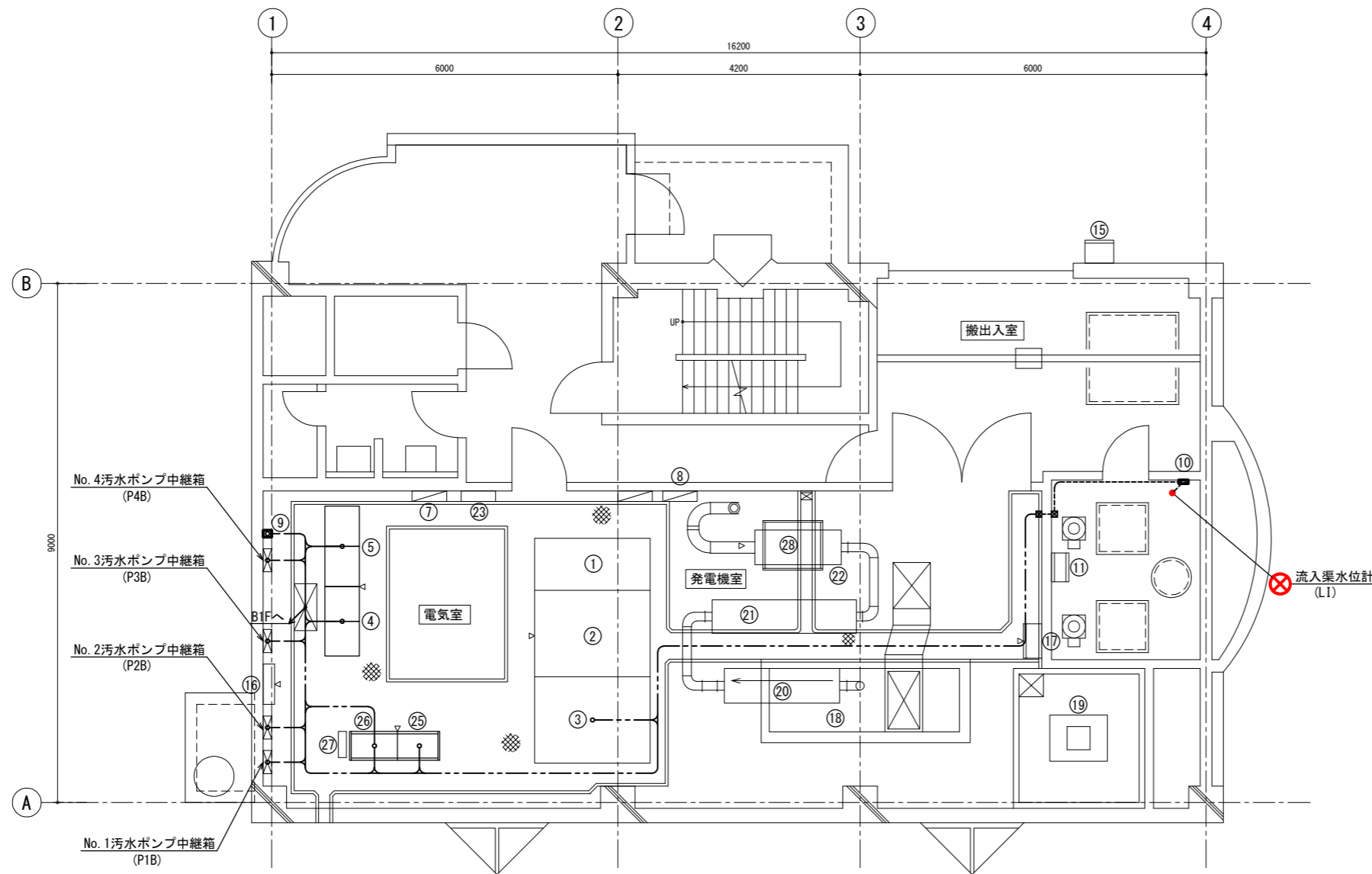


a-a断面配筋図 S=1/30

実施図

施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	補強配筋図	縮尺 1/30	
検収年月	令和 年 月	図面種別コード	Z212
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	株式会社三水コンサルタント	図面番号	S-17





1階平面図 S=1/50

機器名称表

番号	記号	盤名称	備考
①	MC-1	引込受電盤	既設
②	MC-2	変圧器盤	〃
③	LB	低圧分岐盤	〃
④	SP-C/C-1/2	沈砂池ポンプ設備C/C	〃
⑤	SP-RY-1/2	沈砂池ポンプ設備補助継電器盤	〃
⑥			〃
⑦		構内電話端子盤	〃
⑧		火報盤	〃
⑨	AGF	送水流量計変換器	〃
⑩	ILM	流入渠水位計中継箱	移設
⑪	SP-LCB-01	沈砂池流入ゲート現場盤	既設
⑫			
⑬			
⑭			
⑮	G-LCB-01	給油口ボックス盤	既設
⑯	ETB	接地端子盤	〃
⑰	AG-1	自家発補機盤	〃
⑱		非常用予備発電設備 (120KVA)	〃
⑲		燃料小出槽 (490Z)	〃
⑳		1次消音器	〃
㉑		2次消音器	〃
㉒		3次消音器	〃
㉓		保安器箱	〃
㉔			
㉕	TM/TC-01	遠方監視制御装置 (子局)	既設
㉖	KP-01	監視計装盤	〃
㉗	UPS-01	ミニUPS	〃
㉘	DC-01	直流電源	〃

注記)

1.  は移設を示す。

実施図

施設名	軽井沢町雲場ポンプ場		
図面名称	雲場ポンプ場 1階平面図 (移設)	縮尺	1/50
検収年月	令和 7年 8月	図面種別コード	Z621
設計管理		業務委託番号	0-01-2592-J-03
受託業者	(株)三水コンサルタント	図面番号	E-01